# 瀬戸大橋建設に伴う 理様文化財務・振調査報告III

期性鳥遺跡(川)

1984.9

香川県教育委員会本州四国連絡務公団

# 瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 II 羽佐島遺跡 (II) 正誤表

ヘロービュ	行 -	誤	Œ -
図版目次	図版5	調査風量	調查風景
/3	7 / 3	表れているが	表われているが
95	7/番	和多在面	<b>刹離面</b>

# 瀬戸大橋建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告III

羽佐島遺跡(II)

1984 • 9

香川県教育委員会本州四国連絡橋公団

瀬戸大橋建設に伴い,香川県教育委員会では,昭和51年度の予備調査を 手始めとして,櫃石島・岩黒島・羽佐島・与島の4島で埋蔵文化財の発掘 調査を実施して,多大の成果を上げてまいりました。そして,それらの成 果は,昭和58年度より『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』(以 下,本報告という)としてまとめ,逐次刊行してきました。

本書は、一連の本報告(7分冊を予定)の第3分冊として、昭和58年度に実施した羽佐島遺跡における第2次発掘調査の成果をまとめたものであります。

羽佐島遺跡では、昭和53・54年度に第1次発掘調査を実施しており、旧石器時代の遺物を中心に約25万点の遺物が出土し、西日本でも有数の旧石器時代遺跡であることが判明しました。その成果は、『本報告I 羽佐島遺跡 (I)』として、先に発行しております。

本書は、その続編ともいうべきもので、前回未調査区であった南側丘陵部の東斜面における調査の結果、前回調査時を大幅に上回る細石核の出土率、水晶・チャート・玻璃質安山岩等のサヌカイト以外の異石材を使用した旧石器の出土、さらには、滑石製勾玉・銅製帯金具の出土と興味深い事実が明らかになってまいりました。本報告書が(I)と合わせて、今後の歴史研究、特に旧石器研究の資料として、多くの方々に御活用いただければ幸いと思います。

なお,発掘調査に対して御援助・御協力をいただいた本州四国連絡橋公 団第二建設局・同児島工事事務所をはじめとする地元関係者各位に心より 感謝申し上げます。

昭和59年9月

香川県教育委員会 文化行政課長 遠藤 啓

# 例言

1 本書は、昭和58年度に瀬戸大橋建設に伴って実施した坂出市与島町羽佐島遺跡の第2次発掘調査報告書である。

なお、出土遺物その他調査資料の整理業務は昭和58~59年度にかけて行った。

2 発掘調査及び資料整理業務は、本州四国連絡橋公団より委託を受けて香川県教育委員会文化行政課が実施した。

昭和58・59年度の調査組織は、下記のとおりである。

昭和58年度

庶

務係

主

長

査

総	括	課	長	遠	藤		啓	調査担当	係	長	秋	Щ		忠
		課長	補佐	林			茂		主任	技師	渡	部	明	夫
		副主	:幹	松	本	豊	胤		).	)	藤	好	史	郎
庶	務	係	長	下	河	芳	樹		技	師	小	西	正	行
		主	査	加	納		覚		).	7	真	鍋	昌	宏
									).	,	西	岡	達	哉
									嘱	託	安	藤		_
								1.	,	坂	口	淳	子	
昭和!	59年月	芝												
総	括	課	長	遠	藤		啓	調査担当	所	長	松	下		均
		主	幹	林			茂		主任	技師	大	Щ	真	充
		11		松	本	豊	胤		1)		藤	好	史	郎
	課長補佐			中	村		仁		技	師	小	西	正	行

なお,発掘調査及び資料整理には松本豊胤の指導のもとに,次の職員が当った。

覚

昭和58年度発掘調査 小西正行・真鍋昌宏・西岡達哉・ 安藤 一・坂口淳子

松野

安藤 坂口

口淳子

託

昭和58·59年度資料整理 小西正行•坂口淳子

宮谷昌之

加納

- 3 本書の執筆は、小西正行と坂口淳子が分担して行った。編集は、大山真充・藤好史郎・小 西正行が行った。
- 4 調査の実施や整理・報告に際して、下記の方々から多大な御協力・御教示を受けた。記して深く謝意を表したい。

与島瀬戸大橋対策協議会,同自治会,櫃石島瀬戸大橋対策協議会,同自治会,岩黒島瀬戸大橋対策協議会,同自治会,本四公団児島工事事務所,香川県瀬戸大橋対策室,古市光信

# 目 次

第1	章		遺跡	り	立地	1と環境
第2	章		調査			
	第	1	節			:至る経過4
	第	2	節	調		)経過と発掘の方法
						調査の経過 4
						発掘の方法8
	第	3	節	整	理作	『業の経過9
第3	章		層庁			の出土状況
	第	1	節			11
	第	2	節	遺	物の	)出土状況11
第4	章		遺		牧	
	第	1	節	旧		器時代の出土遺物······15
						ナイフ形石器15
						舟底形石器21
						尖頭器31
						彫器31
					-	石錐32
					-	削器·搔器······32
					-	楔状石器34
					-	二次調整ある剝片40
						横長剝片石核40
						翼状剝片47
						横長剝片51
						大形剝片55
					13.	縦長剝片石核55
					14.	1000
						細石核及び細石核関係・・・・・・・・62
						細石刃71
					-	叩き石············71
	第	2	節	縄		<b>5代以降の出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>
						石鏃79
						矢柄研磨器······83
						その他の遺物・・・・・・83
第5	章		おれ			86
					石器	景観察表91

# 插 図 目 次

(遺跡の	の立地と環境)	第40図	横長剝片剝離角度分布図55
第1図	備讃瀬戸の位置1	第41図	縦長剝片石核実測図(1)56
第2図	備讃瀬戸の島々と羽佐島の位置2	\$	\$
第3図	羽佐島遠景3	第44図	縦長剝片石核実測図(4)·····59
(調査の	の経過)	第45図	縦長剝片実測図(1)61
第4図	羽佐地形図及び発掘調査区 $\cdots$ 5 $\sim$ $6$	第46図	縦長剝片実測図(2)62
第5図	発掘作業風景7	第47図	細石核実測図(1)64
第6図	羽佐島遺跡第2次発掘調査グリッド配置図…8	5	\$
第7図	グリッド区画名称図9	第53図	細石核実測図(7)70
第8図	遺物の水洗い作業10	第57図	細石刃実測図(1)73
第9図	実測作業10	第55図	細石刃実測図(2)74
(土層月	字と遺物の出土状況)	第56図	叩き石実測図(1)75
第10図	土層柱状図11	\$	\$
第11図	土層実測図(1)12	第59図	叩き石実測図(4)78
第12図	土層実測図(2)13	第60図	石鏃分類模式図79
(遺	物)	第61図	石鏃実測図(1)81
第13図	ナイフ形石器実測図(1)22	第62図	石鏃•矢柄研磨器実測図(2)82
5	\$	第63図	滑石製勾玉出土状況83
第20図	ナイフ形石器実測図(8)29	第64図	銅製帯金具出土状況83
第21図	舟底形石器•尖頭器実測図30	第65図	滑石製勾玉・銅製帯金具・緑釉土器・
第22図	<b>彫器・石錐実測図32</b>		白磁実測図84
第23図	削器·搔器実測図(1)·····35	第66図	羽佐島遺跡出土主要遺物計測基準図90
5	\$		
第25図	削器·搔器実測図(3)·····37		
第26図	楔状石器実測図(1)38		
第27図	楔状石器実測図(2)39		
第28図	二次調整ある剝片実測図41		
第29図	横長剝片石核実測図(1)43		
5	Ş		
第32図	横長剝片石核実測図(4)46		
第33図	翼状剝片剝離角度分布図48		
第34図	翼状剝片実測図(1)49		
第35図	翼状剝片実測図(2)50		
第36図	横長剝片実測図(1)52		
\$	\$		
第38図	横長剝片実測図(3)54		
第39図	大形剝片実測図54		

# 表 目 次

(調査の	の経過)	第34表	玻璃質安山岩製細石刃出土分布表88
第1表	昭和58・59年度羽佐島遺跡(II)の整理	第35表	流紋岩製品·剝片出土分布表88
	作業経過9	第36表	黒曜石製品・剝片出土分布表88
(層序と	と遺物の出土状況)	第37表	玻璃質安山岩製ナイフ形石器・石鏃及び水晶製
第2表	グリッド別石器組成表14		剝片・ナイフ形石器,チャート製尖頭器
(遺	物)		出土分布表88
第3表	ナイフ形石器出土分布表15	第38表	異石材製品一覧表89
第4表	ナイフ形石器の形態分類16	第39表	ナイフ形石器観察表91
第5表	ナイフ形石器の長幅比20	第40表	舟底形石器観察表99
第6表	国府型ナイフ形石器の長幅比20	第41表	尖頭器観察表99
第7表	横長剝片利用のナイフ形石器の長幅比20	第42表	削器·搔器観察表100
第8表	舟底形石器•尖頭器出土分布表21	第43表	楔状石器計測表102
第9表	舟底形石器の長幅比21	第44表	二次調整ある剝片計測表102
第10表	彫器・石錐出土分布表······31	第45表	横長剝片石核観察表103
第11表	削器・搔器出土分布表32	第46表	翼状剝片観察表105
第12表	楔状石器出土分布表34	第47表	横長剝片計測表107
第13表	二次調整ある剝片出土分布表40	第48表	縦長剝片石核観察表108
第14表	横長剝片石核出土分布表42	第49表	縦長剝片観察表······109
第15表	翼状剝片出土分布表 · · · · · · 47	第50表	細石核観察表111
第16表	翼状剝片の長幅比48	第51表	細石刃観察表113
第17表	横長剝片の長幅比51	第52表	叩き石観察表116
第18表	縦長剝片石核出土分布表55	第53表	石鏃観察表117
第19表	縦長剝片出土分布表60	第54表	矢柄研磨器観察表······120
第20表	縦長剝片の長幅比60		
第21表	細石核出土分布表63		
第22表	細石刃剝離痕の長幅比63		
第23表	細石刃出土分布表71		
第24表	細石刃の長幅比71		
第25表	叩き石出土分布表71		
第26表	石材別叩き石一覧表72		
第27表	叩き石の長さと重さの比72		
第28表	石鏃出土分布表79		
第29表	石鏃の長幅比80		
第30表	国府型ナイフ形石器出土分布表86		
第31表	横長剝片利用のナイフ形石器出土分布表86		
第32表	玻璃質安山岩製剝片出土分布表88		
第33表	玻璃質安山岩製細石核出土分布表88		

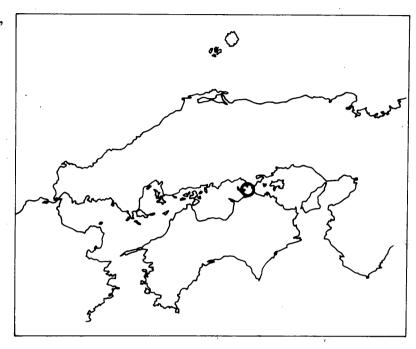
# 図 版 目 次

図版 1	羽佐島遠景	図版29	削器・搔器・使用痕ある剝片(4)
	調査区遠景	30	楔状石器(1)
2	伐採作業風景	31	楔状石器(2)
	グリッド設定	32	楔状石器(3)
3	発掘作業風景 C01-1・2, C02-1・2	33	二次調整ある剝片
	C 05 • 06— 2	34	横長剝片石核(1)
4	遺物出土状況 C01・02-1・2	35	横長剝片石核(2)
	C01-1 • a n	36	横長剝片石核(3)
5	調査風量 土層線引	37	横長剝片石核(4)
	写真撮影	38	横長剝片(1)
6	北壁土層 B01• n	39	横長剝片(2)
	C01-1 · a n, b n	40	横長剝片(3)
	C01-1 · c n, d n	41	翼状剝片(1)
7	北壁土層 C01-2 · a n, b n	42	翼状剝片(2)
	C01-2 · b n, c n	43	大形剝片
	C01-2 • d n	44	縦長剝片石核(1)
8	北壁土層 C01-3·an, bn	45	縦長剝片石核(2)
	C01-3 · c n, d n	46	縦長剝片石核(2)′
	C01-4 · a n, b n	47	縦長剝片石核(3)
	$C01-4 \cdot c n, b n$	. 48	縦長剝片石核(4)
9	西壁土層 B1	49	縦長剝片石核(4)′
v	C01—1	50	縦長剝片(1)
	C 02— 1	51	縦長剝片(2)
10	西壁土層 C03-2	52	細石核(1)
10	C 04 — 2	53	細石核(1)′
	C 05— 2	54	細石核(2)
11	西壁土層 C1-3 C01-3	55	細石核(2)′
11	C 02— 3	56	細石核(3)
` 12	西壁土層 C03-3	57	細石核(3)′
12	C 04— 3	58	細石核(4)
	東壁土層 C05-2	59	細石核(4)′
	C 06— 2	60	細石核(5)
13	完掘グリッド風景	61	細石核(5)′
	ナイフ形石器(1)		細石核(6)
15	ナイフ形石器(2)	63	細石核(6)′
16	ナイフ形石器(3)	64	細石核(7)
17	ナイフ形石器(4)	65	細石刃(1)
18	ナイフ形石器(5)	66	細石刃(2)
19	ナイフ形石器(6)	67	叩き石(1)
20	ナイフ形石器(7)	68	叩き石(2)
21	ナイフ形石器(8)	69	叩き石(3)
22	舟底形石器	70	石鏃(1)
23	尖頭器	71	石鏃(2)
24	石錐	72	矢柄研磨器
24 25	形器	. 72	滑石製勾玉•青銅製帯金具
25 26	ル帝 削器・搔器(1)	73 74	白磁・緑釉土器
	削器·搔器(2)	75	白磁
27	削器·搔器(3)	10	III NAVA
28	円11台) 1里台(0)		

# 

# 第1章 遺跡の立地と環境

備讃瀬戸海域の地質基盤は, 領家帯と呼ばれる地質構造区 に属し、その基盤岩はほとん ど花崗岩からなる。瀬戸内海 に浮かぶ島々は,中世代後期 にできた花崗岩が新生代後期 の地殻変動により地表に突出 したものである。備讃瀬戸海 域においては基盤岩である花 崗岩・花崗岩閃緑岩の上に三 豊層, さらには備讃瀬戸層群 (大槌島層・槌ノ戸瀬戸層・番 ノ州層)が堆積している。こ れらの堆積層は備讃瀬戸海域 の海進・海退現象に伴い堆積 されたものであり、讃岐山脈 から讃岐平野を形成する地質 でもある。



第 1 図 備讃瀬戸の位置

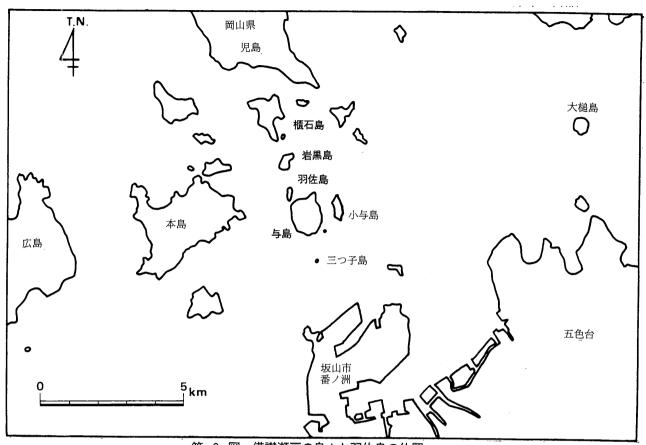
備讃瀬戸の最も大きな海進期は縄文時代早期で、それ以前の海面は現在よりも更に下にあったと言われている。

現在,海上に残されている島々は,旧石器時代には見晴らしの良好な丘陵頂部にあたり,周辺には湖沼が散在していたと考えられている。

羽佐島はこれらの島々の一つで,岡山-香川を最短距離で結ぶ瀬戸大橋ルート上にあり,鷲羽山より約 $4 \, \mathrm{km}$ ,沙弥島より約 $5 \, \mathrm{km}$ のほぼ中央に位置する。南方約 $0.2 \, \mathrm{km}$ にある与島,北方約 $0.8 \, \mathrm{km}$ にある岩黒島に挾まれているこの小さな無人島は,周囲約 $1.3 \, \mathrm{km}$ を海に囲まれている。島の周囲はほとんどが岩礁性の海岸で,東側と南側にわずかに砂浜を形成している。北に標高 $32 \, \mathrm{m}$ ,南に標高 $22 \, \mathrm{m}$ の $2 \, \mathrm{o}$ の頂部があり,中央は鞍部となっている。島の総面積は約 $0.03 \, \mathrm{km}^2$ ほどで人の居住は困難と思われるが,近世初期に畑作を行っていたことが伝えられており,また昭和に至ってからも人の居住・採石・畑作等が行われていた。

羽佐島周辺の海底は、坂東祐司氏の備讃瀬戸海底地形区分図によると、水深10~20mの第Ⅱ平坦面で沖積世における形成面である。また、与島・小与島の南方には最大水深105m、羽佐島・岩黒島の間に水深30mを越す「海釜」と呼ばれている潮流の影響によりできたすりばち状の地形が東西に延びている。

備讚瀬戸には多くの旧石器時代の遺跡が存在することが知られている。戦前より与島東方遺跡ではサヌカイト製石器が採集されており、1959年以来、櫃石島・与島・小与島・沙弥島遺跡の遺跡・遺物紹介、与島西方遺跡・東方遺跡・瀬居島十ノ石遺跡の発掘報告などがなされてき



第 2 図 備讃瀬戸の島々と羽佐島の位置

た。さらに1976年からは,瀬戸大橋建設に伴い島嶼部の旧石器時代遺跡の予備調査・本調査が 行われてきた。

羽佐島遺跡では1977年に予備調査が行われ、1978年7月から1979年11月まで第1次調査が行われた。その他、瀬戸大橋建設に伴う旧石器時代遺跡の発掘調査は、櫃石島花見山遺跡・大浦遺跡・ヤケヤマ遺跡・長崎通り遺跡・北浦遺跡・岩黒島初田遺跡・与島西方遺跡において実施された。

羽佐島及びこれに近接する与島・岩黒島には、それぞれ羽佐島遺跡・西方遺跡・初田遺跡があるが、その立地するところは3遺跡とも島内でも比較的高所でなだらかな尾根上に位置する。羽佐島遺跡(実掘調査面積4,254㎡)は標高約25mを計るところで約25万点にもおよぶ遺物を出土している。西方遺跡(同4,628㎡)では最高所約70mを計るA地区から尾根筋に沿ってB地区、C地区への広がりをみせ、約15万点にも及ぶ遺物が出土した。初田遺跡(同678㎡)は羽佐島遺跡とほぼ同じ標高を計るが、出土遺物は約600点ほどで両遺跡に比べて遺物量が希薄である。西方遺跡A地区において細石核がほとんど見られなかったということを除けば3遺跡に見られる遺物は、国府型ナイフ形石器をはじめとするナイフ形石器・縦長剝片石核・細石核などを出土しており、遺物内容に大差が見られないものの、羽佐島・西方両遺跡と初田遺跡との出土遺物の量的違いは目を見張るものがある。

旧石器時代の遺跡は、動物からの被害を避けるため、また狩猟のために見晴らしの良好な場所に選定されると言われているが、羽佐島遺跡・西方遺跡のような所が、初田遺跡のような地点よりも地の利があったと思われる。

#### 計

- (1) 坂東祐司監修・森合重仁編『香川県地学のガイド』 1979
- (2) 「與嶋畠方名よせ能帳」『香川叢書』 2 1941
- (3) 川畑迪「国分台無土器文化石器」『香川県文化財協会報』特別号 4 1959 香川県文化財保護協会
- (4) 高橋邦彦「坂出市与島町西方及び東方遺跡の調査報告」『香川県文化財協会報』特別号 5 1961 香川 県文化財保護協会
- (5) 松本豊胤「瀬居町十ノ石遺跡調査概報」『文化財協会報』59 1973 香川県文化財保護協会



第 3 図 羽佐島遠景

# 第2章 調査の経過

## 第1節 調査に至る経過

羽佐島遺跡は、昭和52年度に実施した予備調査で、旧石器時代を中心とする大規模な遺跡であることが確認され、昭和53・54年度に第1次の発掘調査を実施した。その成果は「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報」 I ~VI及び「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 I 羽佐島遺跡(I)」で報告している。今回実施した第2次調査は架橋工事の設計変更に伴う事前の発掘調査である。

本州四国連絡橋公団(以下本四公団という)は羽佐島架橋工事に伴い,南北の作業ヤードを連結する工事用道路の建設を計画した。羽佐島を横断する工事用道路は,当初,トンネル工法等についても検討されたようであるが,地形上の問題等から,オープンカット方式を採用することとなり建設届が提出された。昭和57年11月11日に本四公団第二建設局と香川県教育委員会とで,現地踏査及び協議を行った。これまでの予備調査や第1次発掘調査により,今回の工事用道路建設予定地も,地形的に多量の旧石器時代の遺物が包蔵されていることが予測され,事前の発掘調査の必要性が考えられた。

昭和58年4月1日に、本四公団第二建設局局長から文化庁へ工事の届出(埋蔵文化財に関する協議について)がなされ、それに伴い、4月30日に香川県教育委員会教育長から文化庁へ、文化財保護法第57条の3の規定に基づく発掘届の提出(文化庁進達)がなされた。

以後,発掘調査の実施について協議を重ね,本四連絡橋公団の委託により香川県教育委員会は,工事予定地1,600㎡を対象として,7月4日発掘調査を開始するに至った。

# 第2節 調査の経過と発掘の方法

#### 1. 調査の経過

羽佐島遺跡の第2次発掘調査は、昭和58年7月4日から10月31日まで実施された。日誌によって調査の動きを以下に略述する。

〈7月〉

- 4日 羽佐島発掘調査を開始する。調査手順・他の 打ち合わせをして伐開作業を始める。
- 6日 資材の2便を搬入する。崖のラインをおさえ 倒木処理を行う。伐開作業はほぼ終了する。
- 11日 プレハブが完成する。オロかきを北側半分終了する。表土層より大小3個のサヌカイト製フレイク・チップらしきものを出土する。
- 14日 杭打ちを完了し、グリッド設定を行う。
- 18日 第1・第2トレンチ (以下T1・T2という) の発掘作業を開始する。両トレンチとも第1層 (腐植土層)の除去を終了する。

- 22日 西日本放送が取材のため来島。 第3層がかなり深かったが終日掘り下げる。 〈8月〉
- 1日 T2 は掘り下げが終了。壁の清掃を行い,C 1-4 の発掘に入る。
- 2日 T1掘り下げ終了。C1-3に移動する。T2は清掃後写真撮影を行う。
- 9日 C01-3・4の発掘に入る。第1層の除去は ほぼ終了する。第2層に入るところもある。
- 11日 公団より、台風接近に備えて準備されたしと のこと。番線等でプレハブの固定を強化して対 処する。

- 12日 お盆のため作業員が集まらず今日より3日間 現場作業を中止する。
- 17日 C01-3・4の第3層の除去をほぼ終了する。 C02・03-3・4の木・他の伐開をする。
- 18日 C03-3・4の第1層の除去を終了する。T 1の土層断面及び作業風景の写真撮影を行う。
- **24日** C03-3 は午前中に掘り上がる。C03-4 も 9 割を終了する。C04-3 のオロかきをする。
- 25日 C03-4の第3層を除去し終了する。C04-3の第2層とC04-4の第1層を除去する。C04-3の第2層上面で大形有溝土錘を出土する。
- 30日  $C04-3 \cdot 4$  の第 3 層を除去し終了する。ベルコン 1 台を移動する。 $C02-3 \cdot 4$  のオロかきに入る。

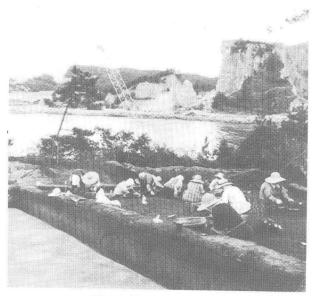
#### 〈9月〉

- 1日 C02-4・bnで銅製帯金具 (2.7×2.6cm) が 出土する。
- 2日 滑石製勾玉が出土する。
- 8日 グリッド内及び周辺の土層線引き・清掃をする。 $C1-3\cdot 4\sim C04-3\cdot 4$ の写真撮影を行う。
- 12日 C03・04-1・2の発掘に入る。遺物の出土 が多い傾向がある。
- 16日 C03・04-1・2の第2層の第2回目遺物を 取り上げる。予備調査のEトレンチ部分の写真 撮影・平板実測をする。T1・T2の掘り方(四 隅)の平板実測をする。
- 26日 台風接近等のため現場作業を中止する。
- 29日 作業再開。 C 03・04-1・2の第2層遺物の 取り上げを終了する。台風の影響はほとんどな

120

#### 〈10月〉

- 4日 C01・02-1・2及びB地区を掘り始める。 C01・02-3の西壁土層の実測をする。
- 13日 C01・02-1・2の第3層の遺物を取り上げる。写真撮影及び出土地点のチェックをする。 C1-3・4の西壁・北壁の土層実測をする。
- 17日  $C1-1\cdot 2$ , B1の第1層を掘り下げる。  $C03\cdot 04-3\cdot 4$  の西壁及び北壁の土層実測を する。 $C01-1\cdot 2$  の深掘りを終了する。
- 20日 C03・04-1・2,3・4の完掘グリッド及びC03・04-1・2の西壁,C03-1~4の北壁,C04-1~4の南壁の写真撮影を行う。C1-1・2,B1の第3層を掘り下げ,遺物を取り上げる。C05・06-2の発掘作業を開始する。
- 24日 C1-1・2を完掘する。C05・06-2の発掘に入る。
- 26日 C1・C01・02-1・2の完掘グリッドの写 真撮影を行う。C01・02-1の西壁, C01-1・ 2の北壁の土層写真撮影終了後, グリッド全体 の写真撮影を行う。
- 28日 C05・06-2 を深掘りする。プレハブ・ベルコンを解体する。共同企業体のクレーンの協力により、発掘道具等を撤収する。C05・06-2 の西壁・南壁・東壁の土層実測をする。発掘区全体の写真撮影(北ピークより)を行う。
- 31日 与島西方より羽佐島遺跡遠景を写真撮影し, 調査の全日程を終了する。



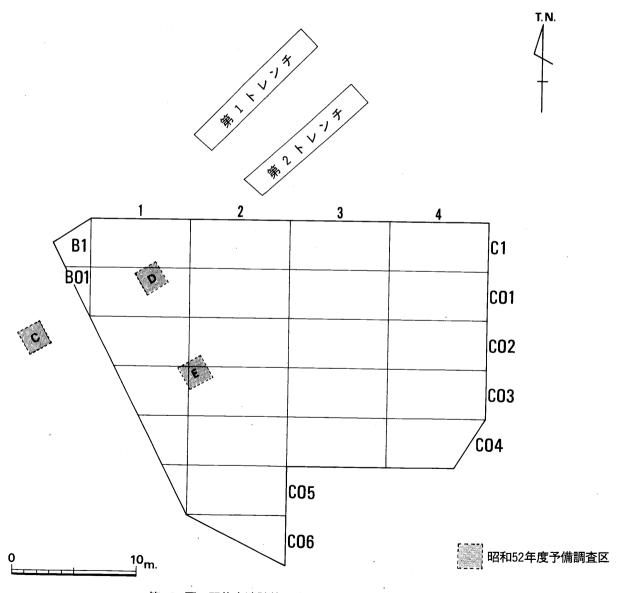
第 5 図 発掘作業風景

## 2. 発掘の方法

羽佐島遺跡での今回の調査対象地域は、南側ピークの東斜面に当る工事区域である。調査対象面積の約1,600m²のうち、南部及び東部は急崖地であり、実質的に調査が可能なのは約900m²である。

昭和53年7月17日から昭和54年11月16日まで実施された第1次発掘調査時のグリッド設定に準じて,尾根筋(B地区)・東側斜面(C地区)に分け,方位は正南北を主軸に定め,C地区には南北4m・東西8mのグリッドを設定した。これに対して,B地区は工事予定地の形状から変形グリッド(東西に最大で3m)となった。

各グリッドの名称は、北端が前回調査時と重複するため $B1 \cdot C1$ とし、それから南に向って01、 $02 \cdot \cdots \cdot$ と番号を付し、C地区に限っては斜面上位(西)から枝番号をつけ、C01-1、 $01-2 \cdot \cdots \cdot$ としてグリッドの呼称とした。また、北東部の斜面は急傾斜のため遺物の流出も著しいと推測され、トレンチを2箇所設定して遺物の出土状況を確認することとした。北側を第



第 6 図 羽佐島遺跡第2次発掘調査グリッド配置図

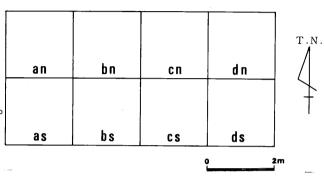
1トレンチ (T1), 南側を第2トレンチ (T2) とした。

調査は、土層序及び遺物出土状況の確認をする意味からもT1・T2から着手した。第1次発掘調査によって、遺物は後世の人為的攪乱等を受けて二次的な移動があり、表土以下浅い所から旧石器時代の遺物が出土すると同時に、包含層下部においても旧石器時代の遺物と共に土器片を出土することが確認されていた。T1・T2の調査においても同様の遺物出土状況で、遺物の二次的な移動も考えられた。

遺物については原則として $2 \times 2$  mを一単位として一括取り上げを行うこととし、石器として明確なものは出土地点を記録して取り

上げることにした。なお,このグリッド内の小区画も第1次調査に準じて南北を2分し,南(s)・北(n)とし,東西も2m毎に区分して西からa,b,c,dとアルファベットの小文字を順次付した。したがって,C03-2の南西隅の小区画はC03-2・dnと呼称される。

こうして区画設定を行い,発掘調査を 実施した面積は710㎡である。



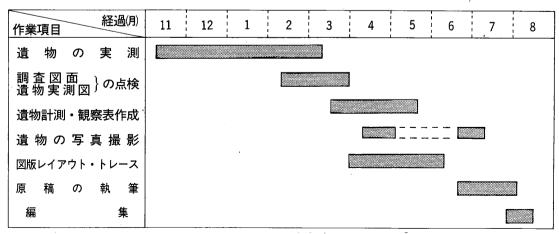
第 7 図 グリッド区画名称図

## 第3節 整理作業の経過

本報告書は、昭和59年4月1日付けで本四公団と締結した「香川県側埋蔵文化財発掘調査委託契約(その2)」に基づく調査報告書の第3分冊『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告III 羽佐島遺跡(II)』として刊行するものである。

他の島嶼部遺跡の調査報告書が、発掘調査終了後数年を経て、本格的な整理作業が開始され 刊行のはこびとなっているのに比べて、本報告書は機会に恵まれていたと言えよう。昭和58年 7月から10月まで発掘調査を実施した後、引き続いて整理作業に入ることができたのである。

そうした背景には、昭和56年度から2年間を経て事務所の整理体制が整い、整理補助作業員



第 1 表 昭和58・59年度羽佐島遺跡(Ⅱ)の整理作業経過

の遺物実測をはじめとする整理作業能力もかなり高い水準を保つようになっていたことがある。さらに,第1分冊『羽佐島遺跡 (I)』の報告書づくりに携わっていた整理作業員を11月からそのまま引き継いで,調査報告書刊行に向けての整理を開始することができた。

遺物の実測からはじまり現場作業時の図面や遺物の実測図の点検、遺物計測及び観察表の作成、遺物写真の撮影、各種図版のレイアウト・トレースの仕上げ、原稿の執筆・整理、本文・図版等の編集……など、整理作業の経過は図示したとおりである。

今,ここに『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告III 羽佐島遺跡(II)』を刊行するはこびとなった。羽佐島遺跡では,昭和53・54年度に第1次発掘調査を実施しており,その成果は昭和59年1月に調査報告の第1分冊として刊行している。今回の第2次発掘調査では,多数の細石核・サヌカイト以外の石材を用いた旧石器・滑石製勾玉・銅製帯金具等が出土して,前回の調査成果と合わせて羽佐島遺跡の性格をより広範囲で明確にするきっかけを与えてくれた。しかし,見落とした観察事項や検討事項も多いだろうし,調査研究を深めていく努力の不足が目立っているかもしれない。各方面からの積極的なご叱正・ご教示をお願いしたい。

羽佐島遺跡(II)の整理作業に携わった補助作業員 日下五十鈴・川田裕加子・西桶右子・阿野晃子・増井正子・平田保代



第 8 図 遺物の水洗い作業



第 9 図 実測作業

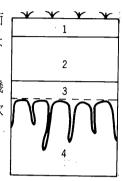
# 第3章 層序と遺物の出土状況

## 第1節 層 序

羽佐島は花崗岩からなる低丘陵性の島であり,本遺跡はこの尾根上や斜面部に立地し,遺物は花崗岩風化土を中心として出土した。層序は基本的には羽佐島遺跡第1次調査の層位認識に基づき分層した。

第1層-腐植土を含む淡灰褐色土(10~15cm前後)で、腐食の進んだ有機物(オロ)と、粒子が細かく植物の根の作用などによる風化を強く受けた軟質土からなる。

第2層-灰褐色土( $20\sim40$ cm)で、粒子がわずかに粗くやや硬質である。 第3層-黄褐色砂質土( $10\sim20$ cm)で、土質は第2層に近いが粒子は第2 層よりも粗く硬質である。



第10図 土層柱状図 註(2)

第4層-灰茶褐色花崗岩風化土で硬質のブロック状を呈し、その間隙に黄褐色土が充塡している。この層より下位には遺物は含まれないが、充塡した第3層と類似した黄褐色土からはごく微量の遺物出土が見られた。

斜面部においては第1層から第4層までの層序が見られたが、尾根部に近く平坦になってゆく地区は畑作化されており、第3層が薄く $5\,\mathrm{cm}$ 以下の厚さとなる箇所、あるいは第 $3\,\mathrm{層}$ の認められない箇所もあった。

## 第2節 遺物の出土状況

今回の発掘調査で出土した遺物は、総点数12,117点である。

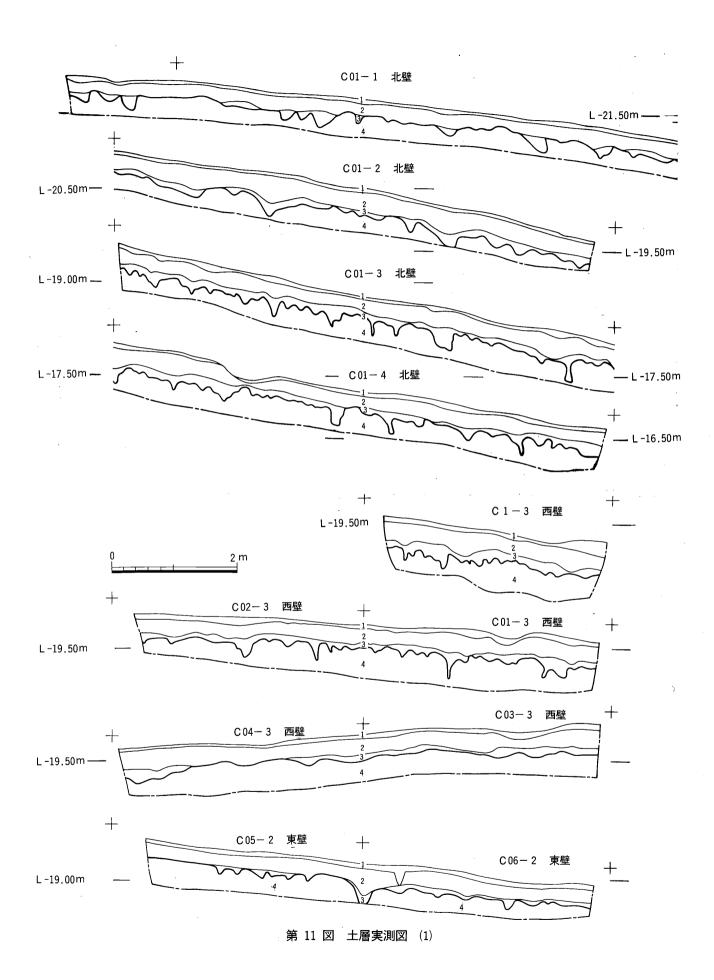
遺物は調査地区の全域にわたって出土したが、各グリッドにおいてわずかに違いが見られる。 総じて尾根筋平坦部に近い箇所においての出土が多い。出土密度は、尾根筋平坦部に最も近い B01が最も高く51.5である。第1・第2トレンチがこれに次いで、35.9、37.5である。

遺物の垂直分布を見てみると、遺物は第1層から第3層において出土した。各層とも旧石器時代の遺物を中心として、縄文土器・石鏃や、古代・中世の土器、あるいは近・現代に至る陶磁器が出土したが、後世の人為的攪乱を受けているため遺物の垂直分布は整然とせず、いずれにおいても顕著な集中箇所は見られず傾斜面の違いにより若干の出土量の差が生じたものである。

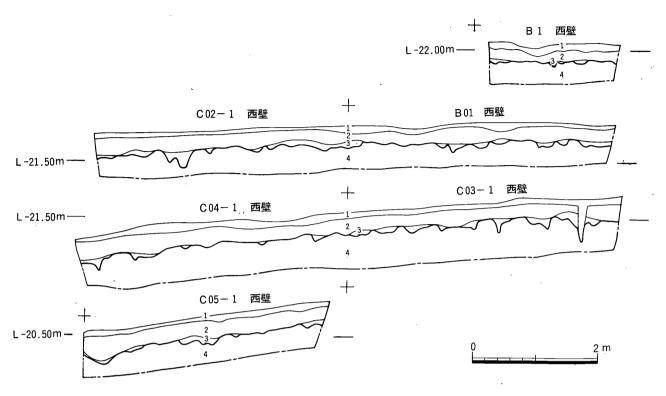
器種ごとの平面的出土状況を見てみると、ナイフ形石器はC02-1、 $C1\sim C01-1$ ・2に多く出土する傾向があり、翼状剝片・横長剝片もこれとほぼ同様なあり方を示すが、横長剝片石核はC03-2、04-2 に集中している。

舟底形石器・尖頭器は数量が少ないため特徴が挙げられない。

縦長剝片石核はナイフ形石器とは異なりC03-1, 02-1に,縦長剝片はC1-2に多く出土する傾向を示す。



-12 -



第 12 図 土層実測図

細石刃はナイフ形石器と同様にC02-1, 01-1・2に、細石核は若干ずれを見せてC01-2 · 3, C04-2に多く出土する。

石鏃は細石核と同様にC01-2, 02-2 に集中する傾向を示す。

叩き石は $C1-1 \cdot 2$ に多く出土しており、ナイフ形石器とわずかに重なりを見せる。

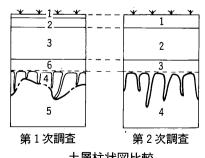
器種ごとにわずかに違いが見られるものの、総遺物の出土状況とほぼ同様で、C01-1、C02-1を中心としてこれに近接するグリッドに集中する傾向が見られる。

前述したとおり、尾根筋平坦面に近い緩斜面部に多く出土する傾向が表れているが、平坦面 に最も近いB1・01は実掘面積が狭く石器の絶対数が少ないため、器種別に見た場合の石器数 は多く出土しなかった。

第1・第2トレンチは谷筋にあたり調査地区内でも急な箇所であるが、出土密度が高くナイ フ形石器は多く出土する傾向を見せている。2つのトレンチは、第1次調査のC1~8列に近 い箇所でもあり、単なる尾根筋からの流れ込みによる遺物だけでなく、2つの斜面部からの流 れ込み遺物の影響により重複してこのような傾向として表れたものと思われる。

### 註

- (1) 渡部明夫「土層と遺物の出土状態 | 『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文 化財発掘調査報告 I 羽佐島遺跡 (I)』1984·1 香川県教育委 員会
- (2) 第2次調査における第3層と第4層の区別は褐色ブロックの上 限をもってなす。褐色ブロックとは花崗岩の風化したもので、第4 層中には花崗岩の節理に沿って風化の進んでいる部分に第3層が 充塡している。



土層柱状図比較

第 2 表 グリッド別石器組成表

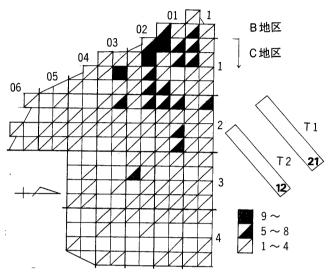
11/12	365	7	13		3	156	96	139	62	104	509	1	46	98	46	64	99	86	4	194	9	11	0,383		710		12,117
4										,					,								10				
C06-2	က					∞	3	4		1	5	.1	1	4				3		3		1	182	0	16	13.6	219
-2	12		2	П	П	18	7	9	7	5	4		5	∞	2		-	3		7			312	0	32	12.5	401
C05-1								1										-					33	0	4	8.6	35
-4	-					5	∞	2		1	2		8	2	က	П	П			3			102	0	28	4.9	137
-3	9	1				6	∞		2		н		2	2			3	3		8		2	255	0	32	9.4	302
-2	6				н	6	4	∞	6	9	∞		П	5	6	2	2	7		15		1	628	0	32	22.6	724
C04-1	9					2	H	2		. 2	4		2	€,				4		3			267	0	12	24.7	296
4-	9					9	- 2	2	1	2	5			3	-	-	-	5		4			197	0	32	7.4	236
-3	П		П			9		2	4	П	4		2	2	2	П	3	-	7				133	0	32	5.1	164
-2	17		1			4		5	10	7	9		П	П	33	က	4	2		16			398	0	32	15.0	480
C 03-1	15		2			33	5	7	4	2	10		9	3	7	5	-	5	П	15			414	0	20	25.1	505
-4 (	2					5	2	2	2	П	4		Н	П	2		3	П					304	0	32	10.3	330
-3	18					7	4	7	4	9	5		П	4		Н	П	3	Н	7			352	0	32	13.0	415
-2	18				7	9	က	10	9	12	13		П	3	2	9	2	10		12	2		451	0	32	17.6	563
C02-1	39		1			3	33	5	4	14	25		2	7	2	∞	2	2		24		-	711	0	28	30.8	862
-4 (	9	1				7	က	П	П	П	4		2			2	2	က		2			152	0	32	5.8	187
-3	15	1				2	2	5	F	8	4			2	5		2	4	-	5	-		224	0	32	8.8	280
-2	30					9	2	22	10	7	19			2	4	8	-	10		27	H		625	0	32	24.1	774
C01-1	36		1			∞	7	17	-	∞	21		4	2	3	8	5	2		20		1	864	0	32	31.7	1,014
-4	6		П			œ	4	9	H		2		2	4		1	1	4		3			207	0	32	7.9	253
-3	14	1	H			5	2	15	2	က	6		က	4	2	2	1	4		4			248	0	32	10.1	325
-2	24		1		-	22	14	6	က	7	22		1	10		3	8	2		2			962	0	32	29.0	930
Cl-1	31		7			2	က	4	4	6	21		1	3	1	3	10	1		3		က	615	0	32	22.3	715
B01	2							3	П		5		2		1	1		1		2			183	0	4	51.5	206
B1	2	2				2	-		2	1	3			2	2	1	1	1		2			106	0	∞	17.0	136
第27イン・ナ	12	1	1												1	2	3	9		2	1		898	0	24	37.5	006
ボントナイナ	21									2	3					2		4		2			756	0	22	35.9	791
が	器	器	器	器	糊	器	鰡	剝片	核	片	片	北	葱	片	崧	尺	石	鎌	器	製井	干	开	争	路	積(㎡)		ilia
\ \cdot \ \ \sqrt{\sq}\sqrt{\sq}}\sqrt{\sq}}}}}}}}}}}}}} \sqit{\sqrt{\sqrt{\sinteq}}}}}}}} \end{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}}}} \end{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}\sqrt{\sq}\sq}\sq}\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}}}} \end{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sqrt{\si	形石	. 石	,			播	日	ある郷	片石	劉	劉	劉	片石	劉	,_	,_			翻	吊製	製	製網				度(/m²)	,_
	7	底 形	瓼			- 器	*	調整	釆	共	岷	彩	劉	赋	怕	拍	<i>¥</i> 10		柄研	玻璃質安山岩製剝片	伍	非	e		掘 面	土	但
石器名	7	舟	₩	验	中	削署	敷	11	横長	顪	横	X	業	橥	集	羅	믑	石	*	玻璃/	置置	消数	4	+1	実	H. H.	貔

# 第4章 遺物

### 第1節 旧石器時代の出土遺物

#### 1. ナイフ形石器 (第13~20図)

完形品から小さな破片まで含めてナイフ形石器は365点出土した。ナイフ形石器の出土しなかったグリッドはなく,多少の差はあるもののすべてのグリッドから出土している。 $C02-1\cdot bnで11$ 点出土したのを最高に, $C01-1\cdot an$ ,  $C03-1\cdot cnで9$ 点, $C1-2\cdot an$ ,  $C01-1\cdot an$ ,  $C02-1\cdot an$ で各8点,面積的に¼しかないB01-sで6点と,尾根筋南丘陵頂部に近いB1, B01,  $C1\sim C03-1\cdot 2$  の範囲に集中する傾向がある。同範囲からは224点のナイフ形石器が出土しているが,これは全体の約61%に当る。同範囲での遺物出土総数の集中



第 3 表 ナイフ形石器出土分布表

率は51%であるから,かなり高い集中率を示すと言えよう。このようにB1,B01, $C1\sim C03-1\cdot 2$ の範囲に出土が集中するものには,ナイフ形石器のほか翼状剝片(全体の約67%)がある。両者が互いに密接に関係する遺物であることは明らかであり,出土傾向もそれを裏づけている。

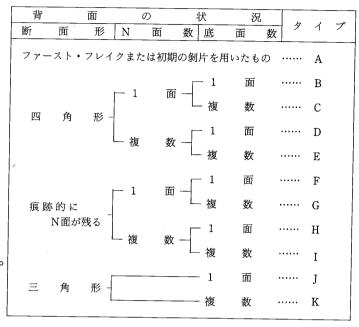
羽佐島遺跡から出土したナイフ形石器のほとんどはサヌカイト製である(第13~20図118)が、玻璃質安山岩を用いたものが1点(第20図119)、黒曜石を用いたものが1点(第20図120)、水晶を用いたものが2点(第20図121、122)出土している。出土したナイフ形石器のほとんどは翼状剝片を含む横長剝片を素材としており、縦長剝片を素材とするものは非常に少なく5点のみであった。ただ黒曜石製ナイフ形石器・水晶製ナイフ形石器はすべて縦長剝片を用いている。

出土したナイフ形石器のほとんどは、翼状剝片を用いた国府型ナイフ形石器と横長剝片を用いたナイフ形石器であるが、この両者を厳密に区分することは困難である。したがって、本文中にある翼状剝片素材・横長剝片素材という記述はその可能性が高いということであって、断言できるものではないことを最初に断っておきたい。

形態分類は、背面の状況等によって第4表に示したようないくつかのタイプに分類した。そして、各タイプの素材を推察することによって、製品段階のナイフ形石器を国府型ナイフ形石器であるか否かを推定できないものか試行してみた。

 $1 \sim 14 \cdot 53 \cdot 63 \cdot 72 \cdot 74 \sim 76$ はAタイプでファースト・フレイクか、それに近い剝離工程に

おける初期の剝片を素材とするもの である。1・4には背面の自然面を 切るようにネガティブな剝離痕が見 受けられるが, 目的剝片の剝離痕と は考えにくい。2・5~9・12・13・ 53の底面には打点が残る。11・14は 打面部に施された二次調整によって 底面の打点をとばされたものと考え られる。11の刃部中央には使用痕と 思われる小さな剝離痕が多数見られ る。10の刃部側先端部には背・腹の 両面から細かい調整が施されている。 53は刃部のいたるところに使用痕と 考えられる小剝離痕が見られる。A タイプのナイフ形石器を国府型ナイ フ形石器とそうでないものに区分す るのは、接合資料でもない限り不可



第 4 表 ナイフ形石器の形態分類

能に近いものと思われる。ただ, $1 \sim 14 \cdot 53$ は打面部が山形に整形されていた可能性も高く, 翼状剝片素材として見ることもできよう。

15~39・50・54・55・77~82はBタイプで背面に目的剝片剝離痕と底面を各1面ずつ持ち。 断面が四角形を呈する。15は先端部を破損しているにもかかわらず、器体の長さは約8cmもあ り,今回出土したなかでは一番大きなナイフ形石器である。16・34・54の基部には折損した痕 跡が認められるが、折損の後、再調整を施して器形を整えたものと考えられる。77の目的剝片 の剝離痕はあたかもポジティブな剝離のように見受けられ、一見すると底面が2面あるように 思える。しかし、底面との切り合い関係や角度、主要剝離がネガティブ気味に及んでいる事等 を総合して判断すれば、底面としては考えにくく、ネガティブな剝離面として捉えることにし た。80は下半部で主要剝離面が背面側に大きくもぐりこんだため、底面を消失している。刃部 側の腹面下半部及び背面基部に施された調整は、基部調整と考えることもできるが、蝶番剝離 によって刃部が突出した部分を整形するために施された調整と見なした方が妥当と思われる。 78・81・82の刃部には使用痕と考えられる小剝離痕が見られる。15~39・50・54・55は背面の 目的剝片剝離痕の加撃方向と主要剝離面の加撃方向がほぼ一致する。また、底面を下にして剝 片を観察しても、石核の幅を有効に用いて連続して剝取された剝片を素材としている可能性が 高いので、国府型ナイフ形石器と考えることができよう。これに対して、77~82は背面の目的 剝片剝離痕の加撃方向が主要剝離面の加撃方向と大きくずれていたり (79・81), 器体が薄く打 面調整を施した翼状剝片石核から剝離されたとは考えにくかったり(78),底面を平行に用いて 目的剝片を剝離したとは考えられない(77・80)ので、横長剝片を素材とした可能性が高い。

40・41・43はCタイプで背面に1面の目的剝片剝離痕と複数の底面を持ち、断面が四角形を 呈する。43には基部を折損した後、折損面を末端方向から加撃して器形を整えた形跡が認めら れる。3点とも目的剝片剝離痕と主要剝離面を観察すると、加撃方向がほぼ一致すると同時に、 ほぼ同じ大きさの剝片が連続して剝取されたものと考えられる。よって、翼状剝片を用いた国 府型ナイフ形石器として捉えてもよいだろう。

42・44~49・56・57・64~66・73・83~93はDタイプで背面に複数のネガティブな剝離面と1面の底面を持ち,断面は四角形を呈する。45の底面には,打面部の二次調整が施された後,その調整面を打点部として剝離された剝離痕が見られる。これは主要剝離が目的剝片剝離痕と平行に行われなかったために,先端よりの部分が厚くなったのを整形するために施された調整痕であろう。86の上半部は主要剝離面が底面及び左図左辺上部のネガティブな剝離面にもぐりこむように剝離していて,刃部は鋭いエッジ状になっていない。にもかかわらず,エッジ状を呈する下半部を基部として用いていることから考えて,本来は刺突する目的の尖った先端部を持っていた可能性もある。49・64・87・88の刃部には使用痕と考えられる微小な剝離痕が見られる。

背面に複数のネガティブな剝離面を持っていても、それらのすべてが目的剝片の剝離痕と考えられるわけではない。剝片を整形するために施された調整痕が含まれている可能性もある。 46・47・56の先端よりにある剝離痕はそういった剝片調整痕とみることもできるが、完成品としてのナイフ形石器の段階では二次調整によって剝離痕がかなりカットされているため、目的剝片の剝離痕か否かを見分けるのは非常に困難である。

主要剝離面と目的剝片剝離痕と考えられる剝離面の剝離方向を観察した結果,42・44~49・56・57はすべての剝離方向がほぼ一致し、打点部が石核のほぼ中央部を連続して移動しながら剝取された剝片である可能性が高く、翼状剝片を用いた国府型ナイフ形石器と考えられる。これに対して、64~66は目的剝片剝離痕の1面は主要剝離面とほぼ同じ方向で剝離されているが、他の剝離面の剝離方向は異なるため、素材を考えるのは難しいので不明としておく。73・83~93は背面のほとんどの剝離面の剝離方向が、主要剝離面の剝離方向を中心にして左右に大きくずれており、打点が石核の打面部を常に左右に動きながら剝離された剝片である可能性が高く、横長剝片を素材としたナイフ形石器と考えられる。

94・95はEタイプで、複数のネガティブな剝離面と複数の底面を持ち、断面は四角形を呈する。どちらも背面の目的剝片剝離痕の剝離方向が左右に大きくずれているため、横長剝片を素材としたものと考えられる。底面はどちらも刃部側からの剝離によって形成されている。

 $51 \cdot 52 \cdot 58 \cdot 67 \cdot 69 \cdot 96$ は F タイプで,痕跡程度に残るネガティブな剝離面と底面を各 1 面ずつ有する。51 は下半部を破損しているが,復原すれば 8 cm を超える大きさになると考えられる。69 の底面は刃部側からの剝離によって形成されている。67 の刃部には使用痕と考えられる小剝離痕がある。

ネガティブな剝離痕が小さいため、剝離方向を十分に観察できないが、51・52・58は主要剝離面の剝離方向とほぼ一致すると見られるので国府型ナイフ形石器と考えられる。67・69・96は素材を明確にできないが、底面が刃部側からの剝離で形成された69・96は横長剝片を用いた可能性もある。

 $59 \cdot 68 \cdot 70 \cdot 97 \sim 105$ は H タイプで,複数の痕跡程度に残るネガティブな剝離面と 1 面の底面を持つ。 $99 \cdot 102$ の刃部には使用痕らしき剝離痕が見られる。 $59 \cdot 68$  は国府型ナイフ形石器の可能性もあるが, $97 \sim 105$  は並列して目的剝片の剝離痕が残り,打点部も左右に大きく動きながら剝離されたものと考えられるので,横長剝片を素材として用いたものと思われる。

106・107は I タイプで、複数の痕跡程度に残るネガティブな剝離面と複数の底面を持つ。どちらも H タイプの97~105と同様に並列した背面のネガティブな剝離面の剝離方向が一致しな

いので、横長剝片を素材とした可能性が高い。

 $60\sim62\cdot71\cdot108\sim111$ は J タイプで,底面を 1 面持ち,断面が三角形状を呈する。二次調整が背面のネガティブな剝離面を越えて及んだために,ネガティブな剝離面を消失したものと考えられる。62の底面はポジティブな剝離面ではない可能性がある。打面部の二次調整は主要剝離面側と背面側の両面から施されている。ネガティブな剝離面を持たないため素材を判別し難いが, $60\sim62\cdot71$ は底面の剝離方向が石核のほぼ中央に平行するように用いられていることから,翼状剝片を素材とした可能性がある。これに対して, $108\cdot111$ は器体が薄く,翼状剝片石核から剝離された可能性は少ないと言えよう。

112はKタイプで、複数の底面を持ち、断面が三角形状を呈する。底面の大部分が刃部側からの剝離であることや、石理を底面と平行に用いていることを考えると横長剝片を素材とした可能性が高い。

113・114は横長剝片を利用した切り出し形ナイフ形石器である。どちらも複数のネガティブな剝離面と1面の底面を有する。113の調整は粗く大きいが、114の調整は比較的丁寧に施されている。113の刃部には使用痕と考えられる小剝離痕がある。

115~117は縦長剝片を素材としたナイフ形石器である。115の背面はいずれも主要剝離面と同じ縦方向の剝離面からなる。また、刃部先端は断面が三角形を呈し、主要剝離面の両縁辺が刃部として考えられよう。

118は不定形剝片を素材としたナイフ形石器である。主要剝離面側基部(右図下)には石核側面が残り、底面はポジティブな剝離面からなる。打面側にはフラットな折損面を持つ。刃部はポジティブな底面の影響で鋭利にならず、かなりの厚みを持っていたものと思われ、刃部全域に施された調整には刃部を整形する意図があったのであろう。

119は玻璃質安山岩製のナイフ形石器で,横長剝片を利用した切り出し形ナイフ形石器と考えられるものである。

120は黒曜石製のナイフ形石器で、縦長剝片を利用したものである。黒曜石製のナイフ形石器は前回の調査でも2点出土しており、2点とも縦長剝片を利用したものであった。しかし、前回出土したものが小形切り出し形ナイフ形石器であるのに対して、今回出土したものは器長約4cmと大きい。背面には大きく自然面を残し、自然面と主要剝離面とで形成する縁辺を刃部としている。

121・122は水晶製のナイフ形石器で、2点とも縦長剝片を利用したものである。121は白色透明で、背面には自然面が残る。主要剝離面及び両側縁の下半部には器形を整えるために施されたと考えられる調整痕が複数見られる。その結果、形態は両刃の切り出し形ナイフ形石器の様相を呈する。刃部両側縁にも錯行状に調整が施されているが、主要剝離面側に施された調整の方が丁寧である。122は黒色透明で、基部を残して他の部分は破損している。刃部も欠失しており、形態は不明だが、復原すれば約5cm前後の大形になるものと思われる。

ナイフ形石器の刃部あるいは刃部側に調整を施されたものは少なくない。調整を施す部位には,

- I 先端または上半部に施したもの( $19 \cdot 49 \cdot 56 \cdot 57 \cdot 72 \cdot 75 \cdot 77 \cdot 103 \cdot 120 \cdot 121$ )
- II 刃部の中央に施したもの(38・64・112)
- III-刃部の全体,またはほぼ全体に施したもの( $20 \cdot 39 \cdot 46 \cdot 66 \cdot 93 \sim 96 \cdot 118$ )

100 • 101 • 106 • 107)

V-刃部の先端と基部に施したもの(33)がある。

調整はほとんどの場合、主要剝離面側から施され、背面側から施したものは少ない( $19\cdot33\cdot62\cdot64\cdot80\cdot96\cdot120$ )。

刃部に調整を施す理由としては、刃部の整形・機能すべき部分とそうでない部分の明確化・ 基部の装着強化・刺突機能強化などが考えられるが、ここでは刃部の整形を目的とした調整に ついて述べてみたい。

底面を複数持つものには、主要剝離面とで形成する刃部が鋭利なエッジ状にならない場合があり、底面の交わる部分に調整を加えて刃部を整形したものがある( $40 \cdot 41 \cdot 54 \cdot 75 \cdot 94 \cdot 95 \cdot 106 \cdot 107 \cdot 112$ )。

また、底面が1面でも主要剝離面の末端部分がネガティブな剝離面側へもぐりこんだものがあり、その部分は刃部がかなり湾曲することになるため、刃部を直線状に整形する必要がある  $(20 \cdot 46)$ 。しかし、同様の場合でも調整が施されていないもの (45) もあり、他の意図があったことも考えられる。

主要剝離面が蝶番剝離気味に剝離した場合,刃部は鋭利にならず丸味を持つことになるため,刃部に調整を加えて整形したものもある( $21 \cdot 33 \cdot 38 \cdot 80 \cdot 96 \cdot 103$ )。ただし, $21 \cdot 33 \cdot 80 \cdot 103$ の場合は,基部調整を第1目的とした可能性も否定できない。

他に、主要剝離面が底面あるいは底面に相当する面とで刃部を形成する際、底面がふくらんでいる部分( $28 \cdot 39 \cdot 56 \cdot 64 \cdot 72 \cdot 93$ )、底面が湾曲している部分(63)にも刃部を整形するための調整が施される場合がある。

123~125はナイフ形石器を製作する際の打面側に二次調整を施す過程において、先端部あるいは基部を破損したブランティング・チップとでも呼ぶべきものである。

以上のように、背面の状況によって国府型ナイフ形石器とそうでないものを推定してみたが、判定の基準としては背面の目的剝片剝離痕や底面の剝離方向に依るところが大きい。背面にある目的剝片剝離痕の剝離方向が主要剝離面の剝離方向とほぼ一致するものは、背面の剝離痕の数に関係なく翼状剝片と考え、逆に剝離方向が明らかに異なるものは横長剝片と考えた。なお、翼状剝片石核のなかには、打点がわずかに左右に動きながら剝片を剝取した例が認められることも指摘されているので、打点の推定位置が多少ずれているのも翼状剝片として認定した。また、断面が三角形状を呈するナイフ形石器のように、背面にネガティブな剝離面を持たないものは、典型的な翼状剝片石核に見られるように、底面の剝離方向と主要剝離面の剝離方向を平面的に見て、ほぼ一致するものは翼状剝片と考えた。

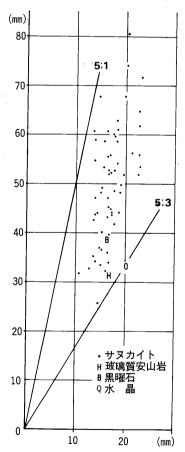
その結果、Eタイプ・Iタイプのように背面に複数のネガティブな剝離面と複数の底面を有するナイフ形石器には、国府型ナイフ形石器と考えられるものは1点もなく、すべて横長剝片を素材として用いたと考えられるものばかりであった。さらに興味深いのは、底面が複数の面から形成される横長剝片素材のナイフ形石器は5点あるが、ネガティブな剝離面を1面しか持たないCタイプ・Gタイプに属するものは1点も認められなかった。つまり、複数の底面を持つものは、断面が三角形を呈するKタイプの1点を除いてすべて、ネガティブな剝離面も複数持っているのである。言い換えれば、Eタイプ・Iタイプのナイフ形石器は国府型ナイフ形石器よりも横長剝片素材のナイフ形石器である可能性が高く、反対に、Cタイプ・Gタイプのものは国府型ナイフ形石器に属する可能性が高いと考えられよう。

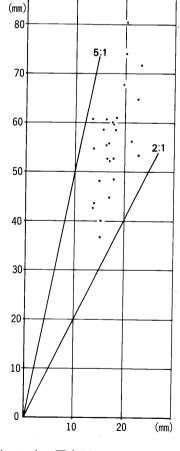
同じように、背面に複数のネガティブな剝離面と1面の底面を持つDタイプ・Hタイプのナイフ形石器について調べてみた。Dタイプの背面にあるネガティブな剝離面の状況を観察すると、

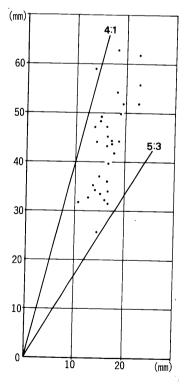
- ① ほぼ同じ大きさのネガティブな剝離面が底面に沿って並列にならんでいるもの  $(73 83 \sim 87 \cdot 89 \sim 93)$
- ② 新しいネガティブな剝離が底面まで達しきらなかったことを示すように、剝離面が上下に重なって位置するもの(42・45・49・57・88)
- ③ 先端あるいは基部側にやや小さな剝離痕が目的剝片剝離痕と並列して並ぶもの (44・46~48・56)

#### がある。

①の剝離方向はすべて異なり、打点の推定位置は打面部の全域に散らばる。さらに、ネガティブな剝離が両側縁から及んだために、底面が台形や三角形状を呈するものが多い。③の小さな剝離痕はその大きさや位置から目的剝片の剝離痕と考えるよりも、剝片を整形した剝片調整痕と考えた方が妥当なものである。よって、②・③に該当するものは翼状剝片を素材とした可能性があり、国府型ナイフ形石器と考えられるものである。①に該当するものは横長剝片素材のナイフ形石器と考えた。Hタイプの観察結果からも、ほぼ同様なネガティブな剝離面の状況が窺えるので、背面のネガティブな剝離面の残り方を調べることによって、国府型ナイフ形石器か否かを推察できる可能性もあるのではないだろうか。







第 5 表 ナイフ形石器の長幅比

第 6 表 国府型ナイフ形石器の 長幅比

第 7 表 横長剝片利用のナイフ形石器の長幅比

翼状剝片を素材として製作されたと思われるナイフ形石器の大きさを見ると,長さは $4.5\sim6$  cmのものが多く,長幅比は $5:1\sim2:1$ で細長い形態を呈する(第6表)。

これに対して、横長剝片を素材として製作されたと思われるナイフ形石器の大きさを見ると、長さ約 $3\sim 5$  cmのものが多く、国府型ナイフ形石器に比べて若干小形化している。長幅比も $4:1\sim 5:3$  と国府型ナイフ形石器よりやや幅広の形態を呈するようである(第7表)。

#### 2. 舟底形石器 (第21図1~6)

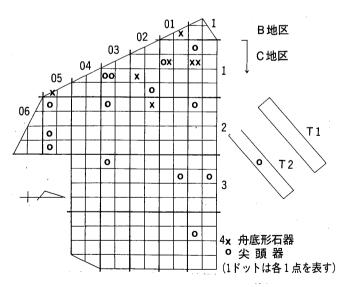
7点出土しており、1点(5)を除いてはすべてサヌカイト製で、これらのうち6点を図示した。出土状況では特に集中した箇所はみられなかった。

出土した舟底形石器は,甲板面からのみ調整を施したもの( $1 \cdot 3 \sim 6$ )と底面からの調整を持つもの(2),甲板面が複数のもの(1)と1面しかもたないもの( $2 \sim 6$ )に分けることができる。完形でないものもあるが,長さ $4.5 \sim 6.0$ cm前後,幅 $1.5 \sim 2.0$ cm,重さ $4 \sim 10$  g のものばかりで,羽佐島遺跡(I)で指摘されたような長さ $8 \sim 10$ cm,重さ20 g 前後の大形のものは出土していない。

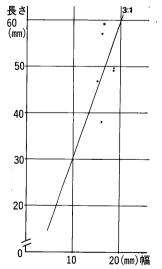
1の2つの甲板面はかなりフラットな面からなり、打点の近い底面があることから、石核側面を打面として利用した後、甲板面として残したものと考えられる。

2 は明確な底面を持たず、断面は三角形に尖っている。甲板面から右側辺部に大きな剝離を施して作製されたもので、先端部を作り出してはいるもののわずかに細かい調整が右側辺部にみられるだけで未製品とも考えられる。また、中央の稜上から甲板面に向う調整が認められる。基部には更に面を作り出すための縦方向の剝離が見られ、基部の断面は台形を呈する。この剝離面の打点は基部の截断により欠失したものと思われる。

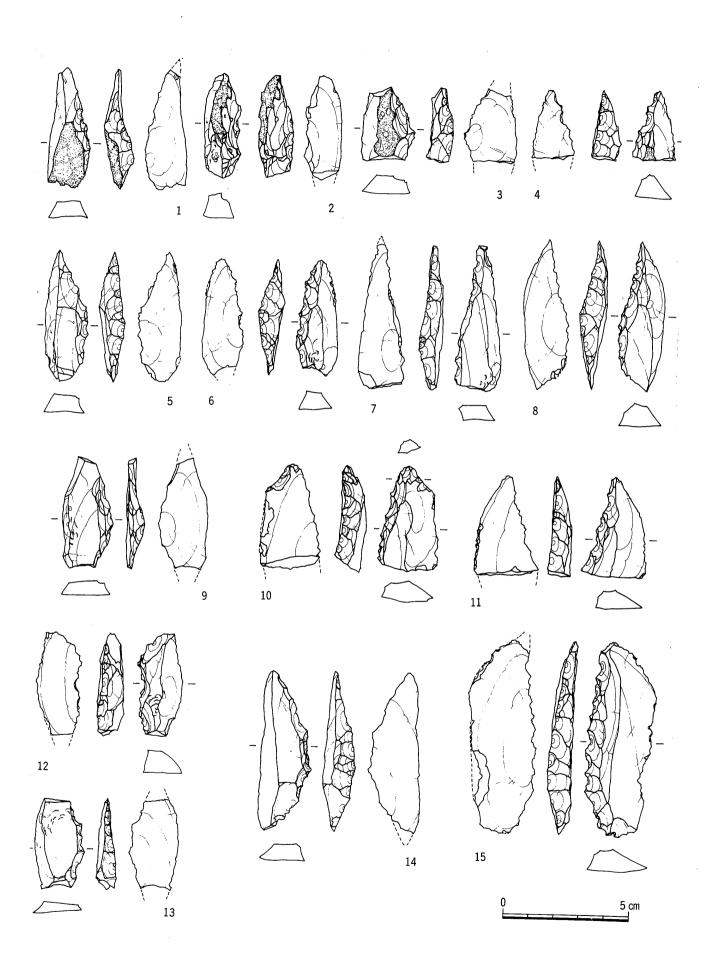
4は2つの底面が、6は1つの底面がいずれも基部で甲板面に接しており、基部はヘラ状になっている。



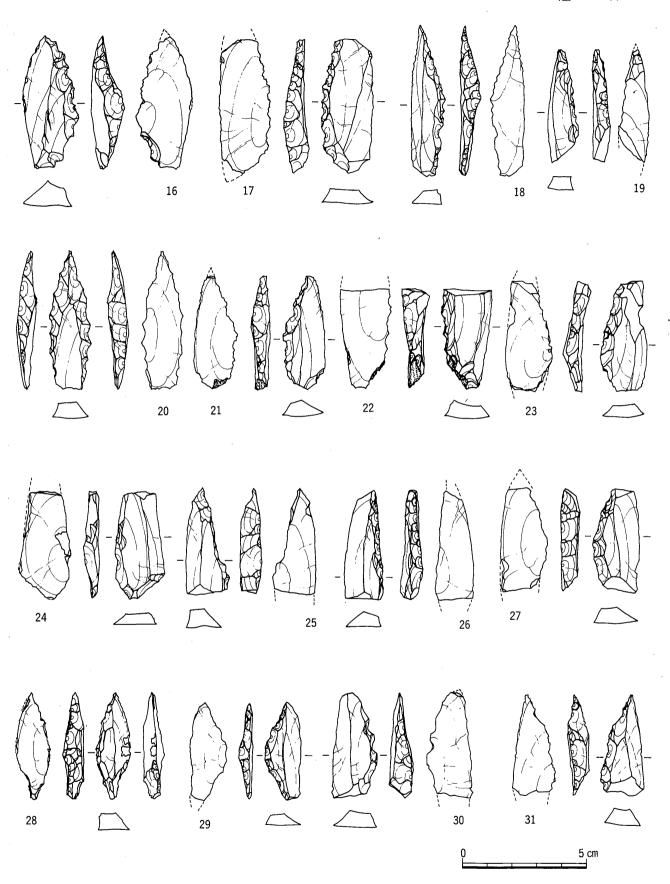
第 8 表 舟底形石器・尖頭器出土分布表



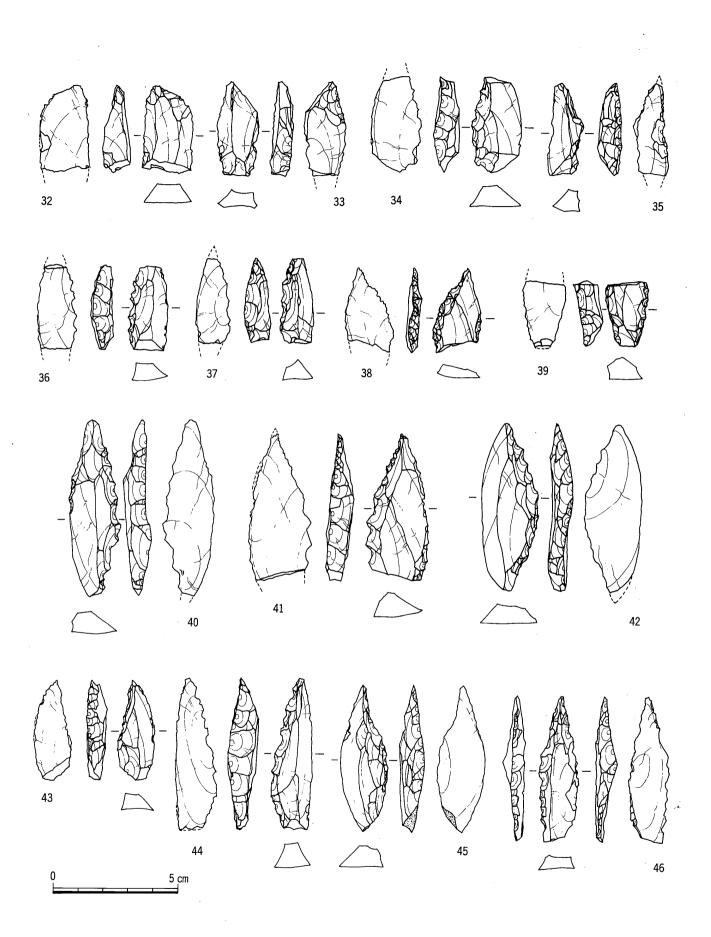
第 9 表 舟底形石器の長幅比



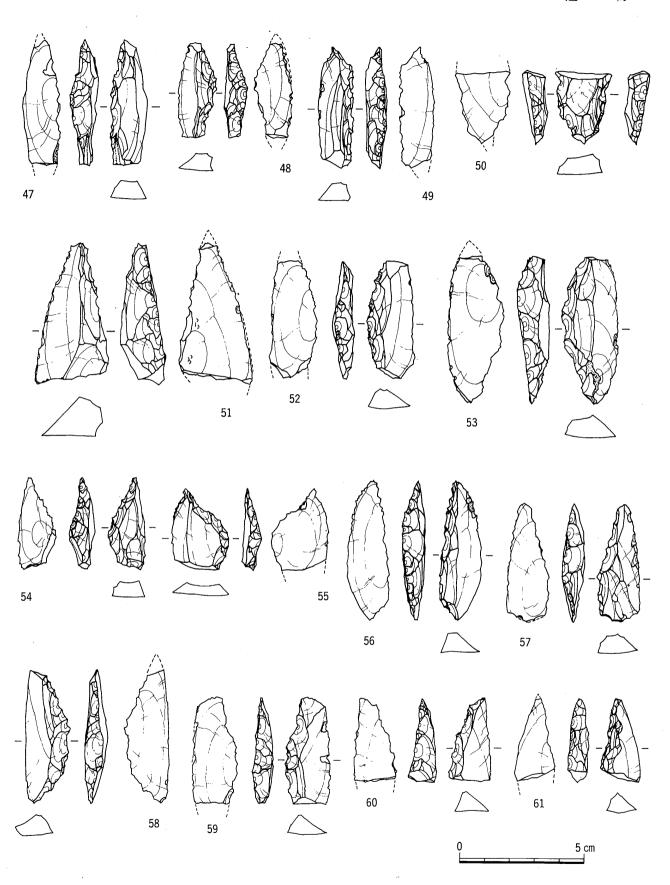
第 13 図 ナイフ形石器実測図 (1)



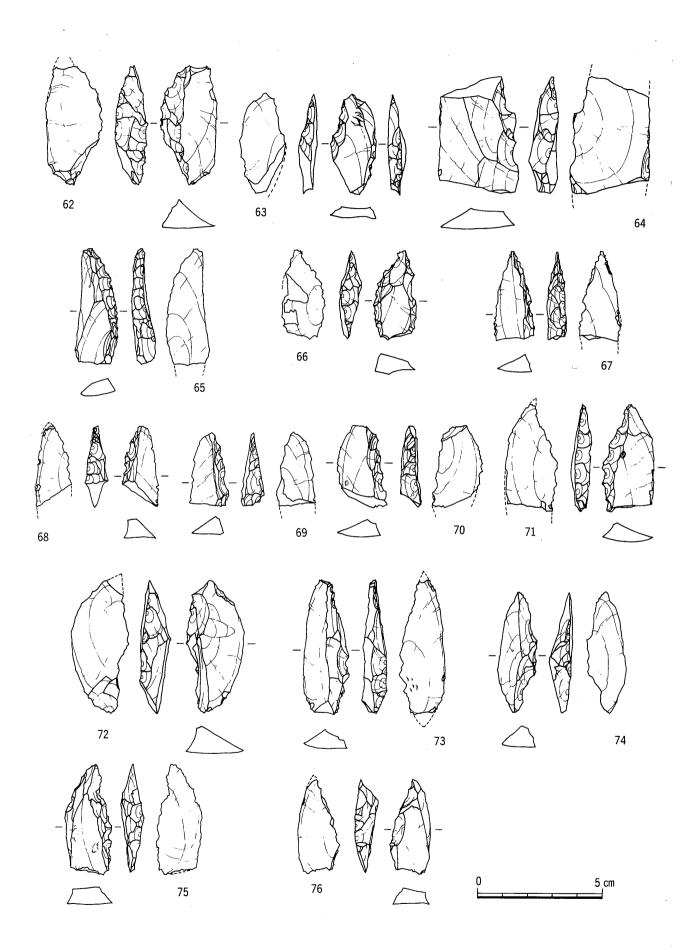
第 14 図 ナイフ形石器実測図 (2)



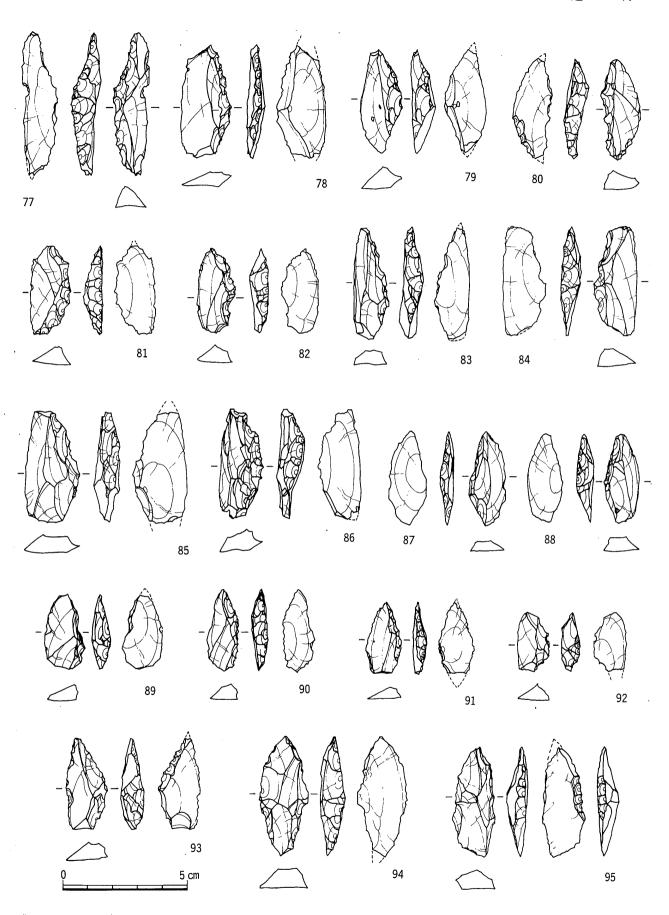
第 15 図 ナイフ形石器実測図 (3)



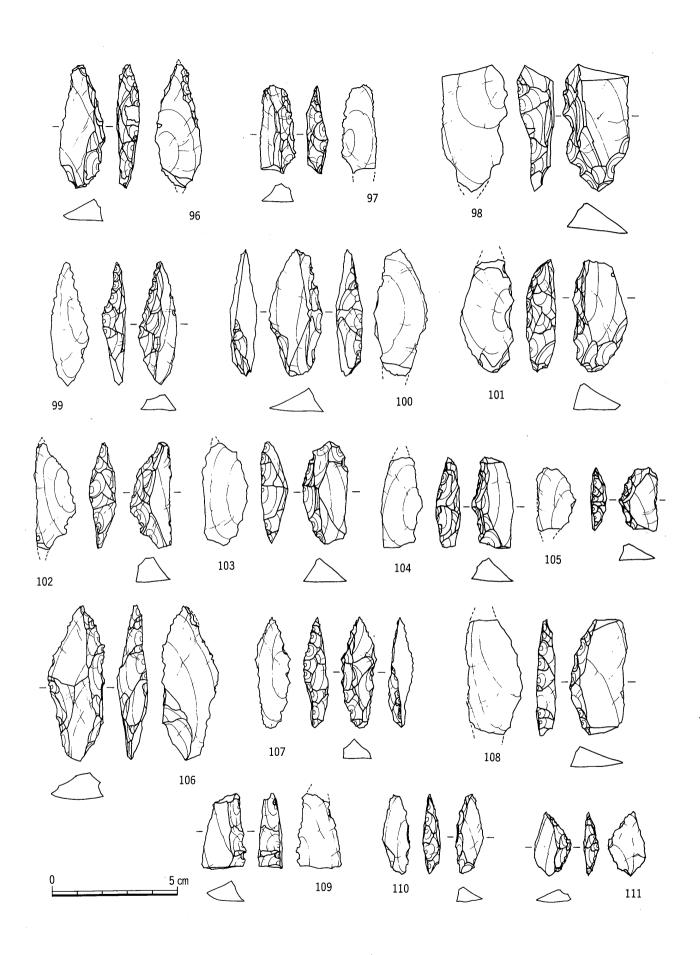
第 16 図 ナイフ形石器実測図 (4)



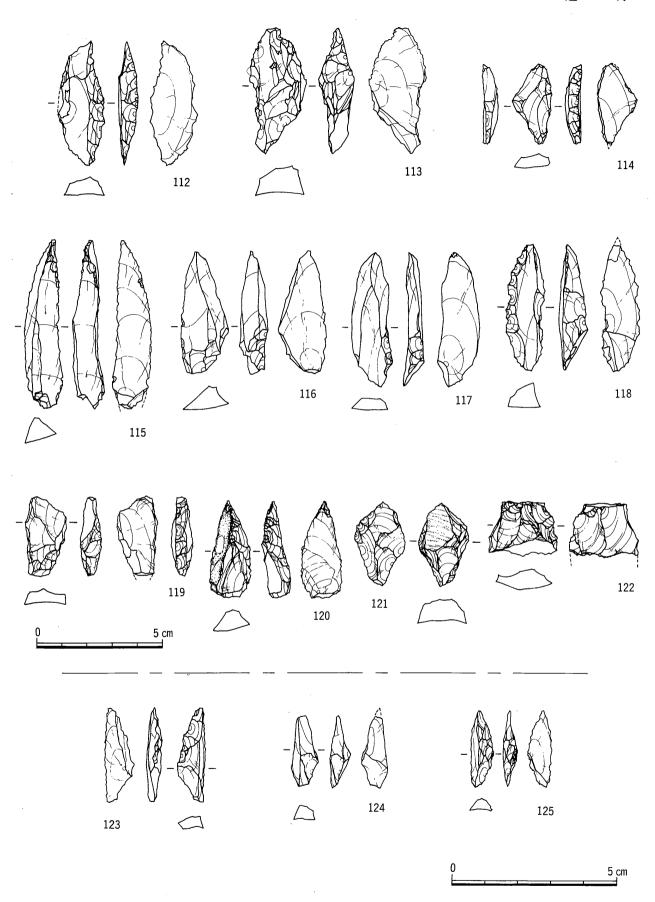
第 17 図 ナイフ形石器実測図 (5)



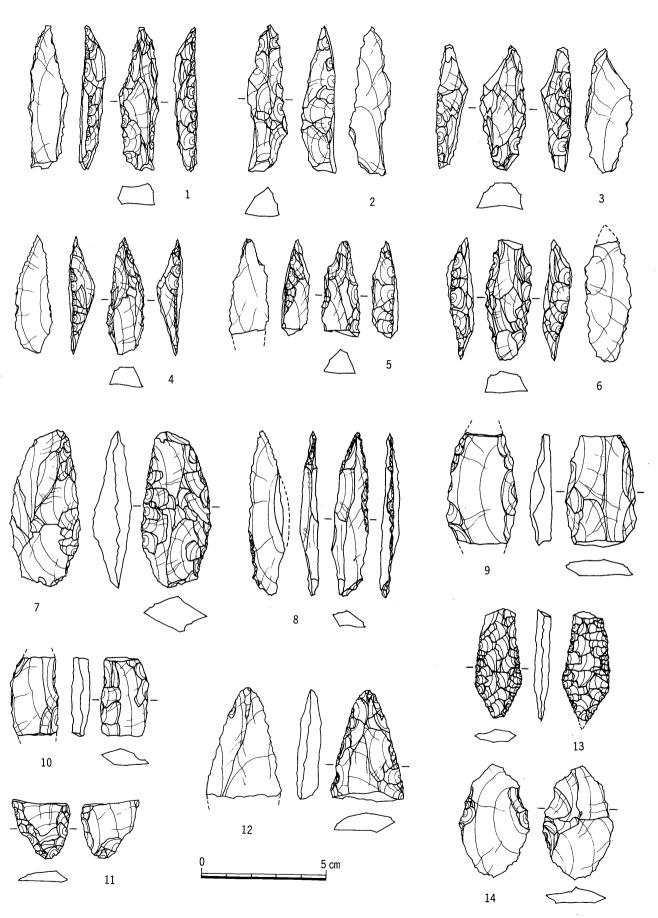
第 18 図 ナイフ形石器実測図 (6)



第 19 図 ナイフ形石器実測図 (7)



第 20 図 ナイフ形石器実測図 (8)



第 21 図 舟底形石器・尖頭器実測図

## 3. 尖頭器 (第21図 7~14)

13点出土しているが、その出土状況は散漫であり完形品は少なく、いずれも先端部あるいは基部、または先端部及び基部を大きく欠失したものや、尖端部のみのものがほとんどである。 これらのうち1点(13)がチャート製である以外はすべてサヌカイト製である。

出土した尖頭器は、木葉形のもの(7)、細身のもの(8)、紡錘形のもの(12)、有舌尖頭器(13)が各 1 点、尖端部のみのものが 4 点、身部のみのもの(9・10)が 3 点、基部のみのもの(11)が 1 点、未製品と思われるもの(14)が 1 点である。調整は両面に施されたもの、片面に施されたものがあり、調整以前の剝離面を①両面に大きく残すもの、②片面に大きく残すもの、③中央部及び一部に残すものや、④側縁部に調整が施されたもの、⑤両面に丁寧な調整が施されたものがある。

7は木葉形のもので、横長剝片石核を転用したものと思われる。片面は若干の調整と縁辺部に細かい調整が施されている。もう一方の面では、左側辺部は折れ面をそのまま利用して右側辺部に粗く調整が施されているのみである。

8 は横長剝片を素材とした細身の尖頭器である。基端部および身部中央から,先端に向う両側縁に主要剝離面側からの片面調整が施されている。身部中央から基部に向う右側縁部には背面側からの片面調整が施され,左側縁部は一部を欠くため明確ではないが,剝片のエッジ部をそのまま残していると思われる。

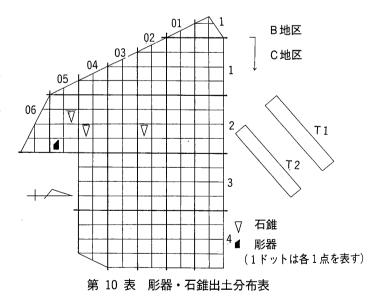
9 は両側辺とも両面から調整が施されているが,一側辺部の方が丁寧に調整が施されている。 11は基部が舌状に作り出され,一方の基部端が尖る。両面加工品で,片面の調整には打点が 残る。

13はチャート製の有舌尖頭器である。押圧剝離により全体に丁寧な調整が施されている。 14は未製品と考えられる。横長剝片を素材として打点部をとばし,身部中央側縁部に調整を加えただけであるが,調整を加えれば木葉形あるいは柳葉形の尖頭器になると思われる。

## 4. 彫 器 (第22図1)

樋状剝離が見られ、彫刀面が作り出されている。長さ4.73cm、幅2.67cm、重さ8.1gである。折れ面を利用し、右図の上端右斜め上方から加撃して斜刃型刃部を作り出す。彫刀面端部を欠失するため打点は明確ではない。

羽佐島遺跡(I)に見られる彫器とされたものは両面加工品、板状サヌカイトを素材とするものである。交叉刃型・側刃型・横刃型の彫器は厚さ1.0cm以上の分厚なものであるが、小形で斜刃型刃部のものは今回出土の彫器と同様に比較的薄い素材を使用している。



今回出土した彫器は、剝片の周縁に両面調整が施されたものを素材としており、表面は全面 にわたって白く風化している。

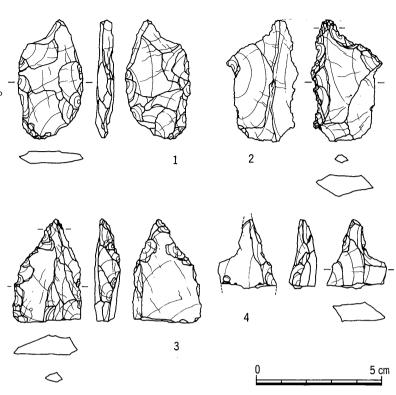
# 5. 石 錐 (第22図 2~4)

3点出土している。うち2点 ( $2 \cdot 3$ )は $C04-2 \cdot C05-2$ の隣接したグリッドのしかも比 較的近い箇所からの出土である。

2 は横長剝片石核を素材とする。調整を加えて石核の剝離痕の打点部をとばし、もう一方の面に向って側縁および刃部に調整が施されている。先端部は欠失している。

3は主要剝離面側から刃部および側縁部に調整が施されている。尖頭器の可能性も考えられるが、背面側から刃部と側辺部を区別する調整が加えられているため石錐と思われる。

4 は翼状剝片を素材とする石 錐と考えられるものである。細



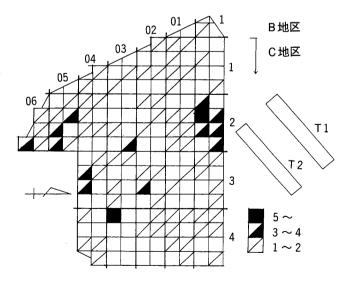
第 22 図 彫器・石錐実測図

部調整がほとんど施されず,素材をそのまま利用している。左側辺には背面側からの調整が見られる。これは翼状剝片剝離の際,石核に施された打面調整部がそのまま残ったものと考えられるが,下半部を欠くため明確には断言できない。主要剝離面側から若干の調整が施されており、さらに細かい調整を加えて刃部を作り出せば石錐になりうるものと考えられる。

## 6. 削器•搔器 (第23~25図)

不確実なものを含め、削器と搔器・円形搔器を合わせて156点出土した。削器と 搔器の分類は、一般的には調整が施された部位によってなされるが、ここでは刃部の角度も考慮に入れて、刃部の調整が急角度で施されたものを搔器、そうでないものを削器として扱った。

第23図1~3は横長剝片石核を転用した削器・搔器と考えられるものである。 1は石核の周縁部に粗い調整を加えて刃部とした削器である。3は剝片剝離痕の打面部に剝離痕側から調整を施し,刃部とした削器である。また,隣接した側縁にも細かい調整が施されており,刃部として使用されたと思われる。2も隣接す



第 11 表 削器・搔器出土分布表

る 2 辺を刃部とする。どちらも急角度で調整が施されているので搔器と考えられるが、石錐の可能性も否定できない。  $1\sim3$  の調整はすべて片面からの調整である。

 $4 \cdot 5 \cdot 7 \sim 9 \cdot 12 \sim 16 \cdot 29$ は剝片を利用した削器である。体部の1辺に調整を施したもの  $(4 \cdot 8 \cdot 9 \cdot 29)$ ,相対する2辺に調整を施したもの  $(5 \cdot 13 \cdot 14)$ ,隣接する2辺に調整を施したもの (16),長側縁と短側縁に調整を施したもの  $(7 \cdot 12)$ ,3辺に調整を施したもの (15)がある。素材となった剝片の種類からみると,横長剝片が最も多く,次いで縦長剝片や不定形 剝片があり,翼状剝片を利用したものは今回の調査では出土していない。

4は縦に長い形状を呈する。側縁に片面から調整を施して刃部を形成している。9は横長剝片の端部縁辺に両面から調整を施し刃部としているが、左図左辺の短側縁も鋭いエッジ状を呈しており、これも刃部として用いた可能性がある。29は横長剝片を用いた削器であるが、素材は主要剝離面の打点部に近い部分を加撃して半截されている。また、截断面には縦長剝片を剝離したような痕跡が見られる。

13・14は縦長剝片の両側縁に調整を施しているが、片側縁の調整はつぶれ気味の調整である。13は主要剝離面側から背面に、14は背面側から主要剝離面に調整を施す。

16は内湾する縁辺に両面から調整を施し、刃部とした削器である。調整は主要剝離面側に施されたものの方が細かく丁寧で、背面側の調整は主要剝離面側の調整を補う形で施されている。また、左図右辺にある自然面と主要剝離面とでなす側縁部にも調整を施していることから、外湾したこの側縁も削器の刃部として使用されたものとも考えられる。素材は截断されたように折損しており、その縁辺にも部分的に調整が施されている。

7・12は体部の長側縁と短側縁に調整が施されている。7の短側縁に施された調整はつぶれ気味の細かな調整であり、刃部として考えられるのは長側縁の方であろう。12は長側縁と短側縁の交点にあたる角の部分にも丁寧な調整が加えられている。

15は一応、3辺に調整が施されているが、下辺の刃部は粗雑な階段状剝離の調整で刃部としては適さない。刃部として考えられるのは、上辺の半分と抉りの部分のみである。

10・11は掻器と考えられるものである。どちらも刃部以外の側縁は折損している。今回の調査では10のように両側縁を折損して三角形状を呈する掻器が多数出土している。調整は両面から施したものがほとんどで、片面のみ調整したものは2点しかなかった。11の調整は両面から施されているが、よく観察すると表裏で調整部位が微妙にずれていて、刃部を正面から見るとあたかも交互に剝離したように波形状を呈する。また、左図左上辺の内湾した縁辺はエッジ状を呈することから、この辺も刃部として使用されたことが考えられる。11は風化があまり進行していないので、旧石器には属さない可能性が高い。

17・18は不整円形または不整楕円形の体部を持ち、体部のほぼ全周にわたって調整を施された小形の搔器と考えられる。17は両面から調整が施されているが、階段状剝離気味であることから、あるいは截断面ある石器または楔状石器の素材として捉えるべきかもしれない。

19は半円形の体部のほぼ全周にわたって片面から調整を施されたもので、掻器と考えられる。上辺の截断されたような面がどの段階で形成されたものか決定できないが、器形を整えるためと考えられる調整が施されている。

6は分厚い器体の長側縁に両面から細かい調整を丁寧に施しているが、階段状剝離であり、 削器の刃部としては若干無理がある。調整を器形を整えるための加工とみなせば、両面加工の 石器として考えられるものである。 20は横長剝片石核の剝片剝離痕の打面部に両面から細かい調整が施されているので石核転用の削器として考えた。しかし、調整が階段状剝離であり、つぶれたような痕跡も認められることから、石斧のような機能を持つものとして使用された可能性も否定できない。

21は長側縁と短側縁に抉り状の調整を施したものである。抉りの周囲にも細かい調整が見られる。一応、削器として扱ったが、刃部の形態や器形から判断すると石錐と考えるべきかもしれない。

22~28は縁辺に使用痕らしき微小な剝離痕が認められる剝片である。22は翼状剝片の底面末端部分に使用痕らしきものが見られる。23は横長剝片のエッジ部及び側縁部に多数の使用痕が認められる。打面部には主要剝離面側及び背面側の両面から調整が施されているのでナイフ形石器と考えられる。刃部の基部よりの部分にも主要剝離面側から調整が施されている。24は翼状剝片のエッジ部に、25・27は横長剝片のエッジ部に使用痕が見られる。26は2側縁、28は1側縁に使用痕が認められる横長剝片である。

使用痕らしき微小な剝離痕を持つ剝片は少なくないが、23~25のように多数の使用痕を持つ ものは極めて少ない。

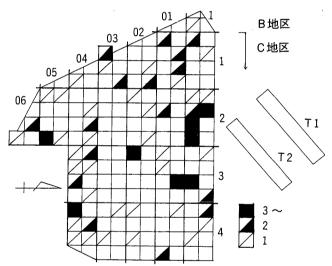
## 7. **楔状石器** (第26·27図)

96点の楔状石器が出土した。うち26点を図示した。

楔状石器は周縁のいずれかに階段状剝離が施されているため、削器と区別する ことが困難なものも少なくない。すべて サヌカイト製である。

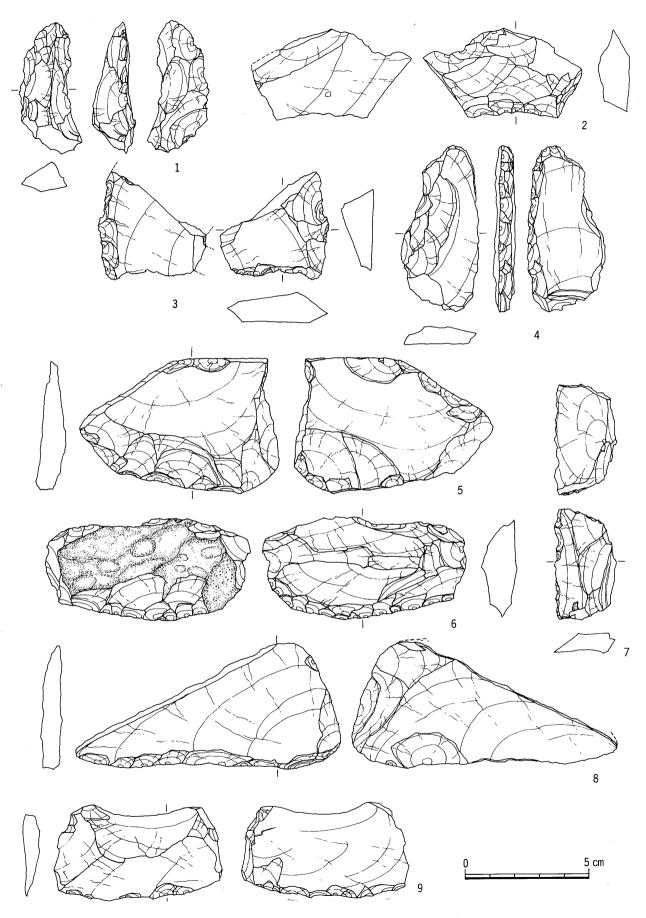
第26図  $1 \sim 10 \cdot 12$ は 1 辺にのみ切断面を持つものである。三角形を呈する10以外は四角形を呈するものがほとんどである。上下両縁に階段状剝離の著しい調整が施されている。

11・13・25は三角形を呈するものである。11・13は1辺に調整が見られ,一方は切断面であるが,もう一方は切断面とは思われない。25は2辺に調整が見られる。

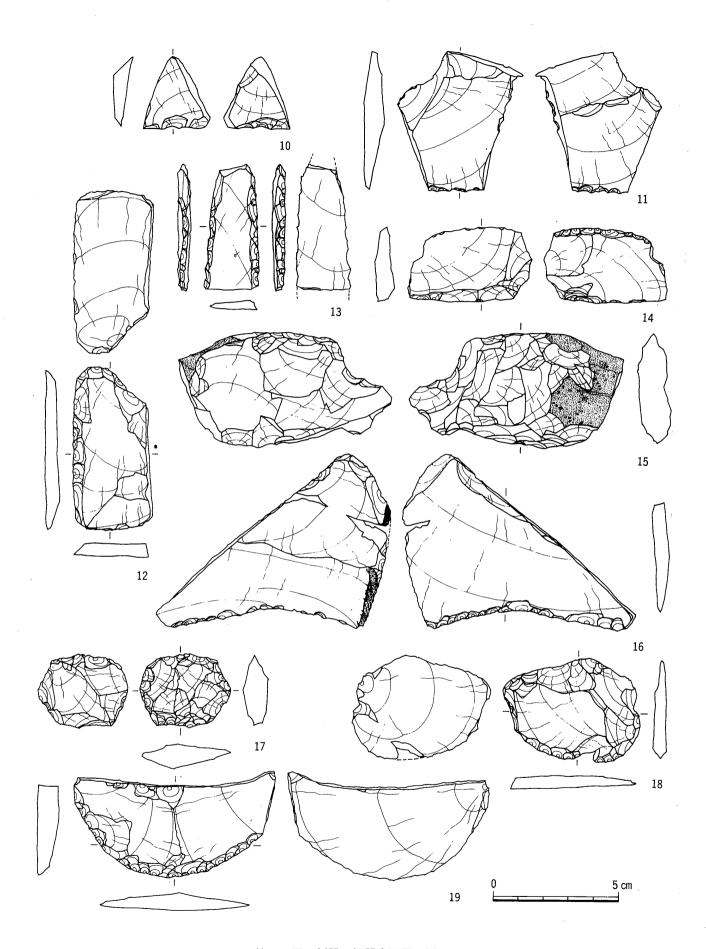


第 12 表 楔状石器出土分布表

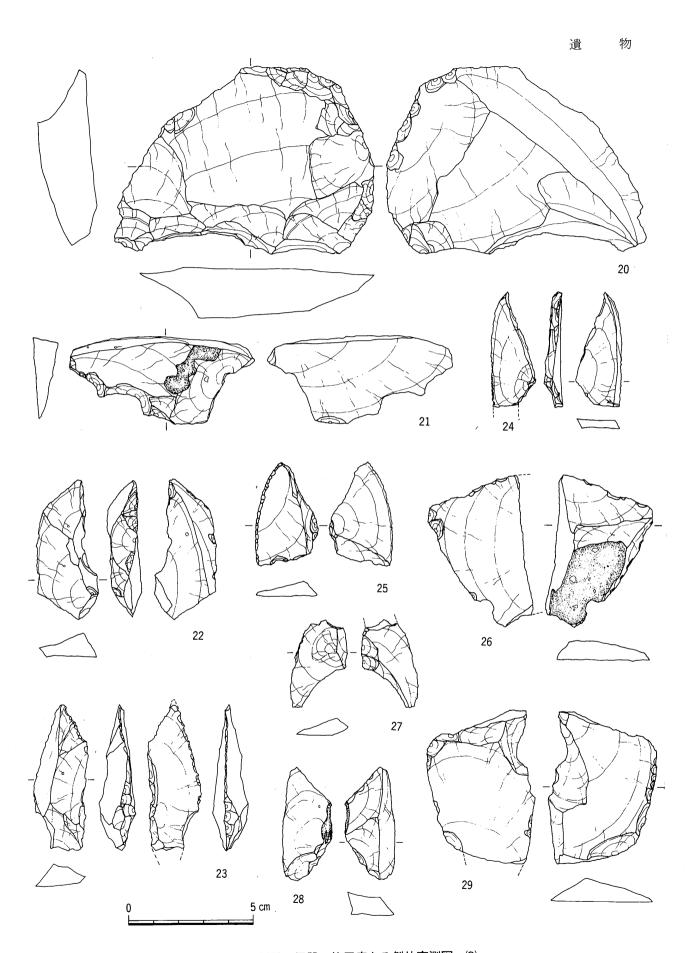
 $14\sim24\cdot26$ は切断面を持たないものである。 $14\sim16\cdot18\sim24$ は長方形あるいは台形をなすもので、切断面は見られないが断口面を持つ。 $17\cdot26$ は切断面も断口面も見られず、素材とも考えられる。



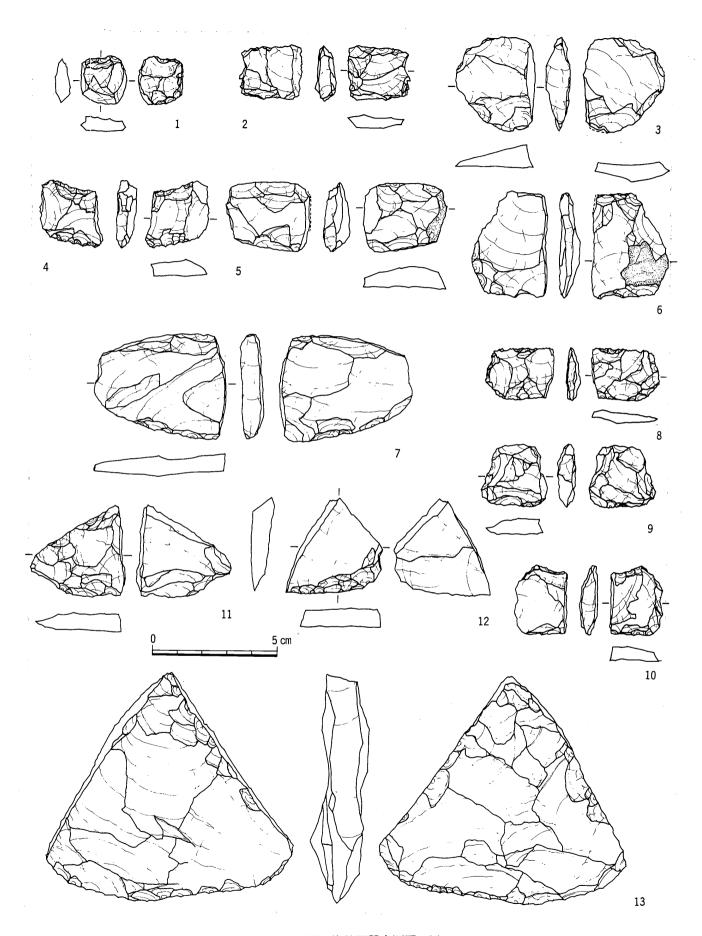
第 23 図 削器・搔器実測図 (1)



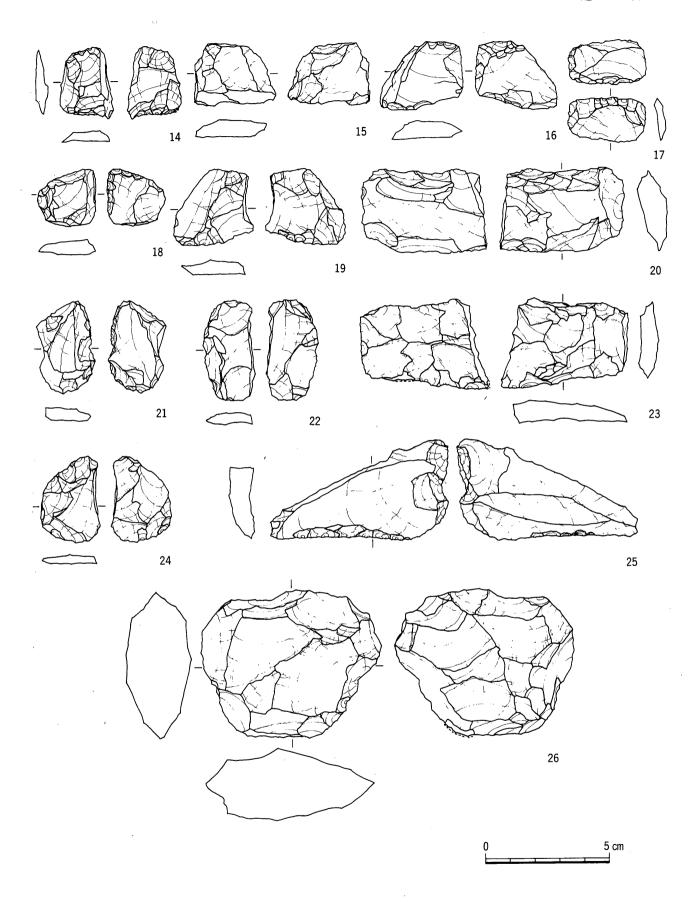
第 24 図 削器・搔器実測図 (2)



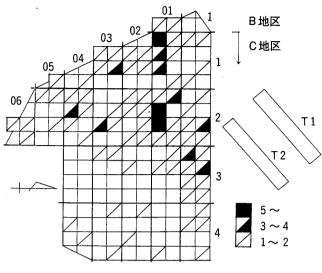
第 24 図 削器・搔器・使用痕ある剝片実測図 (3)



第 26 図 楔状石器実測図 (1)



第 27 図 楔状石器実測図 (2)



第 13 表 二次調整ある剝片出土分布表

# 8. 二次調整ある剝片 (第28図)

ここで取り扱う石器は、石器自体に細かな剝離痕が認められるものと、他の器種に含める上でやや無理があるものである。石器に残る微細な剝離痕は、調整痕か使用痕か、もしくはローリング等の意図的ではない剝離痕のいずれかという判別が困難なものも多い。そこで、二次調整ある剝片ということで一括し、記述することとした。

第28図 $1\sim3$ ・5は横長剝片石核の砕片と考えられるものに二次調整を施した例である。2・3は石核の作業面とは反対側の縁辺に調整を施したもので、どち

らも加撃方向は単一である。削器か。 5 の石核作業面にはつぶれ気味の調整痕が複数認められる。

4は横長剝片のエッジ部に背面側から調整を施す。削器であろう。

6 は横長剝片の背面側打面部に複数の調整痕が見られるが、主要剝離面を切るようにつぶれ痕があり、打点部をとばされているので調整が主要剝離以前に施されたものかどうかは判断し難い。

7は横長剝片の側縁部に調整が施されているが、打点が残らないので主要剝離面を剝離する以前になされたものと思われる。

8は扁平な横長剝片のエッジ部に両面から細かい調整を丁寧に施す。小形の円形搔器と考えられる。

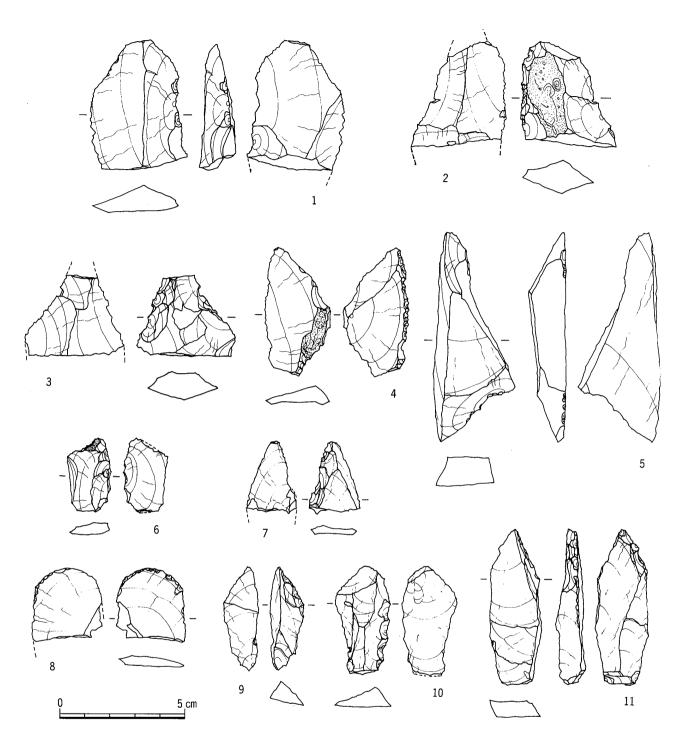
9 は不定形剝片の縁辺に主要剝離面側から調整を施す。調整を施された部分は鋭いエッジ状を呈する。

10は縦長剝片の一側縁に主要剝離面側から調整を施す。削器かナイフ形石器の可能性もある。 11は横長剝片と考えられる剝片を截断したようなものを素材とする。両側縁には側面から調 整が施されている。加撃方向は錯行する。右図先端あるいは基部を彫刀面とする彫器である可 能性が高い。

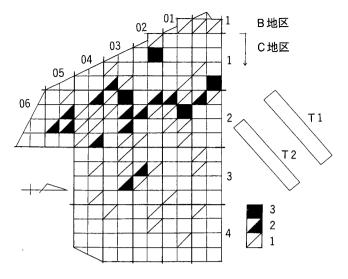
#### 9. 横長剝片石核 (第29~32図)

ここでいう横長剝片石核とは、翼状剝片を含めた広い意味での横長剝片を剝離した石核のことである。今回の調査によって79点が出土した。すべてサヌカイト製である。横長剝片石核には、二次調整を施して削器・掻器として転用したものが少なくない。削器・掻器および二次調整ある剝片の項で紹介しているので参照願いたい。

第29図  $1\sim9$  は翼状剝片石核と考えられるものである。典型的なものは,底面を下にして石核作業面を正面から見て,上面に山形の打面調整を施し,底面は1面のポジティブな剝離面からなり,盤状剝片の打点側から連続して石核の幅に相当する翼状剝片を剝離している( $2\cdot4$ ~8)が,底面が2面からなるもの(1)や盤状剝片を剝離した打撃に対して $60^\circ\sim70^\circ$ の方向か



第 28 図 二次調整ある剝片実測図



第 14 表 横長剝片石核出土分布表

ら翼状剝片を剝離するもの(1・3・9) もある。7の打面は左右に調整を施しているが、打点部は自然面のままである。 8の右図右上の剝離痕は横長剝片の剝離 痕と考えることもできるが、打面調整の 可能性も否定できない。

出土した翼状剝片石核を観察した結果, 稜上を加撃して剝片を剝離したものは1 点(5)のみで,他のものは稜をわずか にずれた打面調整面を加撃している。6 はその顕著な例として考えられるもので あろう。

10~29は横長剝片石核と考えられるものである。横長剝片石核のなかで最も多

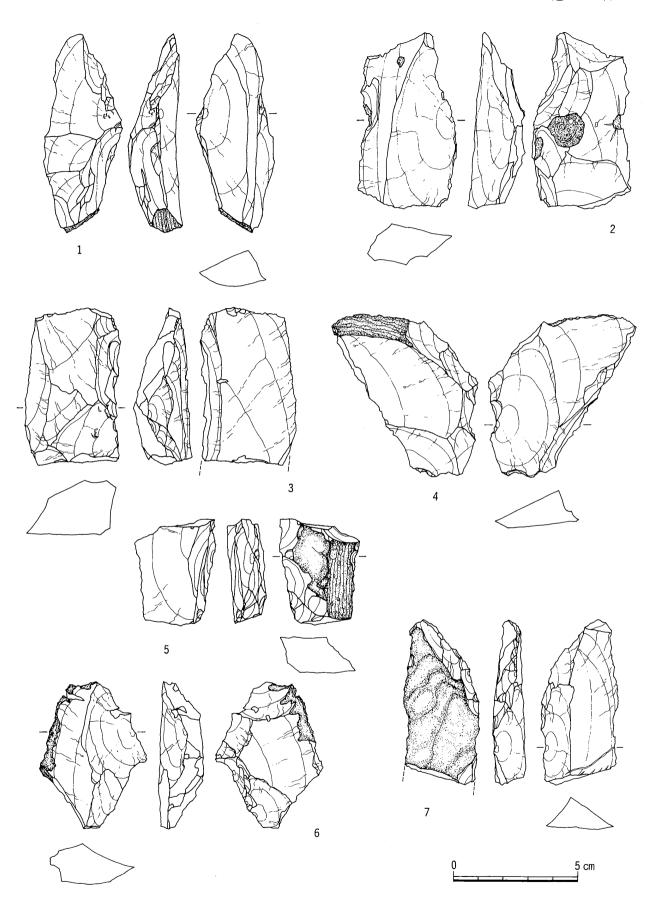
いのが交互剝離石核で、一側縁の表裏から横長剝片を剝離したもの( $11 \cdot 13 \cdot 17 \cdot 21 \cdot 22 \cdot 26$ )や両側縁の表裏から横長剝片を剝離したもの( $10 \cdot 12 \cdot 15$ )のほか、一側縁の表裏から目的剝片を剝離すると同時に、他の側縁からも横長剝片を剝離したもの( $14 \cdot 27$ )などがある。また、底面を共有するかたちで両側縁から横長剝片を剝離したもの( $16 \cdot 19 \cdot 20$ )や両側縁から錯行するように加撃して横長剝片を剝離したもの( $18 \cdot 23$ )もあり、横長剝片の剝離方法はさまざまな様相を呈する。

24・25は無調整の平坦な打面を加撃して横長剝片を剝離したものである。

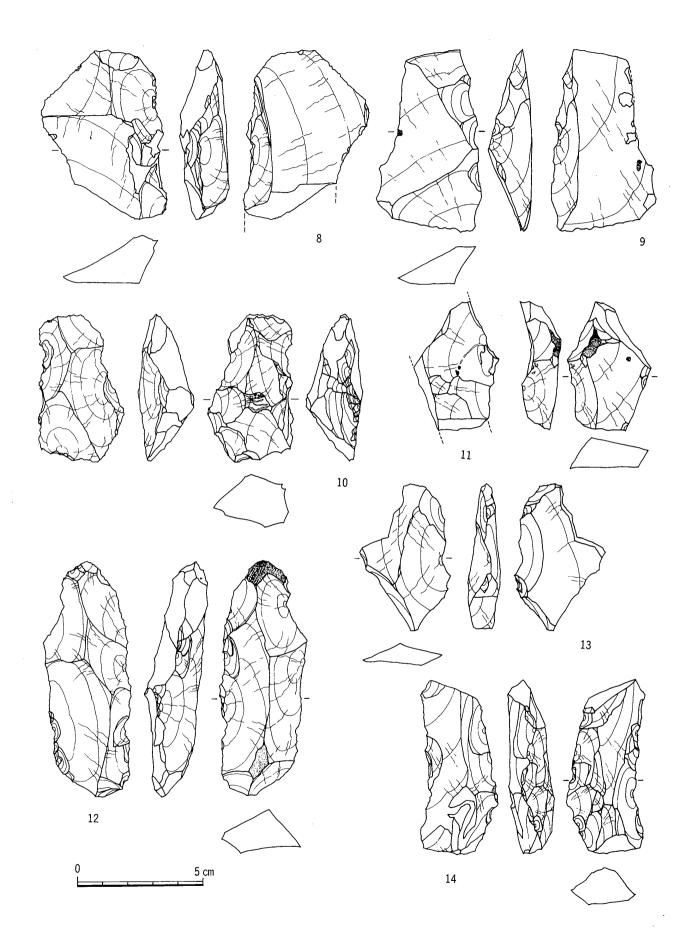
28・29は最終作業面と考えられる面以外にも複数の剝離痕を持つが、目的剝片の剝離痕であるか否かは断定できないものである。28は左上図、29は左図右側が横長剝片の剝離痕と考えられる。29は加撃の力が石核の末端まで伝わらず蝶番剝離している。さらに、剝離痕から想定される横長剝片は打面が山形を呈し、背面側からの調整を持つので、翼状剝片石核から剝離された翼状剝片との区別はし難い。また、このような横長剝片を素材として用いれば、形態的には国府型ナイフ形石器とそっくりなナイフ形石器を製作することも可能である。10・11・12の石核から剝離された横長剝片も大きい剝離面からなる打面調整を有する石核から剝離された翼状剝片に誤認される可能性もあると考えられる。特に12は両側縁から底面を共有して翼状剝片を剝離した石核の底面が消失した段階のものと見ることもできる。

『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 I 羽佐島遺跡 (I)』で渡部明夫氏が述べているように、翼状剝片石核と交互剝離石核との区別は明確にし難いが、石核の石理を観察することによってある程度の区別は可能になると思われる。

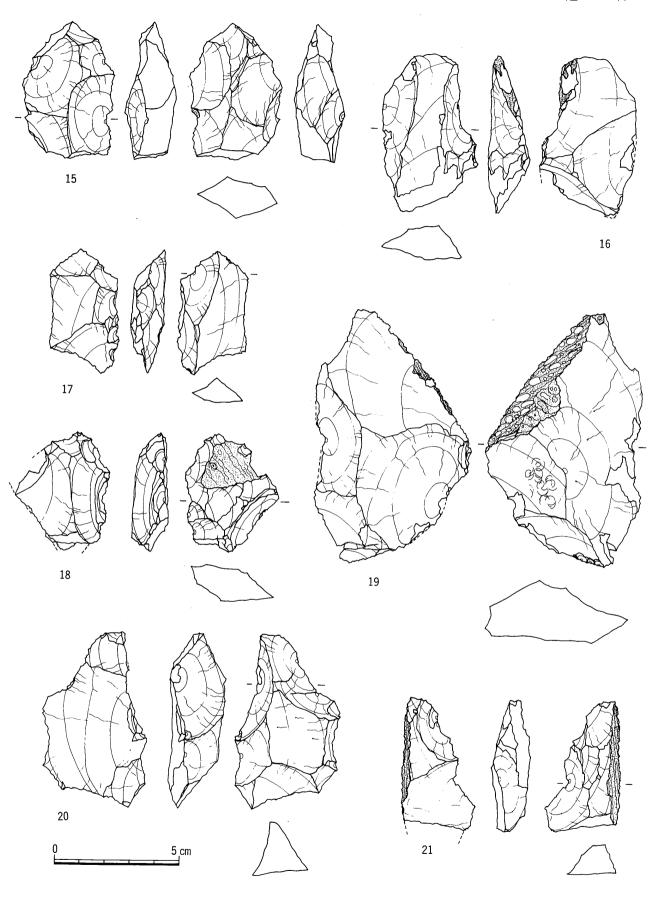
図示した石核のうち、石理を観察できたものが19点あった( $1\sim7\cdot11\sim17\cdot21\sim24\cdot27$ )。 翼状剝片石核として扱った 9点をみると、6のみが底面と平行して石理を用いているが、不明のもの 2点を除く他のものは作業面と平行して石理を用いている。これに対して、交互剝離石核として扱った11点をみると、作業面転移が認められない一側縁交互剝離石核の 8点( $11\cdot13\cdot14\cdot17\cdot21\cdot26\cdot27$ )のうち、17のみが作業面と平行して石理を用いているが、不明の26を除く他の 6点は底面と平行して石理を用いている。また、作業面転移が認められる二側縁交互剝離石核の 3点( $10\cdot12\cdot15$ )のうち、不明の10を除く 2点ともすべての作業面に対して共通す



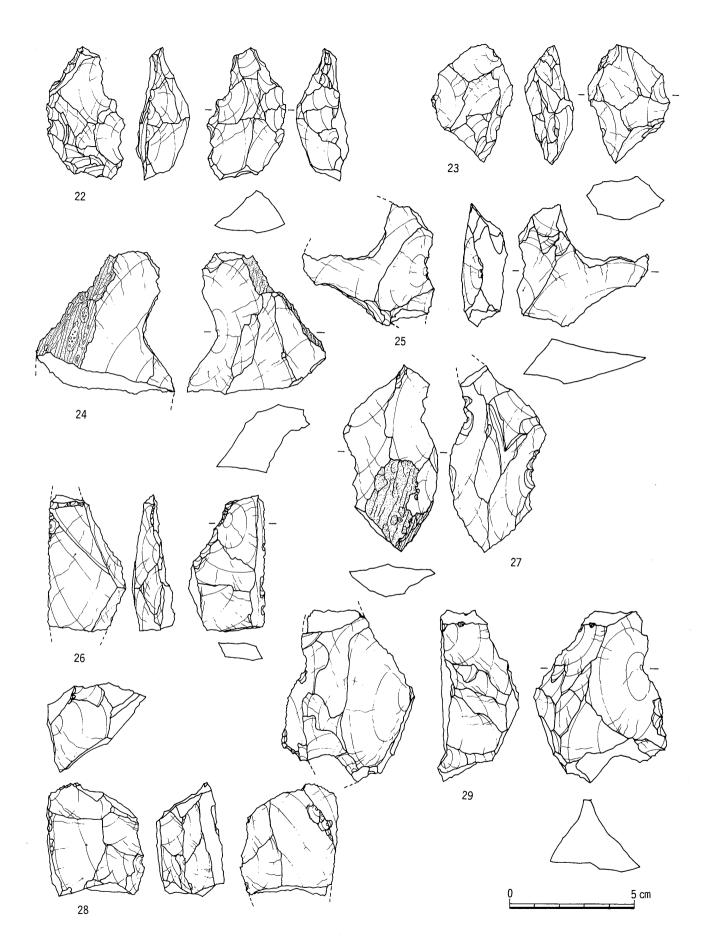
第 29 図 横長剝片石核実測図 (1)



第 30 図 横長剝片石核実測図 (2)



第 31 図 横長剝片石核実測図 (3)



第 32 図 横長剝片石核実測図 (4)

るように石理を用いたとは言えず、一方の作業面では底面と平行して、他方の作業面では作業面と平行して石理が走っている。作業面転移の有無によって若干の差異はあるものの、交互剝離石核として一括して扱った場合、底面と平行して石理を用いたものと作業面と平行して石理を用いたものの比は6:1となり、同様の比が1:6を示す翼状剝片石核の場合とは明確に異なる石理の用い方をしていると言えよう。

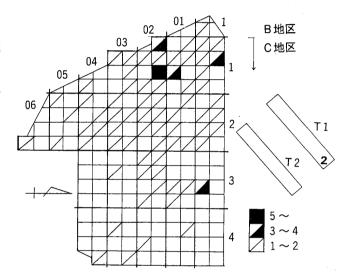
この観察結果は、松藤和人氏による二上山北麓遺跡群中、鶴峯荘第1地点から出土した翼状 剝片石核における石理の観察結果及び藤好史郎氏による大浦遺跡出土の横長剝片石核における 石理の観察結果と共通するものである。

石器を製作した古代人が、目的剝片の種類によって石理を意図的に使い分けたものか否かは 推測の域を脱しないが、現存する遺物の観察からは興味深い傾向が認められた。

## 10. 翼状剝片 (第34·35図)

ここでいう翼状剝片と次の項で述べる 横長剝片(第36~38図)との最大の相違 点は、底面を下にして剝片を背面から見 た場合、翼状剝片には上部を山形に整形 するための意図的な打面調整が背面側か ら施されていることである。

出土総数は104点である。流紋岩製のものが1点(27)出土したほかはすべてサヌカイト製である。翼状剝片を出土しなかったグリッドはほとんどなく,C02-1・cnで5点出土したのを最高にC02-1・anで4点,C1-1・bn,C01-1・bn,cs,C1-3・csで各3点と,尾根筋丘陵部付近のB1,B01,C1~C03-



第 15 表 翼状剝片出土分布表

1・2の範囲に集中する傾向が見られ70点が出土しているが、これは全体の67%に当たる。出土遺物総点数に占める同範囲での遺物の集中が51%であるのと比較して、かなり高い集中率を示すと考えて良いだろう。

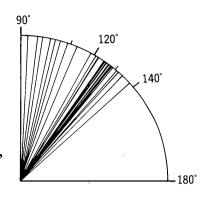
第34図1~6・8・9 は背面に目的剝片剝離痕と底面を各1面ずつ持つ翼状剝片である。1・5 の背面には複数のネガティブな剝離面が見られるが、1の右図上側2面の剝離痕はその大きさからして目的剝片を剝取したものとは考えられず、本来の目的剝片の剝離が大きく歪んで及んだために、次の剝離によって得られる剝片の末端部分が分厚くなるのを整形する意図を持って、石核段階で調整を施した剝片調整痕と考えた方が適切と思われる。背面打面側にある剝離痕も同様の調整痕か。5 の背面の新しい剝離痕も主要剝離面剝離後に施された調整と見られるので、本来の目的剝片の剝離痕は1面として扱った。4 の背面側打面縁辺には細かい調整が多数施されているが、これも1と同様に剝片の歪みを整形するために施された剝片調整痕と考えられる。また、底面下半部を折損しているが、その折損面を加撃して主要剝離面に調整を施す。8 の打面部は半分は自然面をそのまま用いて、半分のみに打面調整を施して山形に整形したものと考えられる。

10・11は背面に1面の目的剝片剝離痕と複数の底面を持つ翼状剝片で、これらの剝片を用いてナイフ形石器を製作したならばCタイプの国府型ナイフ形石器となる。

12~19は背面に複数の目的剝片剝離痕と1面の底面を持つ翼状剝片である。この種の翼状剝片を用いればDタイプの国府型ナイフ形石器を製作できるだろう。19の背面側打面縁辺には4と同様な調整痕が複数認められる。

20は背面に複数の目的剝片剝離痕と複数の底面を持つ翼状剝片である。背面側打面縁辺には階段状剝離気味に調整が施されている。

 $7 \cdot 21 \sim 26$ は断面が三角形状を呈する翼状剝片である。 $7 \cdot 21$ には底面が痕跡程度に残っているが,他のものは底面を有しない。主要剝離面を剝離する際の加撃角度が深すぎたり,石理の影響や剝離ミス等によって剝離が底面まで達しきらずに,背面側へ蝶番剝離気味に剝離したものと考えられる。主要剝離面を加撃した際の力が一番大きく及んだと考えられる打面と主要剝離面のエッジ部とでなす剝離角度を計測すると, $93^\circ \sim 109^\circ$ の範囲に集中しており,他のタイプの翼状剝片が $113^\circ \sim 138^\circ$ の範囲におさまり,なかでも $120^\circ \sim 130^\circ$ に集中する



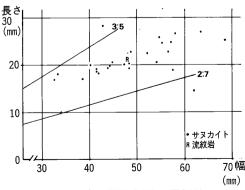
のと比べて(第33図)剝離角度が小さく、剝離が急角度で及 第 33 図 翼状剝片剝離角度分布図 んでいることが分る。21の場合、ネガティブな剝離が異常な

ほど主要剝離面側へ及んでいるため、主要剝離面の蝶番剝離が他のものに比べて比較的軽くても底面が残らない結果となっている。26の背面側打面縁辺には細かい調整痕が見られる。前述した剝片調整痕か。

断面が三角形状を呈するナイフ形石器(J・Kタイプ)は今回の調査でも少なからず出土しているが、それらはすべて底面を持ち、ネガティブな剝離面が二次調整によってとばされてしまった結果断面が三角形状になったものであり、翼状剝片で見られるような底面を持たないタイプの断面が三角形状のナイフ形石器は今回の調査では出土していない。

27は流紋岩製の翼状剝片と考えられるもので、剝片剝離工程の比較的初期に剝離されたものと考えられる。

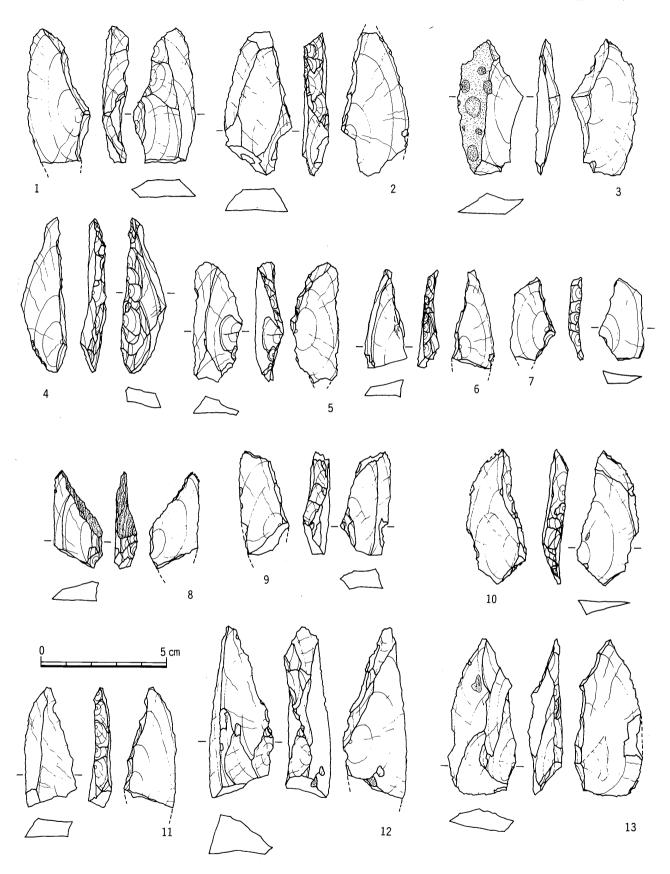
翼状剝片のなかには、打点部あるいは打面部の一部に主要剝離面側から 1 ~数回の打撃を施したもの( $2 \cdot 4 \cdot 8 \cdot 17 \cdot 19$ )があり、これをナイフ形石器へのブランティングと考えるならば、松藤氏分類による形態Dの翼状剝片の打面側に部分加工を施したナイフ形石器として捉えることもできよう。



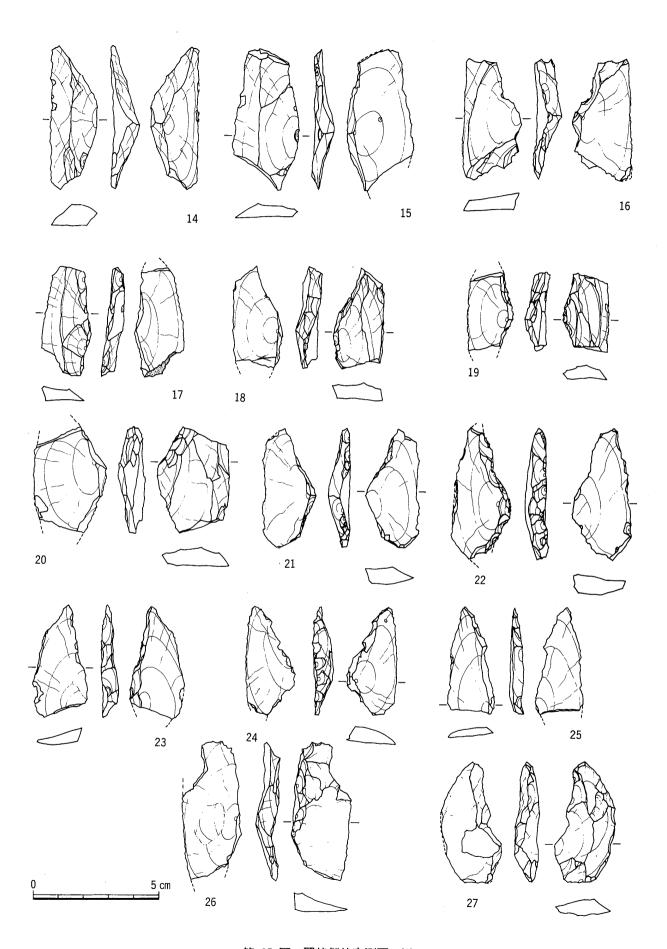
第 16 表 翼状剝片の長幅比

■ 図示した翼状剝片の打面調整には、粗く大きな調整を
 施したもの(1・3・14・15・21)があるが、これらは
 打面調整の粗い翼状剝片石核から剝離された翼状剝片であると考えられると同時に、石核の両面から横長剝片を剝取する交互剝離石核から剝離された横長剝片である可能性も否定できない。図示した翼状剝片の長さは1.5~2.8cm、幅は3~7cmの範囲にほぼおさまる。その70幅なかでも長さ1.8~2.5cm、幅4~6cm程度のものが多く、

長幅比は $3:5\sim2:7$ の範囲に集中している(第16表)。



第 34 図 翼状剝片実測図 (1)



第 35 図 翼状剝片実測図 (2)

# 11. 横長剝片 (第36~38図)

羽佐島遺跡から出土した旧石器時代の遺物のうち,最も多かったのが大小さまざまな横長剝 片である。ここでいう横長剝片とは,横長の剝片から翼状剝片を除いたものである。

第36図1は剝離工程における比較的初期の剝片と考えられるものである。左図右下の調整痕を彫刀面とみなせば彫器の可能性もある。

 $2\sim8\cdot15\cdot24$ は背面側から打面調整が施されているので翼状剝片と考えることもできるが、打面が明確な山形になっていなかったり( $2\sim5\cdot7\cdot24$ )、背面にある複数の目的剝片剝離痕の加撃方向が左右に大きくずれていたり( $6\cdot15$ )、1回の調整剝離面が大きすぎる(8)ことから、交互剝離石核から剝離した横長剝片と考えた方が妥当であろう。5の打面縁辺には細かな調整が施されている。翼状剝片で見られたのと同様の剝片調整痕か。

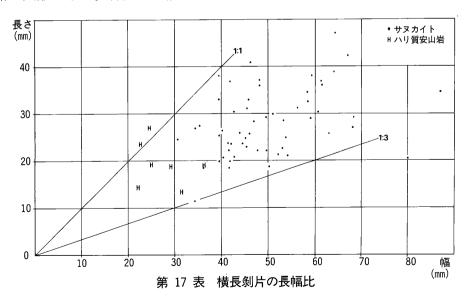
 $9 \sim 11$ の背面は打点部を持たない平坦かつ大きな剝離面で形成されている。10の打面部及び主要剝離面には複数の調整痕が見られる。

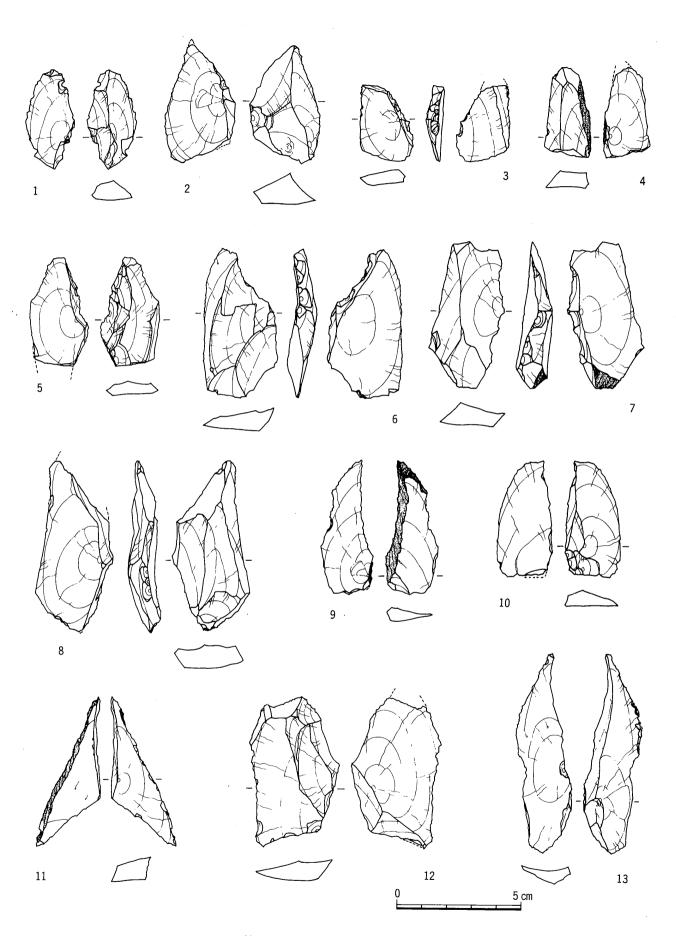
13~15・17・24は打面の稜付近に打点を持つものである。13・15はエッジ部に小数の調整痕を持つ。13は背面側から,15は主要剝離面側からの調整である。24の打面縁辺には剝片調整痕と考えられる調整痕が見られる。

 $16 \cdot 18 \sim 23 \cdot 25 \cdot 26$ は打面の平坦部に打点を持つものである。19の底面にはつぶれ気味の調整痕が見られる。 $20 \cdot 22 \cdot 23 \cdot 25 \cdot 26$ の打面縁辺には調整が施されている。22以外は主要剝離以前の石核段階で施された剝片調整痕か。

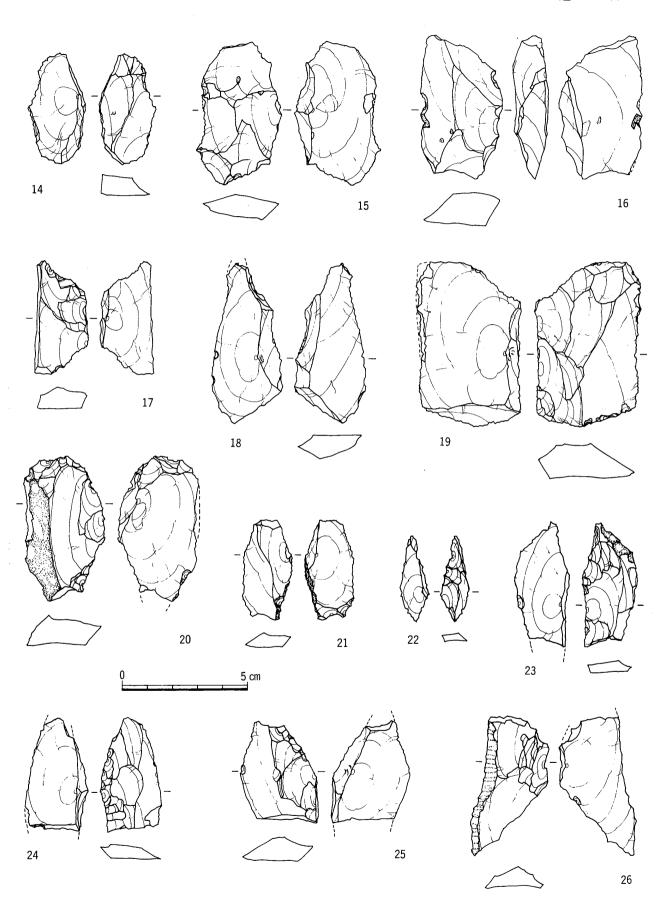
27は自然面を加撃して剝離したものである。打面縁辺には複数の調整痕が見られる。

28~33は玻璃質安山岩製の横長剝片である。サヌカイト製のものに比べると全体的に小形である。28のエッジ部の背面には複数の微小な剝離痕が見られる。29・31の背面には自然面が大きく残ることから,ファースト・フレイクと考えられる。29の打面部の背面側には調整痕がある。32は厳密に言えば縦長剝片とすべきかもしれないが,長さと幅の差がほとんどなく,意図的に縦長剝片として剝取されたものとは考えられないので,横長剝片に含めておいた。右図上辺はエッジ状を呈し,使用痕が認められる。33は今回出土した玻璃質安山岩製の横長剝片としては,非常に大形である。背面には縦長の剝離痕が認められるので,縦長剝片石核とみること

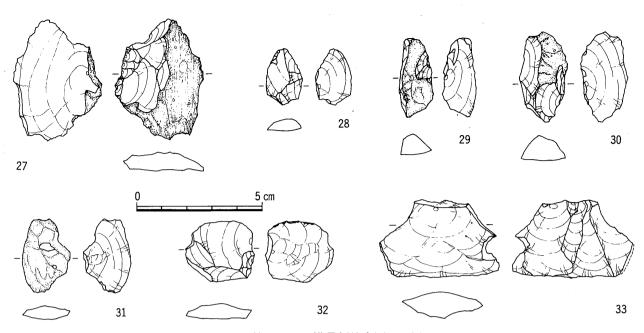




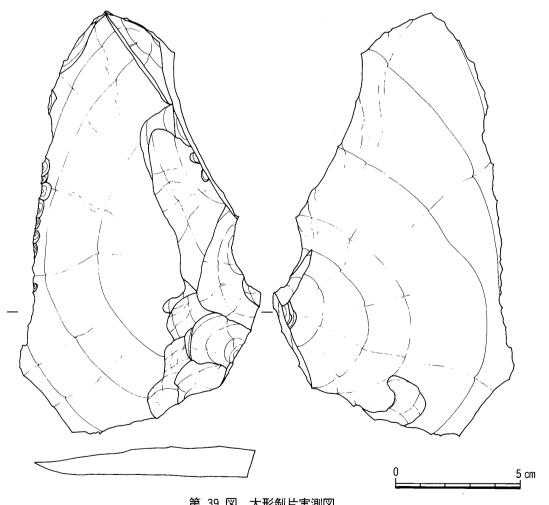
第 36 図 横長剝片実測図 (1)



第 37 図 横長剝片実測図 (2)



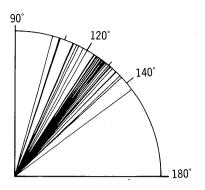
第 38 図 横長剝片実測図 (3)



第 39 図 大形剝片実測図

もできるが、今回の調査では細石核を除いて玻璃質安山岩製の石核は1点も出土していない。また、前回の調査において出土した玻璃質安山岩製の横長剝片石核のなかに、縦長の剝離痕を持つものが数点認められることから、33はこうした横長剝片石核から剝離された剝片と考える方が妥当と思われる。

図示した横長剝片の大きさをみると,長さ  $2\sim6$  cm,幅  $4\sim6$  cm程度のものが多い(第17表)。長幅比をみると  $1:1\sim1:3$  の範囲にほぼ納まる。



第 40 図 横長剝片剝離角度分布図

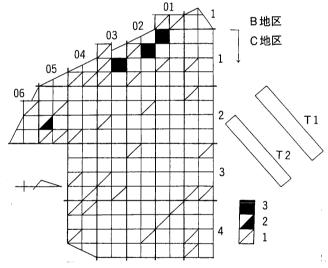
# 12. 大形剝片 (第39図)

板状を呈する大形の横長剝片である。長さ16.93cm,幅9.3cm,厚さ1.23cm,重さ190gである。 $C06-2 \cdot dn$ の出土である。著しい風化が見られる。二次調整により打点部が除去されているので,主要剝離面と背面の区別は明確でない。エッジ部には細かい剝離が見られ,削器としての可能性も考えられる。

#### 13. 縦長剝片石核 (第41~44図)

縦長剝片剝離痕を残す縦長剝片石核は46点出土している。うち19点を図示した。これらの石核はC01~03-1の西端部に若干集中して出土している。

1~5は板状剝片を素材として用いる。 両側面は調整が加えられておらず、かなり平坦な面である。石理に沿った剝離により素材が作製されたと思われる。横口面を作業面とし、剝離面を打面部として打面調整は2を除いてはほとんど施されていない。1・4は上面にも縦長剝片剝離痕がみられ、作業面転移が考えられる。また、4の作業面には下方からの加撃がなされている。3の上面には打撃痕が認められる。



第 18 表 縦長剝片石核出土分布表

 $6 \sim 10$ は柱状を呈する。  $6 \cdot 9 \cdot 10$ は板状素材の石核と同様なフラットな側面を両側に持つ もので、板状素材の石核の剝離作業が進んだために柱状をなすようになったと思われる。

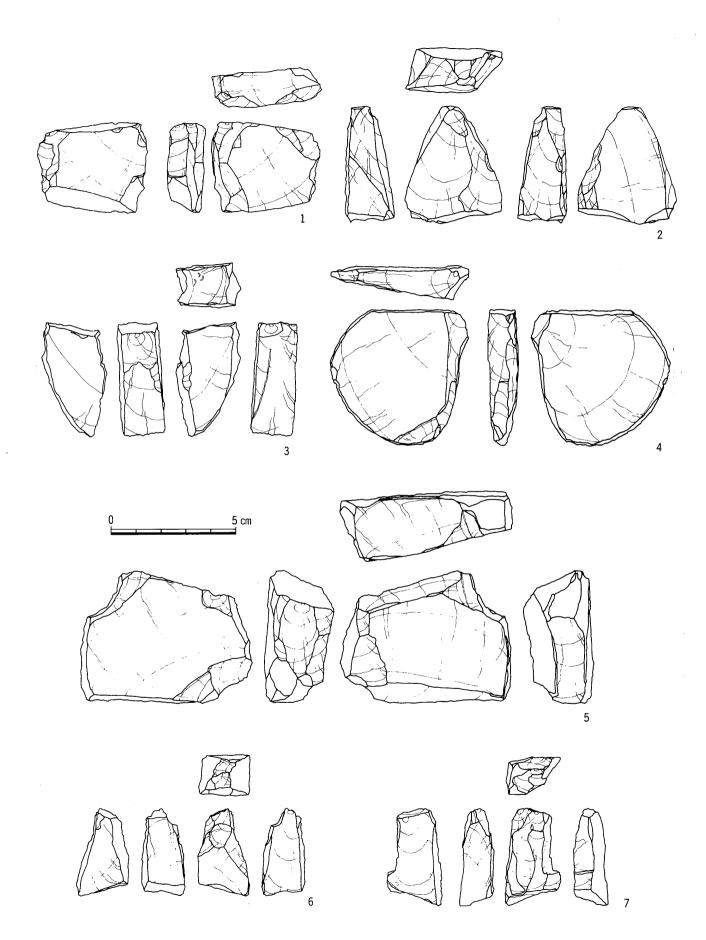
11は正面・後面を作業面とする。側面にも上・下方向からの加撃による剝離痕が見られる。

 $12\sim14$ は大形の縦長剝片の側面を利用している。 $12\cdot13$ には若干の打面調整がみられる。14は下方向からの加撃により剝片剝離を行っている。

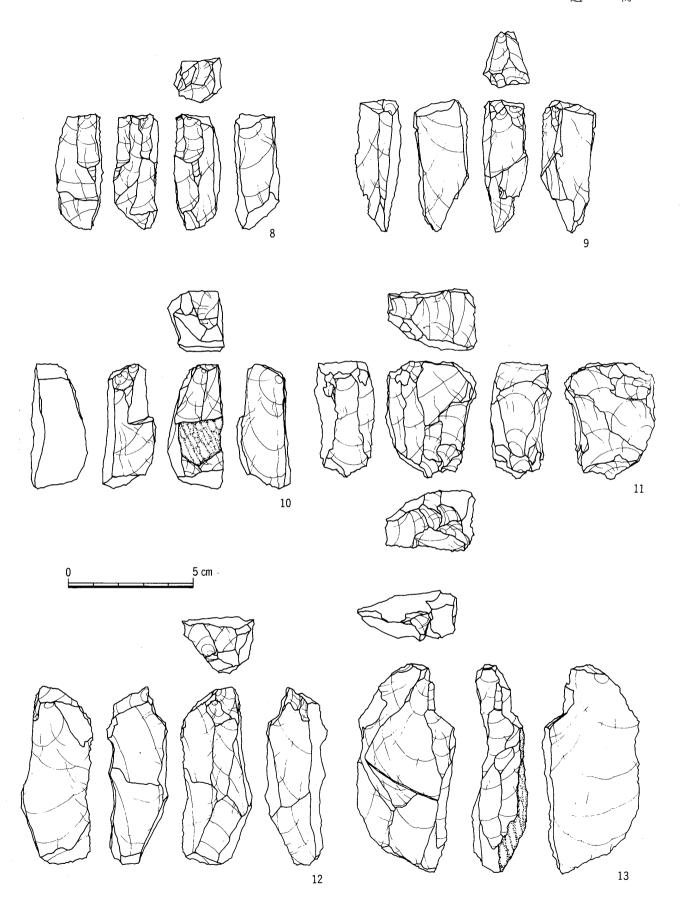
1~13は表面に風化が見られるが、14~17には表面の風化があまり見られない。

15・17は角錐状を呈するもので、15は1側面部、17は2側面部で剝片剝取を行っている。自然面を大きく残すため側辺に自然面のある剝片が剝離されたと思われる。

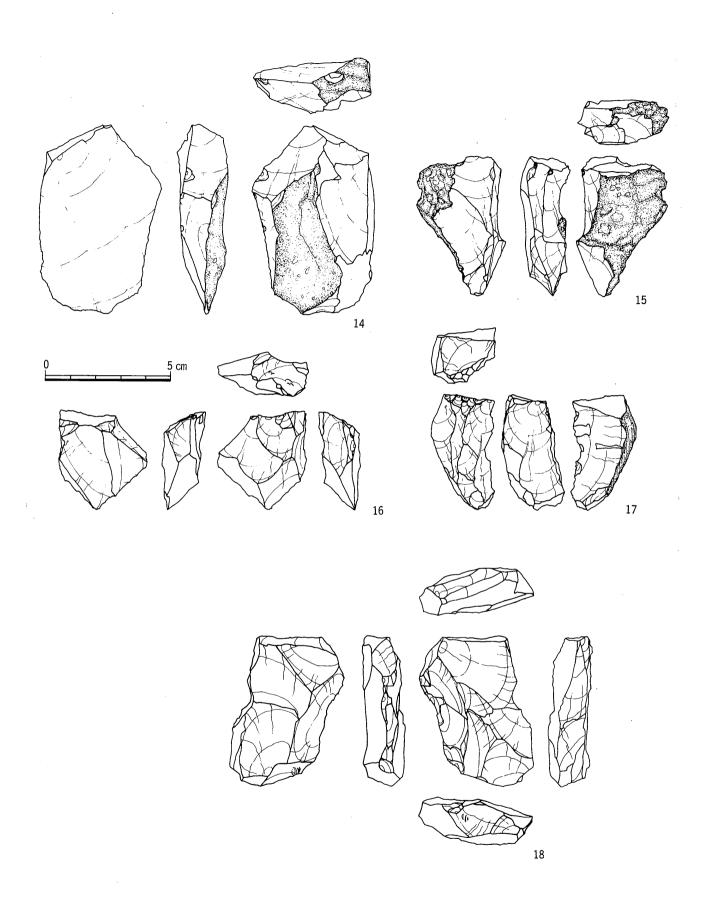
16は長側面部に剝離痕が見られ、上面には打撃痕が認められる。周囲に不定方向からの剝離痕が見られる極めて不安定な石核である。板状を呈する石核がほぼ同一形態の縦長剝片を連続



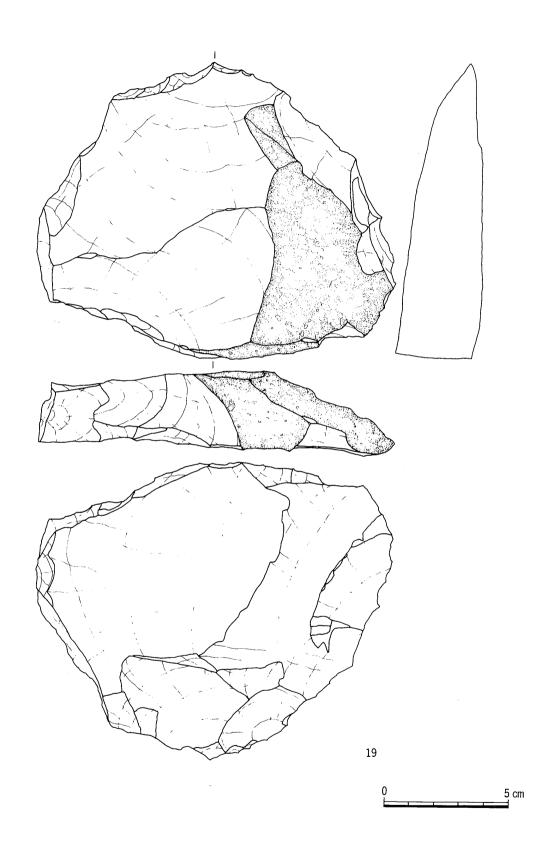
第 41 図 縦長剝片石核実測図 (1)



第 42 図 縦長剝片石核実測図 (2)



第 43 図 縦長剝片石核実測図 (3)



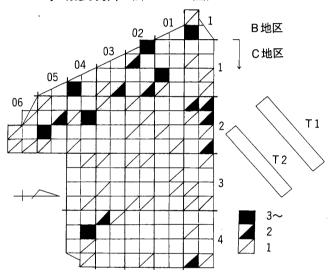
第 44 図 縦長剝片石核実測図 (4)

的に剝離することができるのに対し、この石核は板状を呈する石核ほど規則正しい剝片は得られない。

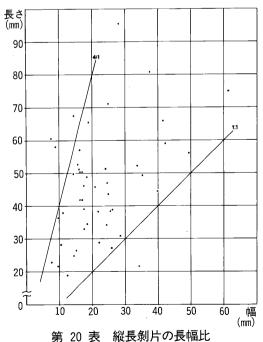
18は横長剝片石核を転用したものである。下端部を欠損している。左側縁部を作業面として, 上下方向からの加撃による剝離が見られる。裏面にも上方向からの加撃によるやや幅広の縦長 剝片剝離痕が認められる。上面には明確な打撃痕が残っている。

19は石核の素材と思われる。原礫を石理に沿って剝離した分厚い板状の剝片と考えられる。 羽佐島遺跡(I)で指摘されているように、今回出土した縦長剝片石核も板状の素材を用い、 その横口面を作業面として両長側面には調整を施さないものが多い。また、これらの石核のほ とんどは表面が白色に風化している。白色風化の見られない石核(14~17)は、板状素材の石 核に比べて、剝片剝離の条件が一定しない不安定なものを素材としているものが多い。

## 14. 縦長剝片 (第45~46図)



第 19 表 縦長剝片出土分布表



86点出土している。縦長剝片の出土が 多かったのはC1-2で10点, C01・02-1にまたがり9点である。縦長剝片石核はC01~03-1で集中しており、ほぼ同じ地点での出土傾向を示している。

 $1 \sim 9 \cdot 12 \cdot 18$ は背面に縦長剝片の剝離痕を持たないもので、断面はほとんどのものが三角形を呈する。

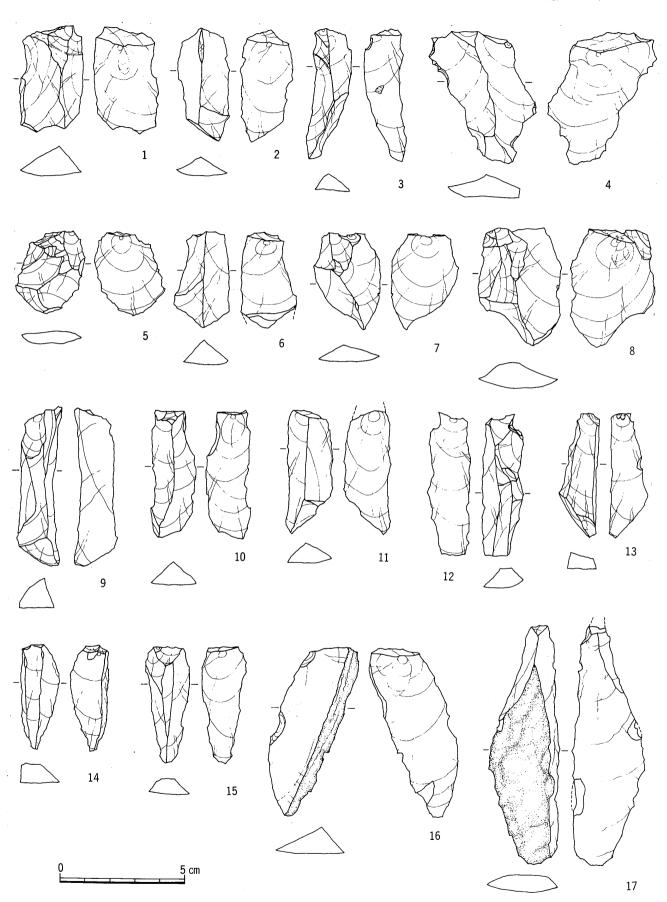
13~15・19~22は背面に縦長剝片の剝離痕を残すもので、断面は四角形あるいは台形を呈する。21は打面部に自然面があり、石核の打面部は自然面をそのまま利用したものと思われる。それに対して22の打面部には石核に施された打面調整

が見られ、側面にも石核に施された側面調整が認められる。背面には打点の明確な剝離痕があり、石核から連続して剝離した縦長剝片と考えられる。

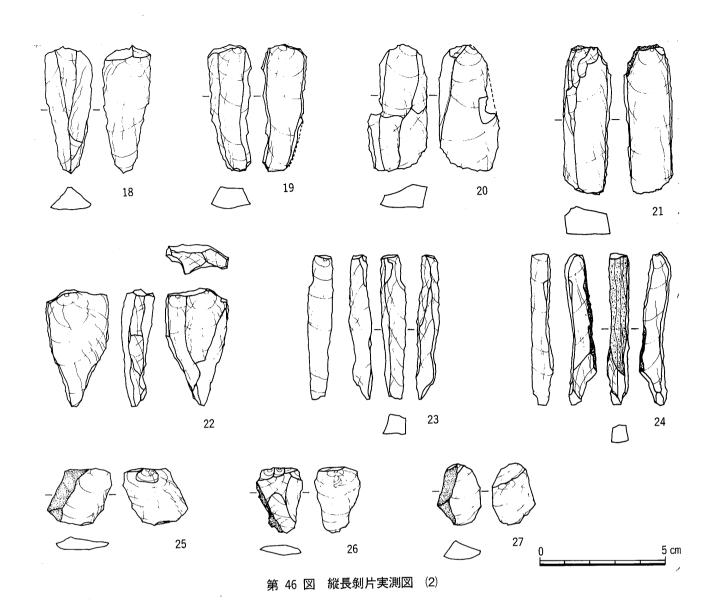
16・17は背面に自然面を大きく残すもので、剝離作業初期に生産された剝片と思われる。

23・24は最も狭長なものである。断面はほぼ正方形を呈する。24は背面に自然面を残し,両側面は石核側面と思われる。石核の幅がそのまま剝片の幅となる薄い板状の縦長剝片石核から剝離されたファースト・フレイクと考えられる。23も同様な石核から剝離されたものと思われる。

25~27は玻璃質安山岩製の縦長剝片である。サヌカイト製のものに比べて長さが短く小形である。25・27は打面部が自然面となっている。



第 45 図 縦長剝片実測図 (1)

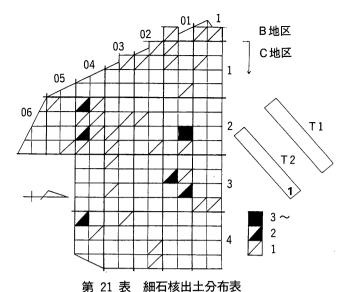


今回出土した縦長剝片は羽佐島遺跡(I)で報告されたものと大きさ・形態等に大きな差異が認められない。

## 15. 細石核及び細石核関係 (第47~53図)

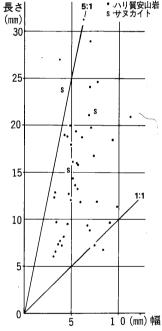
細石核は46点が出土している。C04-2 に比較的集中して, 9 点出土している。部分的には C1-2 • cnに集中している。玻璃質安山岩製のものがほとんどで,サヌカイト製は 2 点のみである。

羽佐島遺跡(I)の分類に従い,I類は1原石から1石核あるいは小礫を半截してつくったもの(1・2),II類は角錐状あるいは角柱状を呈するもので,II-Aとして一方の側面に自然面を有し他の側面には素材作製時の古い分割面を残すもの(3~11),II-Bとして側面に自然面を持たないもの(12~20・22・24・35),III類は板状を呈するもので,III-Aとして一方の側面に自然面を有し他の側面には素材作製時の分割面を残すもの(23),III-Bとして両側面が分割面のもの(21・25・26),III-Cとして板状を呈するが複数の剝離面ないしは調整面のもの(27~29・36・37),IV類はサヌカイト製のもの(34・38)の分類を行った。これらの他に,細



石核素材となりうるもの(39~42), 打面 調整剝片(43), 作業面再生剝片(44) が ある。

1は原石を半截して石核としたもの, 2は1原石を1石核として利用したもの である。1は素材作製時の分割面が見ら れ,打面部には調整が認められる。2は 小礫をそのまま用いて打面部及び作業面 に調整を施す以外は自然面を残している。 II類の石核には側面を作業面とするもの と小口面を作業面とするものがある。側 面を作業面とするなかには,小口面を作 業面としていた石核の剝離作業の進んだ



第22表 細石刃剝離痕の 長幅比

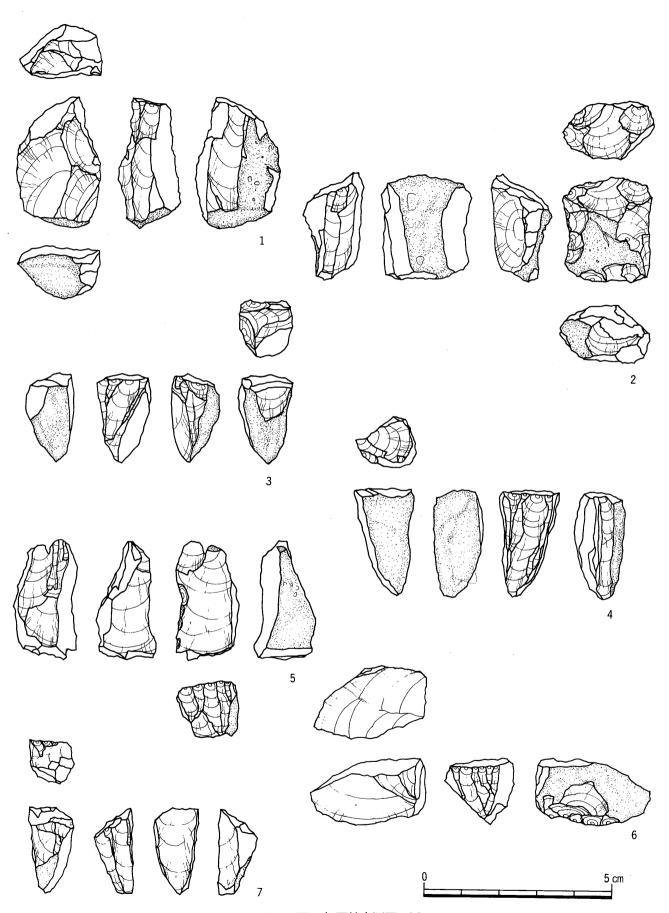
21・23・25・26の板状を呈するものは打面調整以外はほとんど調整が加えられておらず、両側面は自然面あるいは分割面がそのままである。

30~33は他のものに比べて作業量が少ない。30・31・33はIII類に, 32はII類に属するものと考えられるが、原礫の表皮に近い部分を剝ぎ 取ったものを素材としていると思われ、自然面と剝離面とでエッジ状 をなす部分に樋状剝離が見られる。30・31は直交する2面に樋状剝離 が見られ、彫器の可能性も考えられる。32は樋状剝離の見られる面が 極めて小さく、打面部も不安定である。

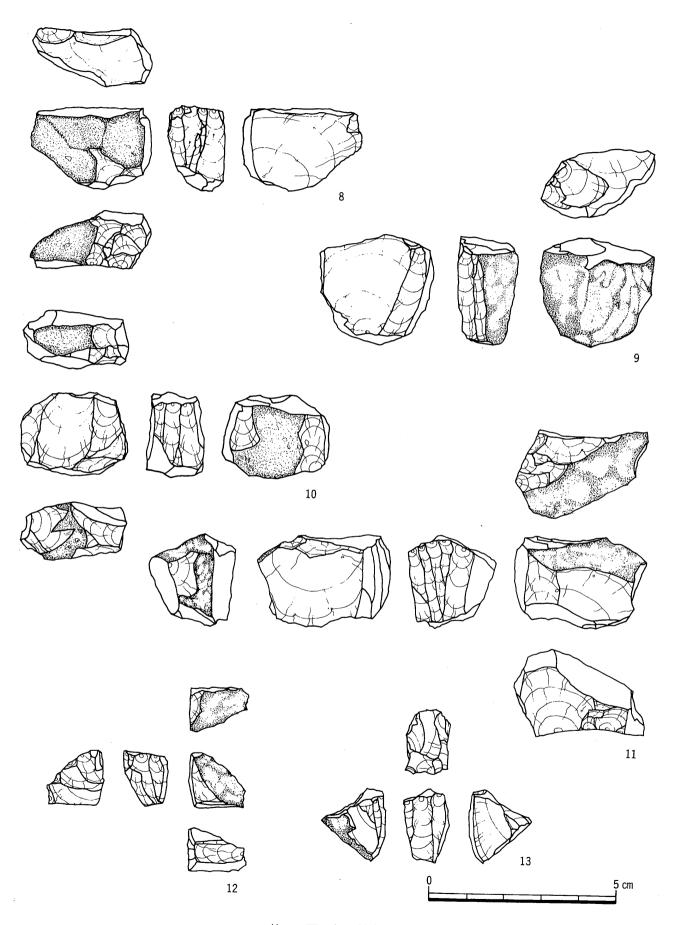
以上の玻璃質安山岩製の細石核は、16・21を除けばいずれかに自然面を有するものばかりで、自然礫を加撃して作製された素材が用いられたものと思われる。渡部明夫氏は、自然礫を加撃して細石核素材を作製する工程模式図を羽佐島遺跡(I)で示しており、1・2の1原石から1石核を作ったもの、小礫を半截して2個の細石核を作ったもの以外の細石核はこの工程に従って作製されたことが充分考えられる。

 $16 \cdot 27 \cdot 29 \cdot 36 \cdot 37$ は側面に不定方向の剝離が見られる。この不定方向の剝離は自然面を除去するためのものと思われ,藤好史郎氏の示した,自然面を除去した礫を用いて素材を作製していくA系統の工程による細石核とも考えられる。21は自然面を全く有せず,作業面と打点の明確な調整が打面部に見られる以外は分割面である。自然面を有しないものの自然面を除去した際の剝離も見られず,A系統のものとは断定し難く,自然礫を加撃しての工程C-3の剝片を素材として打面・作業面を作製してゆけば21のようになる可能性もあるため,いずれの工程による素材を用いたものかは明確でない。36は表面が著しく風化し白色を呈するが,玻璃質安山岩と思われる。

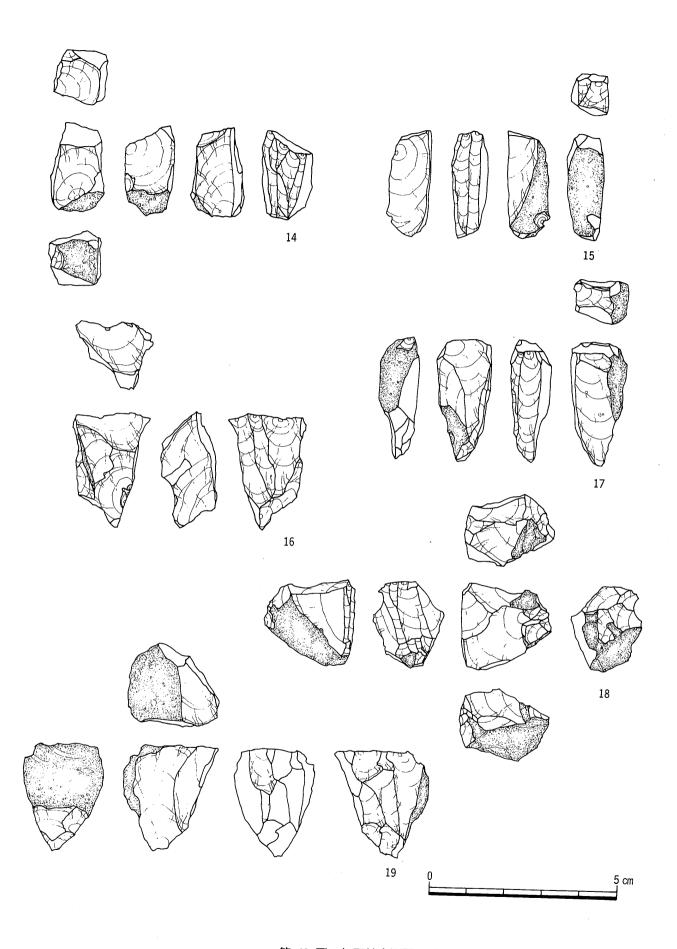
39~42は角柱状あるいは角錐状をなすもので、分割面・自然面を有し、若干の細かい調整が見られ、細石核素材となりうる剝片である。43は打面調整剝片、44は作業面再生剝片である。



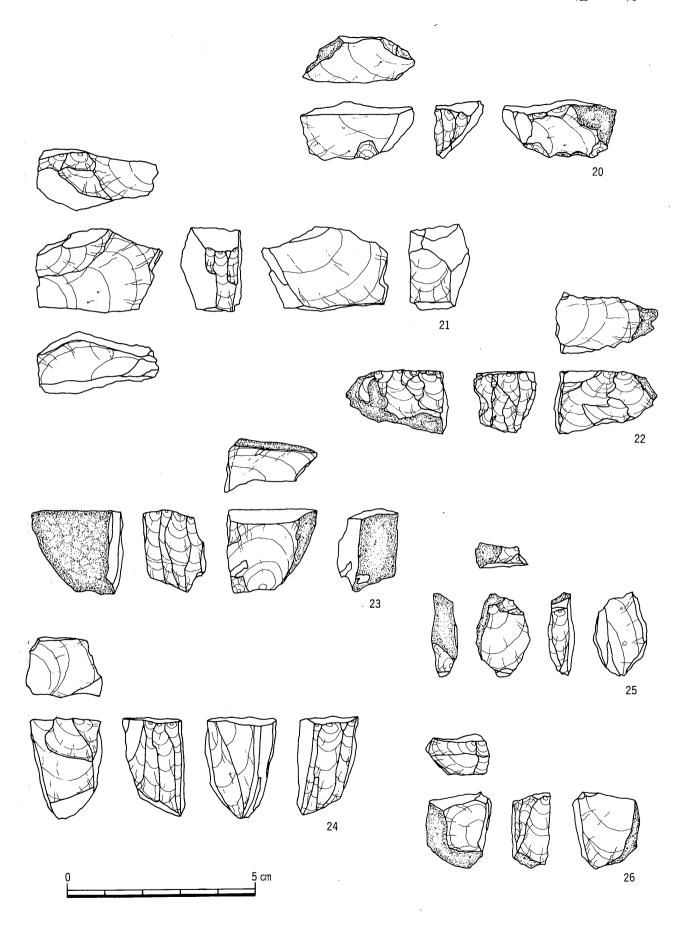
第 47 図 細石核実測図 (1)



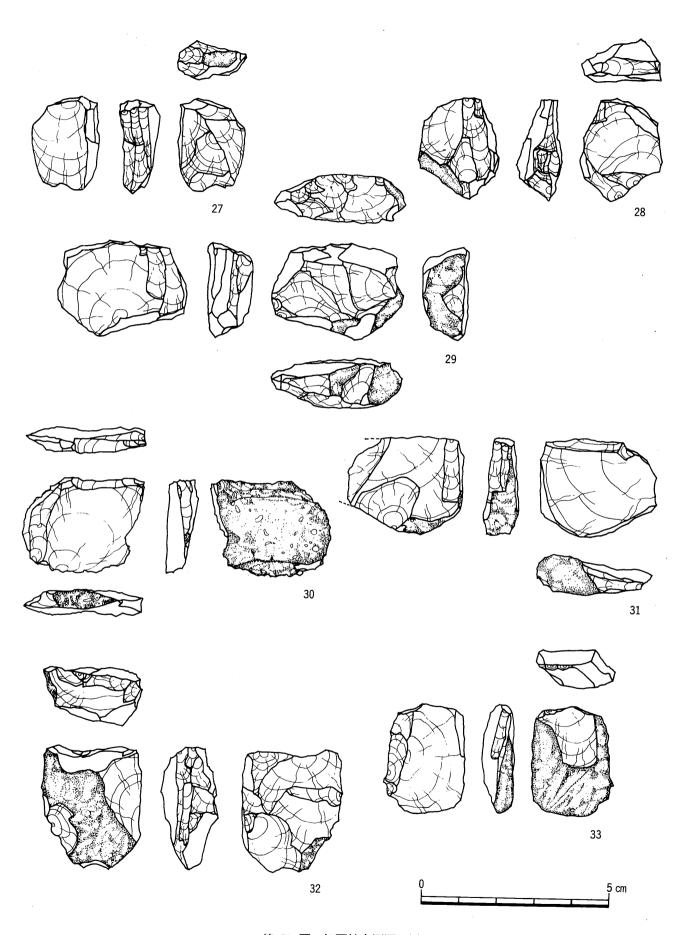
第 48 図 細石核実測図 (2)



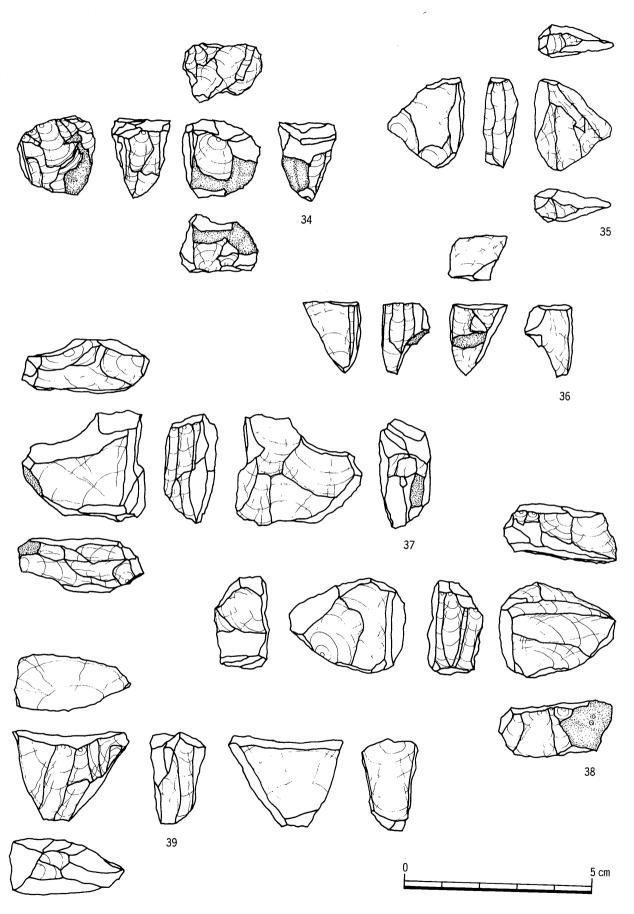
第 49 図 細石核実測図 (3)



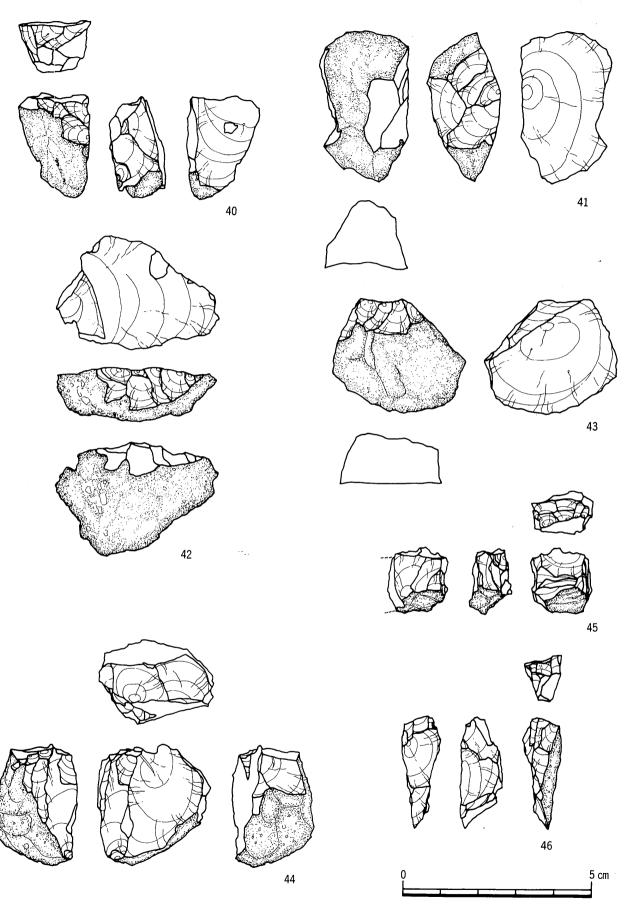
第 50 図 細石核実測図 (4)



第 51 図 細石核実測図 (5)

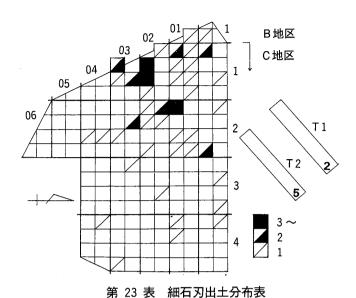


第 52 図 細石核実測図 (6)



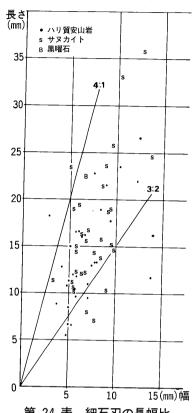
第 53 図 細石核実測図 (7)

### 16. 細石刃 (第54·55図)



64点の細石刃が出土している。玻璃質安山岩製31点,サヌカイト製32点,黒曜石製1点が出土している。

出土状況は玻璃質安山岩製・サヌカイト製ともにほぼ同じ様相を示し、C01-2・as, C02-2・an, C02-1・as, bs, C03-1・bn付近に集中して出土している。黒曜



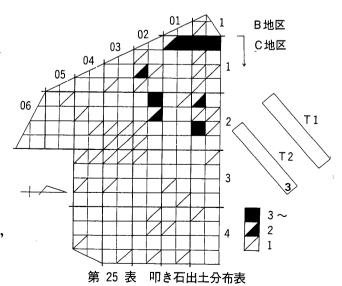
第 24 表 細石刃の長幅比

石製細石刃は $C01-1 \cdot dn$ から出土している。細石刃の出土状況は、細石核の集中出土箇所とは若干異なっている。

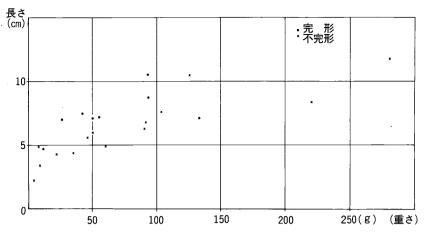
これらの細石刃は完形でないものも含めると,長さ $0.5\sim2.5$ cm,幅 $0.5\sim1.0$ cm,重さ $0.1\sim0.6$  8 までのものがほとんどを占める。玻璃質安山岩製細石刃は長さ $0.5\sim1.5$ cmのものが多いのに対して,サヌカイト製細石刃は長さ $1.0\sim2.0$ cmのものが多く,サヌカイト製のものがわずかに大きい。重さについても玻璃質安山岩製は $0.1\sim0.4$  8 が多いのに対し,サヌカイト製は0.5 8 前後のものが多い。

### 17. 叩き石 (第56~59図)

叩き石は総数66点出土している。これらのなかにはわずかに打撃痕の見えるもの,小さな剝離痕が若干認められるもの等使用痕が明確ではないが,叩き石の可能性が考えられるため叩き石として含めた。叩き石として考えたものの石材は多様であるが,安山岩製のものが特に多い(第26表)。これらの石材のほとんどは香川県周辺において産出するものであるが,輝石安山岩製のもの1点,ホルンフェルス製のもの(17) は香川県以外で産出し



石	•	材	数
安	山	岩	26
砂		岩	17
緑	色片	岩	7
閃	緑	岩	5
輝	石安山	岩	4
緑	泥片	岩	1
玄	武	岩	1
角	閃 安 山	岩	1
石	英 斑	岩	1
結	晶片	岩	1
ホ,	ルンフェル	レス	1
玢		岩	1
合		計	66



第 27 表 叩き石の長さと重さの比

たものと考えられる。

これらの叩き石は、C1-1、C01-1の西端部で13点と特に集中している。この他にC1-2で9点、C02-1・2にまたがり8点と集中するが、C1-3・4、 $C01\sim04-3$ ・4ではあまり出土していない。

第 26 表 石材別叩き石一覧表 小形のものから16.2cmの大形のもの、重さ8gの軽いものから480gの非常に重いものまで出土している。完形のものもそれ以外のものも長さ10.0cm以下、重さ100g未満のものがほとんどを占めるが、完形でないものは長さ5cm前後、重さ50g以下のものが多く、完形のものは長さ7cm前後、重さ50g程度のものが多い。最も軽いものは長さ4.9cm、重さ8gの緑色片岩製のもの(第57図13)で、最も重いものは長さ16.2cm、重さ480gの砂岩製のもの(第57図10)である。

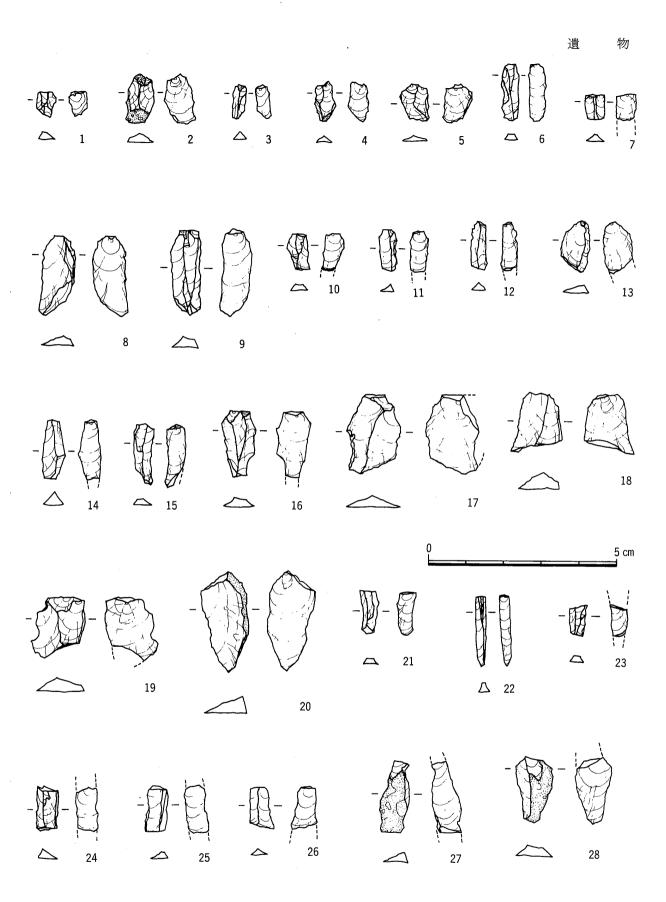
25の扁平な円形のもの以外は棒状のものである。23は棒状を呈するが断面は半円形で、使用前に半截されたものか、使用後に半截されたものかは不明である。

 $1\sim6\cdot25$ は安山岩製である。1は完形の最も軽いもので長さ4.7cm,重さ12gである。下部が太くなる棒状をしており,下部にのみ使用痕が見られる。3は断面が四角形を呈し,上部は断口面を見せている。下部もこれより以前の古い断口面と思われるが,折断面をそのまま利用して叩き石としている。25は扁平な円形のものである。全周に剝離痕を残しており,これは意図的に施されたものか,使用による剝離かは明確でないが,石材から叩き石として考えた。

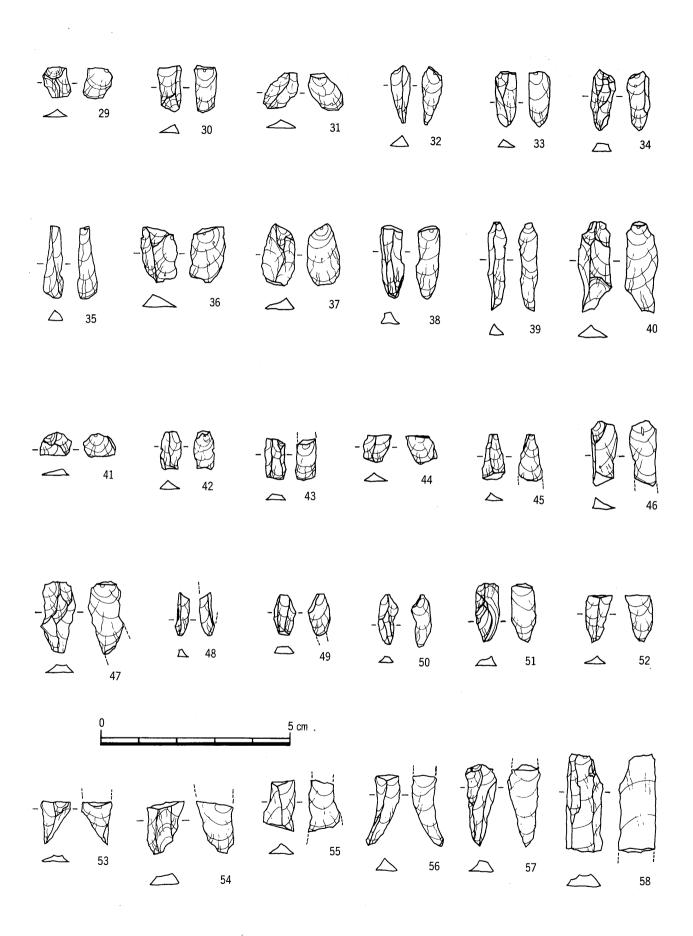
 $7\sim 10$ は砂岩製である。 7 は断面がきれいな三角形を呈する。他の砂岩製のものに比べて表面が平滑である。 9 の上部側面には使用痕とも思われる剝離が見られ,上端部は使用中の破損とも考えられる。

 $12\sim14$ は緑色片岩製である。13は接合資料である。約8 m程離れた所から出土しているが,同一グリッド内(C02-2)の同一層位(第2層)の出土である。13には半截された後の使用痕と思われる剝離が見られた。

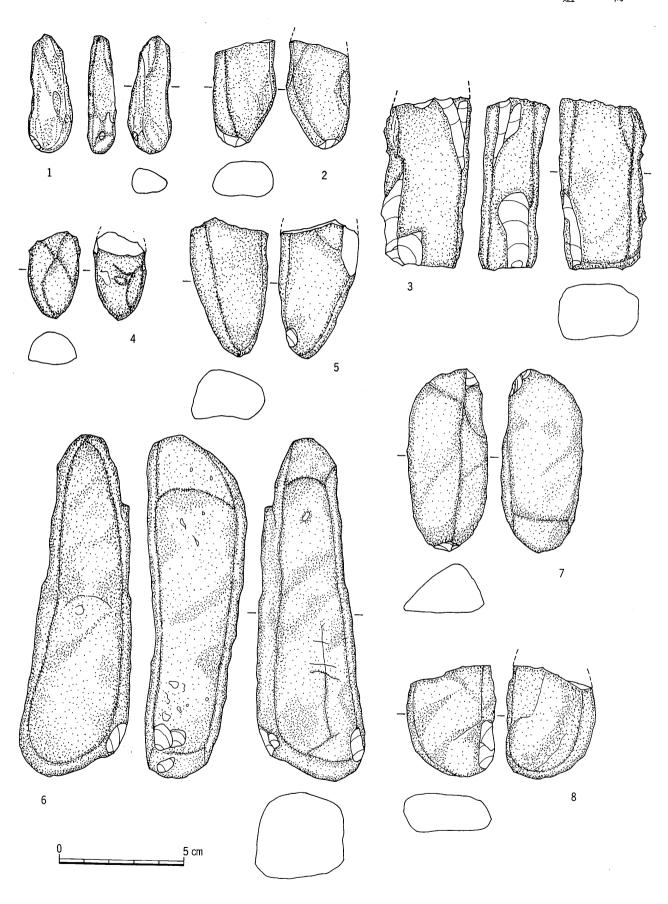
15・16は輝石安山岩製である。15は上部を欠失,下端部も折損した後に使用されたものと思われる。



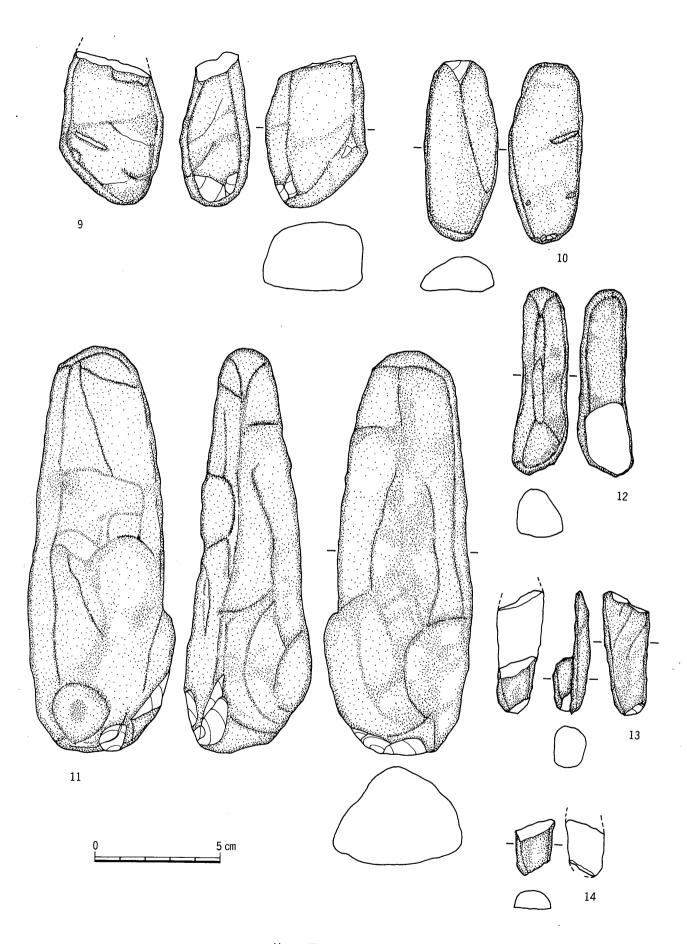
第 54 図 細石刃実測図 (1)



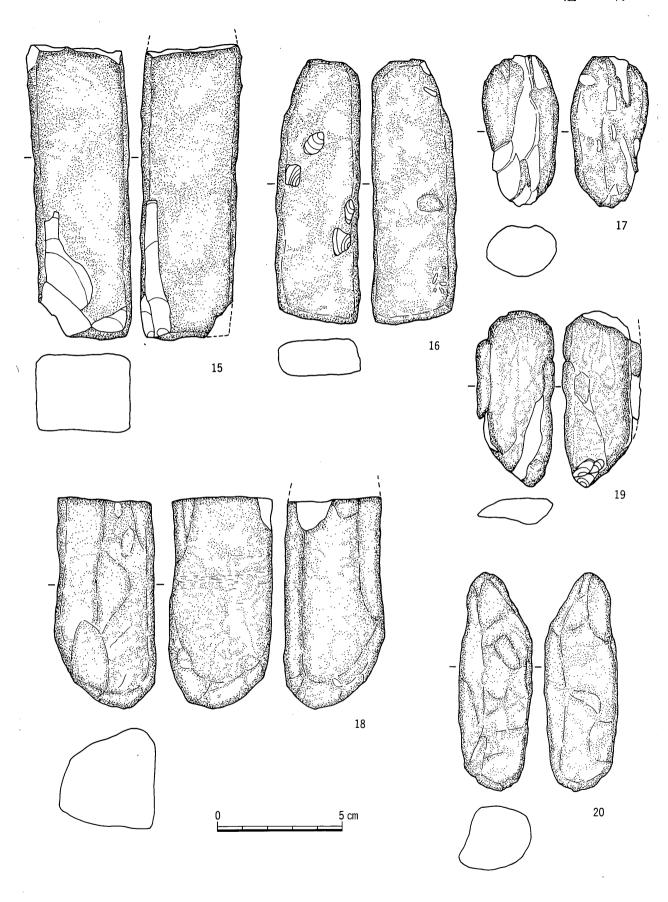
第 55 図 細石刃実測図 (2)



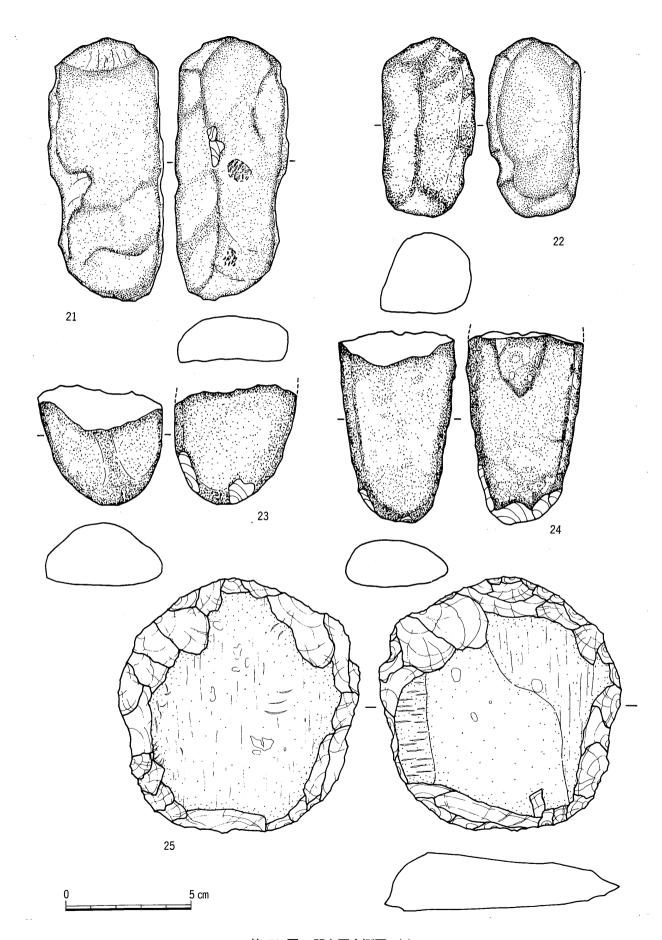
第 56 図 叩き石実測図 (1)



第 57 図 叩き石実測図 (2)



第 58 図 叩き石実測図 (3)



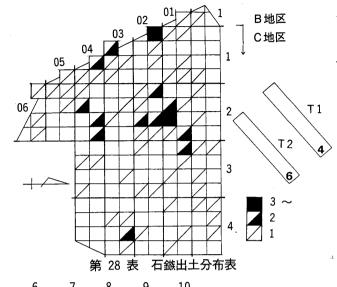
第 59 図 叩き石実測図 (4)

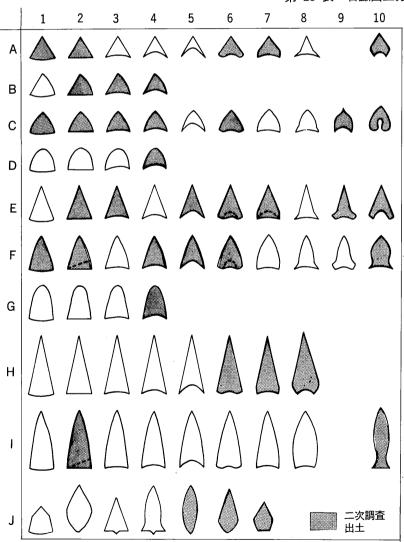
## 第2節 縄文時代以降の出土遺物

### 1. 石 鏃 (第61・62図)

石鏃は総数98点出土しており、このうち73点を図示した。調査区全域に散漫に出土しているが、 $C01 \cdot 02 - 2$  に集中する傾向がある。その他、C04 - 2 、C02 - 1 西端部、 $C03 \cdot 04 - 1$  西端部に若干集中して出土している。98点のうちサヌカイト製96点,玻璃質安山岩製・流紋岩製のものがそれぞれ 1 点ずつ出土している。

出土した石鏃は、羽佐島遺跡(I)の 分類に従って、①長さが幅の1.2倍以下し



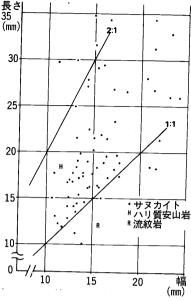


第 60 図 石鏃分類模式図

かなくほぼ正三角形を基本とするもの,②長さが幅の 2 倍以下 長さの二等辺三角形を基本とするもの,③長さが幅の 2 倍以上の細 $^{(mn)}$ 長い二等辺三角形を基本とするもの,④その他,に大別するこ $^{(mn)}$ とができる。さらに分類模式図に従って $A\sim J$  類に細分した。

今回出土した石鏃は,長さ $1.0\sim2.5$ cm,幅 $1.0\sim2.0$ cm,重さ0.5g前後のものが大半を占める。①類のものは小形・軽量のものが多く,特にA類は0.5g以下のものばかりである。最も大きいのは柳葉形(69)の長さ3.4cm,幅2.1cm,重さ5gのものである。

15は長幅比が1.2以下で側辺部が直線をなす A類のものであるが、分類模式図にはあてはまるものがない。逆刺部が角張る鍬形を呈するので、E10類に属する小形のものとしてA10類とした。また、31はC類のものとしては抉部が非常に深く、逆刺部が若干角張りを見せる。C6類あるいは鍬形鏃に属するものとしてC10類とも考えられる。16は15と同じく鍬形を呈するものでE10類に分類される。



第 29 表 石鏃の長幅比

 $8 \cdot 11 \cdot 25 \cdot 28 \cdot 29$ の長幅比は1.2以下のものであるが, $A \sim C$ 類のもののなかでは比較的大きいものである。 $11 \cdot 29$ は正三角形鏃の基部が凹基状になるもので,似かよった形態・つくりをしている。8 は先端部を欠くため明確でないが,B類もしくはD類と考えられる。25は粗雑なつくりのB4類のものである。28はC6類の平基式のものである。

42・43は側辺中央部から外湾して逆刺部先端に至るというスパナ状を呈し、E9類とE10類の中間的様相を示している。

51・67・68は有肩鏃である。51は片側だけであるが明確に肩を作り出している。

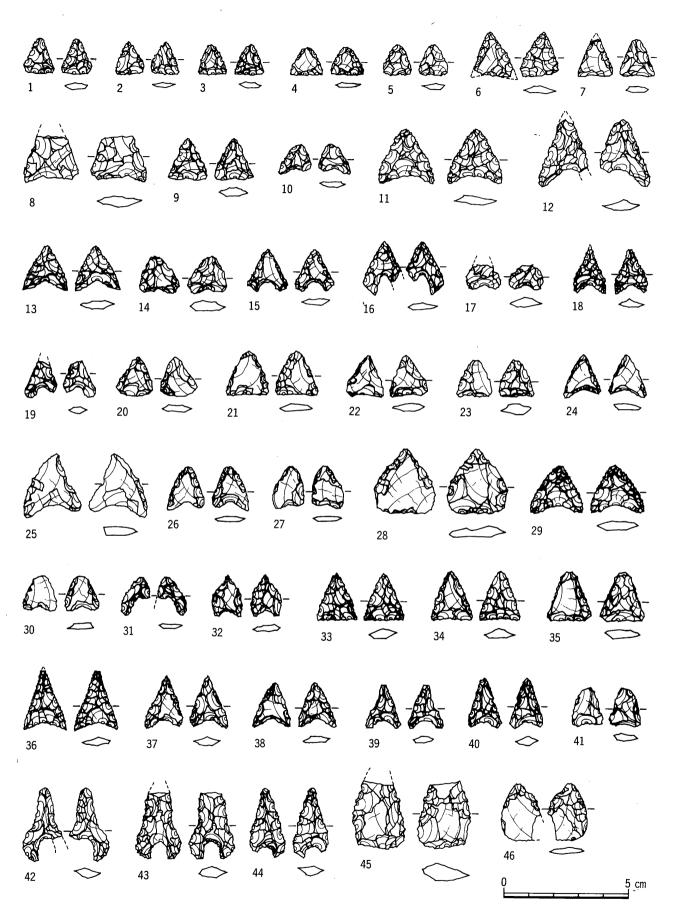
 $60 \cdot 66$ は側辺が一旦狭まり,再び脹らんで先端に至るロケット状を呈する。60は F 10類に属するが先端部は尖らない G 類のものとなる。66の側辺部は F 10類と同様になると思われ,基部を欠損するものの現長で長幅比が 2 倍以上となる。 I 10類として分類できる。

59・69は片面に自然面を残す。69は片面中央部にわずかに残すのみであるが、59は中央部から先端部まで大きく残っている。先端部は丁寧に作り出してないため自然面のエッジ部がそのままで尖っていない。69・70は凸基式の基部を持つものである。

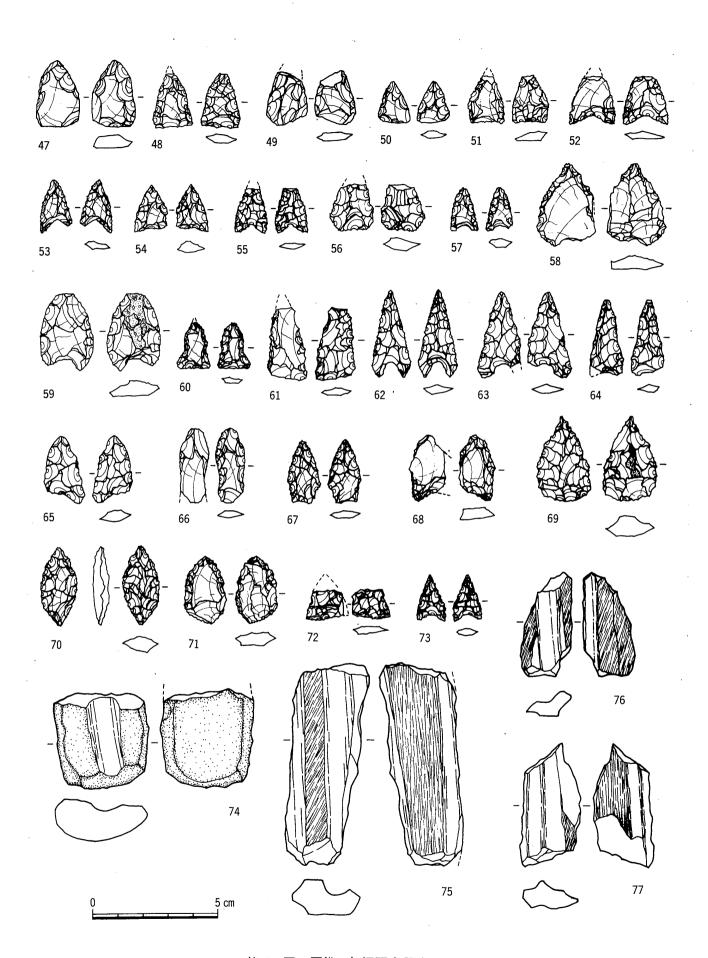
69は基部が半円形を呈し、側辺は直線的な柳葉形のものである。70は先端及び基部が尖り、 身部中央で一番脹らみをもつ木葉形を呈しており、尖頭器とも考えられるが、尖頭器とするに はやや小形であるためにここでは石鏃とした。

71は未製品である。側辺部はD類のものである。尖頭器とも思われるが,折損部に打点の近い剝離がみられ,基部が未調整の石鏃と考えられる。

第60図分類模式図は羽佐島遺跡(I)で示されたものに、今回出土した石鏃の型式を加えたものである。 J 類は前回のものにあてはまるものがなく、新たに出土した型式のものを加えている。  $A\sim G$ 類のものがほとんどで、出土点数の約86%を占める。  $H \cdot I$  類に分類されるものはわずか 5 点の出土数である。また、 $E\sim I$  類にあてはまるもののうちでも基部の抉部が深いもの、斜基状になるもの、模式図中の中間的様相を示すものなど、バリエーションに富んでいる。



第 61 図 石鏃実測図 (1)



第62図 石鏃・矢柄研磨器実測図(2)

### 2. 矢柄研磨器 (第62図74~77)

4点出土している。いずれも破片で、砂岩製が1点(74)・緑泥片岩製が3点(75~77)であ

74は片面に1条の溝を彫り込むだけであるが、 $75\sim77$ は両面に $4\sim5$ 条の溝が彫り込まれて おり、特に76は溝状にはなっていないが、全周にわたって磨滅のため表面がなめらかになって いる箇所が見られる。また、75と77は色調・石質ともに非常に類似している。

74の砂岩製のものは、溝に擦痕が見られない。溝の数、溝の状態から見ても矢柄研磨器と考 えられる。75・76の溝に見られる擦痕は非常に規則正しく直線的で、74のものとは若干性格が 異なるものとも考えられる。羽佐島遺跡(I)では75・76に類する緑色片岩製のものは矢柄研 磨器として考えられたが,別の用途の可能性も考えられる。

### 3. その他の遺物 (第65図)

石器以外の遺物としては、滑石製勾玉1点、青銅製帯金具1点、緑釉土器片1点、白磁片20 点, その他縄文土器と思われる細片から須恵器・土師器片, 近・現代に至るまでの陶磁器片が 出土している。

### 〈滑石製勾玉〉(1)

長さ3.9cm,幅1.5cm,厚さ0.45cmの扁平なものである。表面・ 裏面ともに部分的に剝落面があるが、表裏面・側面の全面にわたっ て研磨痕が残っている。孔は両側から穿孔されている。

### 〈青銅製帯金具〉(2)

縦2.6cm, 横2.7cmの巡方の表金具である。裏面が凹面をなす厚 手の精製品で、磨滅しているが四隅に鋲足の跡が認められる。他 にこれに伴うと思われる青銅製品は出土していないため詳細は不 明であるが、銅銙帯A-IV類のものと考えられ、中央下級官吏あ るいは地方高級官吏が着用した銅銙帯に伴うものと思われる。

 $1 \cdot 2$  ともにC02-4 第 2 層からの出土で、約2.9m程離れた所 から出てきている。

### 〈緑釉土器〉(3)

椀の口縁部の破片1点のみ出土している。茶灰色を呈する須恵 質のもので、外面に薄く緑釉が施され、口縁端部から内面約3cm 程までは肌荒れしている。口縁端部は丸く納まる。胎土には砂粒 を含まず、外面にはヨコナデ調整が認められる。

羽佐島遺跡(I)で出土した緑釉土器と同一個体と思われるも のはない。今回の緑釉土器は釉のかかり具合いが薄く, 胎土の色 に影響された色調を呈する。C01-1第3層からの出土である。 第64図 銅製帯金具出土状況



第 63 図 滑石製勾玉出土状況

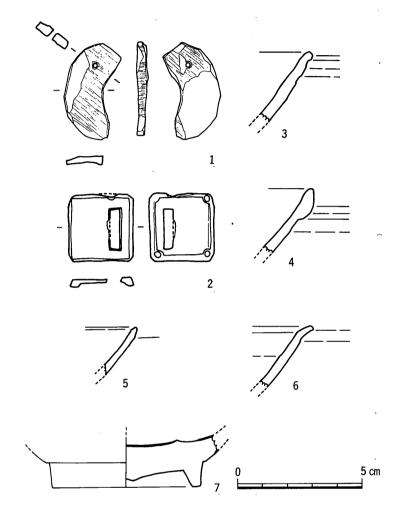


### 〈白磁〉 $(4\sim7)$

 $4\sim6$  は白磁椀の口縁部,7 は高台部である。4 は玉縁口縁で,玉縁に明確な稜をもつ。胎 土は灰茶色で、発色が悪く胎土の色がそのまま出ている。6は口縁端部が外反し、内面に段差 をもつ。胎土は灰白色、釉は若干空色を呈する。外面に貫入が見られる。5の口縁部は直線的 に延びるもので端部は尖る。胎土は灰白色、釉はやや灰色がかっている。7は6と同時期のも

のと思われる高台部である。高台内面は回転へラ削りの跡が見られる。高台部は露胎で,外面 は高台付近まで釉がかかる。内面見込みの釉がカキ取られている。胎土は灰黄白色を呈し,釉 は緑色がかったものである。

 $4 \sim 7$  の白磁は $12 \sim 14$ 世紀前半頃のものと思われる。



第 65 図 滑石製勾玉・銅製帯金具・ 緑釉土器・白磁実測図

### 註

- (1) 渡部明夫「ナイフ形石器」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 I 羽佐島遺跡 (I)』1984 香川県教育委員会
- (2) 註1に同じ
- (3) 加藤稔・鈴木和夫「越中山K遺跡の接合資料」『考古学研究』22 1976
- (4) これと同様に羽佐島遺跡(I)から出土した尖頭器に、横長剝片を利用して両端の尖ったやや幅広の 紡錘形となるものがある。
  - 渡部明夫「尖頭器」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 I 羽佐島遺跡 (I)』1984 香川 県教育委員会
- (5) 渡部明夫「彫器」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 I 羽佐島遺跡 (I)』 1984 香川 県教育委員会
- (6) 「二次調整ある剝片」の項目で取上げたものは、ここでいう総点数には含まれていない
- (7) 刃部の調整角度の差は,一線を画するほど明確なものではない。目分量によったので,その可能性が高いという程度の意味で二分した。
- (8) 「削器・掻器」「二次調整ある剝片」の項目で取上げたものは、ここでいう出土数には含まれていない。
- (9) 松藤和人「再び"瀬戸内技法"について」『二上山・桜ヶ丘遺跡』 1979 奈良県立橿原考古学研究所
- (10) 藤好史郎「横長剝片石核」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告II 大浦遺跡』 1984 香川 県教育委員会
- (II) 第66図石器計測基準図 (90 P) 参照
- (12) 松藤和人「近畿西部・瀬戸内地方におけるナイフ形石器文化の諸様相」『旧石器考古学』21 1980 旧石器文化談話会
- (13) 渡部明夫「横長剝片」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 I 羽佐島遺跡(I)』 1984 香川県教育委員会
- (14) 叩き石の石材については、五色台自然科学館 古市光信氏より御教示いただいた。なお、輝石安山岩は玄武岩の一種で、第59図22の緑泥片岩製のものは緑色片岩であるとも考えられるとのことである。
- (15) 註14に同じ
- (16) 「考察」『平城宮発掘調査報告VI』 奈良国立文化財研究所学報 23 S50・1・31

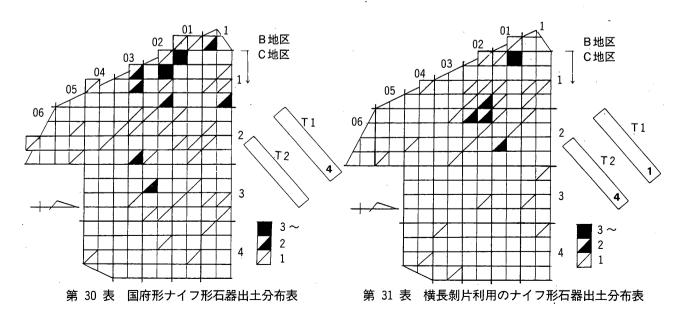
# 第5章 おわりに

昭和58年度に実施された羽佐島遺跡での第2次発掘調査の結果は前章までに紹介したとおりであるが、ここでは昭和5 $3 \cdot 54$ 年度に実施された第1次発掘調査の成果もふまえて、羽佐島遺跡の全体を簡単にまとめて結びとしたい。

第1次発掘調査は、羽佐島の北側丘陵頂部西斜面から尾根筋鞍部に沿って南側丘陵部北端までを対象区域として実施された。今回の第2次発掘調査は、その南東にあたる南側丘陵頂部の東側斜面が対象区域であった。つまり、2回の発掘調査を通して、羽佐島をほぼ南北に縦貫して調査できたわけである。

第1次発掘調査では、発掘面積4,254㎡から約25万点の遺物が出土したが、第2次発掘調査では、発掘面積710㎡から約12,000点の遺物が出土したにすぎない。斜面部下位は急崖地であり発掘していないため、単純に比較できない面もあるが、面積比で考えるならば、今回の遺物出土量は前回の1/3にも達しないと言えよう。

第1次発掘調査において、遺物に二次的な移動が認められることが指摘されたが、今回の発掘調査でも表土層から旧石器時代の遺物が出土すると同時に、第3層でも旧石器と土器片が同一面で出土しており、遺物の二次的な移動が認められた。さらに、第2層の同一面で7~8m離れて出土した叩き石が接合する例も見られ、土層の比較的浅い表層部付近では、垂直移動と同時に水平移動もあったと考えられる。こうした遺物の二次的な移動には、後世の人為的な攪乱(畑耕作)等も考えられるが、急崖地を伴う地形的な要因も見逃せないと思われる。羽佐島の全周は切り立ったような急崖地であり、地山の花崗岩が露出している。尾根筋からゆるやかに傾斜する斜面部は下位になるほど急傾斜となるので、土砂の流出も少なくなかったことが推測できる。急傾斜の斜面部で土が流出した場合、尾根筋からの流出土がこれを補うことを繰り返して、現在の羽佐島の地形になったものであろう。そうしたこともあって、遺物を層位学的に検出することはできなかった。



-86 -

第2次発掘調査における遺物の出土傾向を見ると、ナイフ形石器はC02-1を最高にC1  $\sim C01-1 \cdot 2$  といった南側丘陵部の尾根筋付近で多く出土している。翼状剝片・横長剝片も同様な出土傾向を示すが、横長剝片石核は $C01\sim C05-2$  と、尾根筋を少し下った斜面上位のやや南側よりの範囲での出土が多い傾向がある。縦長剝片・同石核・石鏃・削器・掻器も横長剝片石核とほぼ同様の出土傾向を示す。こうした分布の相違がそれぞれ時期的な違いを反映している可能性もあるが、国府型ナイフ形石器と横長剝片素材のナイフ形石器には顕著な分布の相違が認められないので、単に時期的な違いだけで説明することは困難である。

玻璃質安山岩製の遺物の出土傾向を見ると,細石核はC04-2周辺・C01-1周辺・C01-3周辺つまり,南側丘陵部尾根筋・その東側にあたる斜面中位・南側よりの斜面上位と 3 箇所での出土が多い。細石刃の方は $C01\sim C03-1\cdot 2$  と,尾根筋付近で多く出土しており,これはナイフ形石器に類似した出土傾向である。細石核と細石刃という密接な関係を持った両者であるにもかかわらず,出土傾向は一致しない。玻璃質安山岩製のフレイク・チップは,ナイフ形石器と石鏃の中間的な出土傾向を示し,尾根筋丘陵部から南側よりの斜面上位にかけて多く出土する傾向が見られる。

黒曜石製・流紋岩製・水晶製・チャート製の遺物は、出土点数が少ないこともあり明確な出 土傾向は示さなかった。

今回の調査での出土傾向と、第1次発掘調査での出土傾向とを合わせて、羽佐島遺跡における遺物の出土傾向を巨視的に捉えてみることにしよう。

ナイフ形石器に代表される国府文化期に属する遺物は、羽佐島の北側丘陵頂部付近で出土の 集中がピークとなり、尾根筋鞍部に沿って若干出土が集中する地点が数箇所認められる。今回 の調査区で多く出土する南側丘陵頂部は、全体から見れば集中箇所とは見られない。

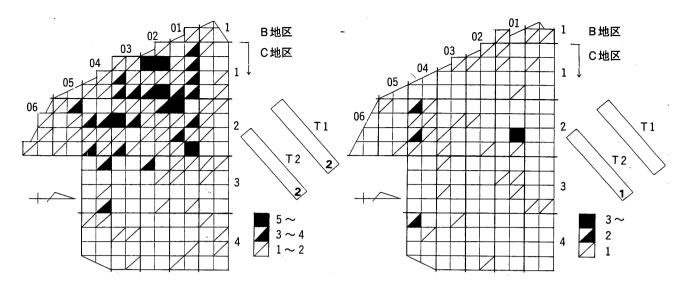
これに対して、縦長剝片・同石核は、羽佐島の中央部に当る尾根筋鞍部での集中が最高であり、南北両丘陵頂部付近で若干集中する箇所が認められる。そして、縦長剝片関係の遺物が集中する箇所には、細石刃・同石核及び玻璃質安山岩製の遺物も多く出土する傾向が見られるが、この傾向は北側丘陵頂部よりも南側丘陵頂部の方がより顕著である。ただ、サヌカイト製の細石刃だけは、北側丘陵頂部付近でも南側丘陵頂部付近に劣らず出土している。

細石核の出土傾向を見ると、遺物の出土量が少ない今回の調査において細石核の出土が極めて多かったことを示すように、2回の調査で出土した細石核の約70%に当る80点が南側丘陵部からの出土である。

以上の出土傾向から、国府文化期に属する旧石器は羽佐島の北側丘陵部付近で多く出土しており、細石器文化期に属する旧石器となると南側丘陵部付近で多く出土する傾向が認められる。小さな羽佐島において生活環境を変える必要があったか否かは不明であり、現時点では、長期にわたって数多くの遺物集中箇所が重なった結果形成されたものとして認識するにとどめておきたい。

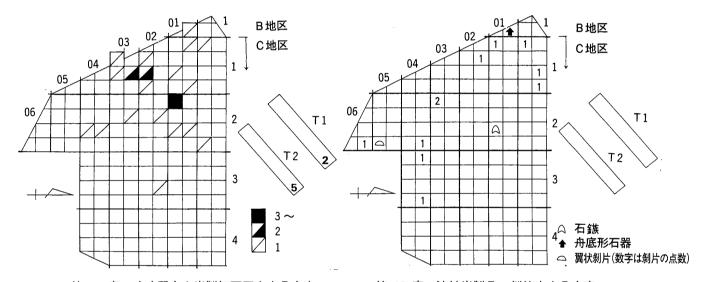
また、今回の調査では、玻璃質安山岩製1点・黒曜石製1点・水晶製2点の計4点のナイフ 形石器をはじめ、玻璃質安山岩製1点・流紋岩製1点の計2点の石鏃、チャート製有舌尖頭器 1点、流紋岩製舟底形石器1点、黒曜石製細石刃1点の計9点のサヌカイト以外の石材を用い た石器が出土している。特に、水晶製のナイフ形石器・玻璃質安山岩製の石鏃・チャート製の 尖頭器は前回の調査では出土しなかったものである。

これまで、細石器に伴う比較的短期間に石材として用いられたと考えられていた玻璃質安山



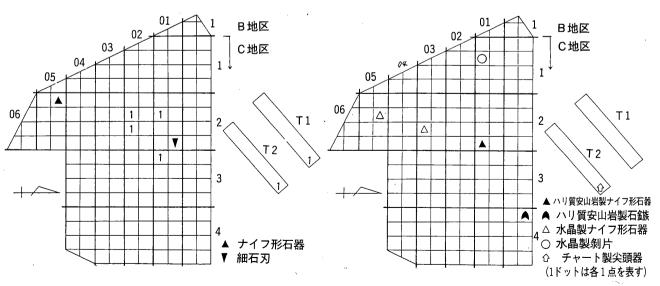
第 32 表 玻璃質安山岩製剝片出土分布表

第 33 表 玻璃質安山岩製細石核出土分布表



第 34 表 玻璃質安山岩製細石刃出土分布表

第 35 表 流紋岩製品・剝片出土分布表



第 36 表 黒曜石製品・剝片出土分布表

第 37 表 玻璃質安山岩製ナイフ形石器・石鏃及び水晶製剝片・ ナイフ形石器・チャート製尖頭器出土分布表

	石	材	種	ナイ 石	フ	形器	石		鏃	尖	頭	器	舟底形石器	翼状剝片	細	石	刃	細	石	核
	玻璃	質安	山岩		1			1						<del>-</del>		32			43	
	黒	曜	石		1											1				
	流	紋	岩					1					1	1						
•	水		晶		2									-						
	チ	ヤー	١.		-					-	1						-			

第38表 異石材製品一覧表

岩が石鏃として用いられていることは、出土が1点のみであり断言することはできないが、従来の考え方を修正する材料となるものかもしれない。

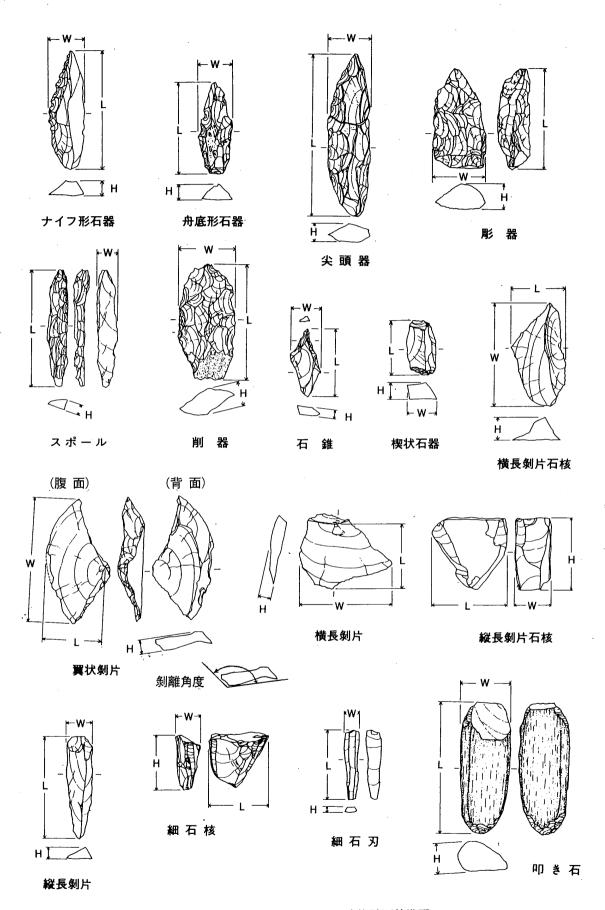
またチャートに関しては、玉城一枝氏の分析によれば、島嶼部遺跡から出土したチャートは色調から青緑色・灰白色・暗褐色を呈する3種類があり、特に青緑色を呈するチャートは敲打により表面がつぶれており、明確な旧石器としては使用されていない可能性が高いとされてきた。今回出土した有舌尖頭器に用いられたチャートは灰白色を呈しており、大浦遺跡出土の暗褐色チャートを石材とする細石刃と合わせて、チャートも材質によっては石器の石材として用いられていることが明らかとなった。また、今回の調査で青緑色のチャートは出土していないことから、旧石器の石材としては島嶼部では使用されていない可能性が高いことを指摘することができよう。

こうした異石材を用いた石器のほかにも滑石製勾玉・銅製帯金具が各1点出土しており、旧石器時代の遺物が多いなかで注目されるものであろう。

縄文期以降と考えられる土器片も多数出土したが、有溝土錘1点を除きすべて細片であり、明確な遺構も伴わないことから編年的に資料化することはできなかった。

註

藤好史郎・玉城一枝・中本雅之「初田遺跡」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報 (VI)』 1983 香 川県教育委員会



第 66 図 羽佐島遺跡出土主要遺物計測基準図

第39表 ナイフ形石器観察表

東河	뇄	' '	쁴			1			二次調整の範囲	の範囲	1	恒乙	底面	1		
⊠ 和 □	が『	響	かし	画画	—————————————————————————————————————	——	* *		打面側	刀部側	が 決	数	数	<b>型</b>	田田田	<b>Ц</b>
1	47.6	16.5	7.5	4.9	サヌカイト	先端部破損	翼状剝片初 期の剝片	基部は幅広。背面下半部に自然面あり。基部に打 面を残す。	先端と基部を除く全域	なし	込むの上半部は内郷,下半部は外郷	1	1	4	C1.2.b	ø
2	41.4	14.0	11.5	7.5	m	基部破損	翼状剝片フ ァーストフ レイク	背面先端から中央にかけて自然面あり。下半部に 盤状剝片の打面を残し,底面に打点を持つ。	先輩部を除 く全域	なし	刃部は外彎	なし	1	四角形	% C03·1· c	G G
က	29.5	21.3	9.0	6.2	"	両端破損	翼状剝片初 期の剝片	背面に自然面を大きく残す。	分	なし	刃部は外彎打面側は山形	なし	1	加	C1-1-c	п
4	27.4	16.8	10.5	3.5	u	基部破損	翼状剝片初 期の剝片	先端は尖る。背面下部に自然面あり。	仲凝	なし	刃部は外彎	-	1	四角形	第1トレン	*
2	52.2	17.0	8.8	6.8	"	刃部を僅か に欠失	翼状剝片ファーストフ アイク	先端は尖る。基部は尖らない。背面中央から基部 にかけて盤状剝片の打面を残す。底面に打点あり。	仲模	なし	刃部, 打面 部共外彎	なし	1	加易	% C04·1·d	ø
9	46.4	16.4	8.1	4.9	ll .	基部破損, 刃部を僅か に欠失	翼状剝片フ ァーストフ レイク	先端は尖らない。背面中央先端よりから基部にか けて盤状剝片の打面を残す。底面に打点あり。	仲模	なし	刃部は外彎	なって	1	和	形 C02·1·b	п
2	57.6	18.4	6.7	7.4	ll .	先端破損	翼状剝片フ アーストフ レイク	背面中央先端よりから基部にかけて盤状剝片の打 面を残す。底面に打点あり。	4 数	発売を発売の単のでのである。 あるかのでのである。 である。 である。 である。 である。 である。 では、 できる。 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	刃部は外彎	なし	1	平行四 以 形	Д C03•2• d	п
∞	0.09	17.6	9.1	7.8	ll l	基部を僅か に欠失	翼状剝 期の剝	先端は尖る。基部は薄くなり幅広。背面下半部に 盤状剝片の打面あり。	先端から基 部付近にか ひて施す		刃部・打面 側共に外彎	-	1	四角形	C02-1.c	п
6	44.2	19.7	5.4	4.9	"	両端破損	翼状剝片ファーストフレイク	背面には大きく盤状剝片の打面を残す。底面に打 点あり。	全域,ただし 先端は背面 側から施す	なり	刃部は外彎 打面部は山形	なし	3	四角形	% C03.2.b	п
10	42.7	24.2	8.9	9.8	ll .	基部破損, 刃部を一部 欠失	翼状剝片初 期の剝片	先端は尖らない。主要剝離面の刃部側先端に背面 からの小剝離痕が複数あり。	頂頭部から 全域	頂頭部から 先端部	刃部・打面 部共に外彎	-	1	四角形	C 02.2.d	w
11	39.4	25.5	8.3	7.2	11	基部破損	翼状剝片初 期の剝片	先端は尖る。背面下半部に盤状剣片の打面を残す。 主要剝離面刃部側に多数の小剝離痕が見られる。	<b>孙</b>	7 %	刃部は外彎	なって	1	四角形	C05-2-d	g G
12	41.2	17.8	8.6	7.8	11	先端部破損 刃部を一部 欠失	翼状剝 ァース レイク	基部は尖らない。背面は盤状剝片の打面を残す。 底面に打点あり。(上下逆)	全域	なって	刃部は外彎	** **	Н	4 地	C 02.3. b	S
13	36.0	19.4	9.9	4.6	ll .	両端破損	翼状剝片フ アーストフ レイク	背面は大きく盤状剝片の打面を残す。	全域	なって	刃部・打面 側共に外彎	なって	1	中	C 02.3.d	ø
14	63.2	19.9	8.8	8.6	"	基端部破損	翼状剝片初 期の剝片	先端は尖る。背面先端から中央基部よりにかけて, 盤状剝片の打面を残す。	金城	ئ ئ	刃部は直線状 打面側は外彎	なって	н	中市	C02-1-b	п
15	77.7	25.3	9.3	18.4	"	先端破損, 刃部を一部 欠失	翼状剝片	基部は幅広。大形	<b>松</b>	なって	刃部は外彎	1	П	加	C1.1. c s	
16	53.3	21.4	10.5	9.6	"	先端破損	翼状剝片	基部は尖らない。刃部上半部に複数の小剝離痕あり。主要剝離面の基部よりに背面からの調整痕あり。	全域, ただし 基部は背面 側から施す	なって	刃部・打面 部共に外彎	-	-	四角形	C1-1-d n	
17	53.5	20.3	8.4	9.5	"	可端破損	翼状剝片	底面は先端部で消滅	全域	なし	刃部は直線状 打面部は山形	1	1	加易	B01• s	

(ナイフ形石器)

_	1				Ι	r		· · · ·		Т.		1		T		T	1	1
4	五二地点	C01.2.cs	C1•3•d n	С1•3•с п	C01-1-a s	C04.4.cs	C1.2.cs	C01-1-as	C02•3•b s	C02•1•b n	C01.3.bn	B1•ds	C1•1•b n	C05.2.bn	C03.2.a n	C02•2•a s	C02•1•bn	C06.2.cs
		光	光	影	四角形	炭	为	四角形	炭	四角形	炭	四角形	炭	光	炭	影	四角形	炭
	<u>Ket</u>	<b>√</b> □	<b>√</b> □	√ <u>.</u>		√ <u>□</u>	40		40		40		10	40	40	40		<b>√</b> □
面庭面	教	-			-	-	1	1	1	1	-	<del> </del>	H	-				-
Z	羧	4/11	95m	1000		100		17	1	State land		*****		4/ #500	H 44mb			
	<b>分</b>	刃部は直線状 打面部は山形	刃部は外彎	刃部・打面 部共に外彎	刃部は外彎 打面部は山形	刃部・打面 部共に外彎	刃部は外彎打面側は山形	刃部は直線状 打面側は外 彎	刃部は外彎	刃部は外彎 打面側は直 線状	刃部・打面 側共外彎	刃部は外彎打面側は山形	刃部は外彎 打面側は山形	刃部は直線状 打面側は外彎	刃部は直線状 打面部は外彎	刃部・打面 側共に直線 状	刃部は外彎	刃部・打面 側共に外彎
二次調整の範囲	刃部側	* ~ ~	先端部に底 面側からの 剝離痕	先端から基 部付近	雅	ない	なり	なし	つな	なり	# 7	雅 銀	なし	なり	2	雅	基部及び先 端部	なって
二次調整	打面側	全域	全域	先端から基 部付近	金域	全域	先端から基 部付近	下半部に見 られる。	全域	全域	全域	金域	全域	先端を除き 全域	全域	全域	下半部	金域
	<b>元</b>	先端は鋭く尖る。基部は幅広。	先端部に打面を残す。主要剝離面先端部に底面からの剝離痕が2面見られる。	先端は尖る。基部は薄くなり幅広。打面側基部に 打面を残す。	基部は尖らず自然面を残す。	基部は尖らず打面側に自然面を残す。	主要剝離面に打点あり。	底面基部に打点のない剝離痕が2面見られる。	先端は尖る。先端部に打面を残す。	基部に僅かに打面を残す。	基部付近の主要剝離は亀裂の影響で不規則に及 ぶ。	両端が尖る。刃部側基部に主要剝離面側からの二 次調整あり。	先端は尖る。	先端は薄くなる。	先端は尖る 上半部はやや肉厚		先端は尖らない。底面先端部に背面からの複数の 小剝離痕あり。主要剝離面の先端部に刃部からの 剝離痕が複数見られる。	基部折損の後, 調整を施した痕跡あり。
	*	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片	翼状剝片
. ↓	<b>烧</b> 仔 艮	犯形	両端破損	完形	先端破損	先端部破損	西端破損 ソ部や一部 欠失	先端部破損 又部及び基 部を僅かに 欠失	基部破損	両端破損	両端破損 刃部を一部 欠失	刃部を僅か に欠失	基部破損	先端を僅か に欠失 基部破損	基部破損	基部破損 刃部を一部 欠失	基部破損	両端破損
	<b>石</b> 道	サヌカイト	n	"	"	"	"	n,	"	"	n	"	m	<i>"</i>	"	"	"	"
III	重重		3.7	5.5	4.7	7.7	5.2	4.6	5.5	4.2	5.6	3.6	1.9	5.4	4.4	9.9	5.8	6.7
	が	5.8	5.9	7.5	9.9	6.6	6.3	4.4	7.7	6.0	7.4	6.8	4.4	8.4	7.7	8.8	7.7	8.7
minil	型	13.5	12.1	16.4	16.9	20.2	18.5	19.6	16.7	15.0	18.2	13.6	13.9	17.4	17.6	19.4	16.2	19.8
湐	当され	60.7	40.2	55.5	44.8	39.4	44.6	43.3	42.1	43.4	41.4	42.6	38.3	42.1	39.8	34.6	37.5	38.3
	番号	18	19	20	21	22	23	24	22	56	27	28	53	30	31	32	33	34
							<u> </u>											

展	洪						l			の範囲		恒乙	底面		
図 奉	松	僵	を		<b>中</b>	残存度	**	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	打面側	<b>万</b> 幣 側	表 <del>***</del>	[	j 数 [	<b>严</b> 屈	田工港点
35	36.6		6 .	4.0	サメカイト	而端破損	翼状剝片	主要剝離面の刃部側には背面側からの剝離痕が多 数見られる。	強	ئة ب ب	刃部は内 打面側は山形	-	-	和	C1-1-d n
36	33.7	15.6	7.9	4.9	"	両端破損	翼状剝片	基部付近のネガティブな剝離は蝶番剝離気味に及 ぶ。	金女	なし	刃部・打面 共に外鸞	П	-	加	第1トレンチ
37	33.8	13.6	9.6	3.9	"	両端破損	翼状剝片	底面の亀裂部に相当する刃部は欠失する。	金板	なし	刃部・打面 側共に外彎	-	-	四角形	C02.2.bn
38	34.7	18.6	4.6	2.8	"	基部破損	翼状剱片	先端は尖る。扁平。	か <b>攻</b>	中央	刃部・打面 側共に外彎	-	-	四角形	C1.4.a s
39	25.6	16.7	9.5	4.2	n n	先端部破損 基端部を僅 かに欠失	翼状剝片	基部は尖らない。主要剣雕面の基部に末端方向か らの小剣雕痕あり。	全域?	全域?	刃部・打面 側共に外彎		-	四角形	C02•1•an
40	70.1	20.2	9.4	10.5	"	先端破損	翼状剝片	基部は鋭く尖らない。(上下逆) 刃部下半部に主要剝離面からの二次調整あり。		上半部	刃部・打面 側共に外彎	н	2	四角形	C02-1-d n
41	59.2	25.4	10.0	13.3	"	両端破損 刃部を一部 欠失	翼状剝片	上端部の底面は, 刃部方向からの剝離。刃部下半 部に主要剝離面からの二次調整あり。	金女	上	刃部・打面 側共に外彎	П	2	四角形	C03•1•bn
42	8.99	23.3	7.7	12.0	"	基部破損	翼状剝片	先端は尖る。	仲友	なし	刃部・打面 側共に外彎	က	<del></del>	加	C02•1•bn
43	40.1	15.3	7.2	4.2	<i>''</i>	刃部を僅か に欠失	翼状剝片	先端は尖る。基部は尖らず打面を利用。	校	なし	刃部・打面 側共に外彎	7	2	中	C01.2.a s
44	9.09	16.3	10.5	9.6	"	基部を僅か に欠失	翼状剝片	先端は鋭く尖らない。基部は幅仄。	金域	ない	刃部・打面 側共に外彎	က	-	4	C1.3. c s
45	58.5	18.2	8.8	8.0	ll l	刃部を僅か に欠失	翼状剝片	先端は尖る。基部に自然面を残す。底面に背面か らの小剝離痕が1面見られる。	基部を除く全域	なし	刃部・打面 側共に外彎	2	-	四角形	C02.1.d n
46	58.7	15.7	8.9	5.4	"	完形	翼状剝片	先端は尖る。基部は幅広。基部に打面を残す。	先端から基 部付近	全域	刃部・打面 側共に外彎	<sub>60</sub>	-	小	C03.2.bs
47	50.7	15.0	8.1	6.6	"	而端破損	翼状剝片	打面側基部に自然面あり。	先端から基 部付近	なし	刃部は外彎	က		加	C01•2•d n
48	38.1	15.0	7.2	4.0	ll .	両端破損 刃部先端部 欠失	翼状剝片	刃部に数ヵ所小剝離痕あり。	金	なし	刃部・打面 倒共に外彎	2	-	四角形	第1トレンチ
49	48.9	13.8	7.8	5.6	"	基部破損	翼状剝片	先端は尖る。刃部中央部に小剝離痕が数個あり。	全域	光端	刃部・打面 側共に外彎	2	н	四角形	С01.2. с п
50	28.6	22.0	7.4	5.2	<i>"</i>	両端破損	翼状剝片	刃部側の調整は3回にわたって施す。	全域?	全域?	۵.	н	=	四角形	B1•ds
51	55.1	29.3	15.8	20.5	"	両端破損 刃部欠失	翼状剝片	肉厚, 大形。	全域	なし	刃部は外彎	2	1	ı	B01• s

(注) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	田子 石 曜 珠存度	是	是	暦 珠 左 世 素	佐 奉	1	L	元	二次調整の範囲	をの範囲	¥	国	短面	<b>潛</b> 旧	于 子 子
単	田田 C D C F D K H H H L B C F D K H H H H H H H H H H H H H H H H H H	田田 C 図 及すの 米 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	単	以 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	<b>☆</b> ▼				打面側	刃部側		数	数		₹ H
47.3 17.6 8.3 6.4 サヌカイト 両端破損 翼状剣片 基部に打面を	.6 8.3 6.4 サヌカイト 両端破損 翼状剝片 基部に打面を	- 3 6.4 サヌカイト 両端破損 翼状剝片 基部に打面を	4 サヌカイト 両端破損 翼状剝片 基部に打面を	ヌカイト 両端破損 翼状剝片 基部に打面を	翼状剝片 基部に打面を	片 基部に打面を	基部に打面を	残す。刃部に小剝離痕あり。	全域	なし	刃部は直線状 打面側は外 彎	1	-		C01•3• c s
59.1 22.7 11.0 14.7 // // // // // // // // // // // // //	.7 11.0 14.7 // 先端破損 翼状剝片? 基部は尖る 初期の剝片? 小剝離痕あ	.0     14.7     ル製業度ある       .0     14.7	別 先端破損 翼状剝片? 基部は尖る 初期の剝片? 小剝離痕あ	異状剣片	翼状剝片? 基部は尖る 初期の剝片? 小剝離痕あ	†? 基部は尖る 片? 小剣離痕あ	基部は尖る 小剝離痕あ	底面に打点を持つ。刃部の中央部に 。	全域	なし	刃部は外彎 打面側は山形	2	1	四角形	C02•3•d n
36.6 15.2 6.6 3.5 // 基部破損 翼状剣片? 基部に打面 (補修あり)	-2 6.6 3.5 <i>n</i> 基部破損 翼状剣片? 先端は尖る (補修あり) 翼状剣片? 基部に打面	.6 3.5 <i>n</i> 基部破損 翼状剣片 発端は尖る (補修あり)	-5 基部破損 翼状剣片? 先端は尖る (補修あり) 翼状剣片? 基部に打面	基部破損 翼状剣片? 先端は尖る (補修あり)	翼状剝片? 基部に打面	翼状剝片? 基部に打面	先端は尖る。 基部に打面を	。背面側基部に末端方向からの剝離痕。  を残す。主要剝離面に打点あり。	中域	基部付近	刃部は外彎 打面側は山形		1	四角形	C03•2•d n
33.6     22.9     5.4     3.8     ル 対部を僅か 深状剣片? り。       た欠失	29     5.4     3.8     ル 対部を僅か 文集     変状剝片?     先端は尖るに欠失	4     3.8     加度	基部破損     集部破損       .8     ル 刃部を僅か 翼状剝片?       ル 次失	基部破損 刃部を僅か 取代制 ? 先端は尖る に欠失	翼状剝片? 先端は尖る	翼状剝片? 先端は尖る	L *Ω	。 扁平, 刃部先端部に微小な剝離痕あ	金板	なって	刃部は外彎 打面側は山形	-	-	小	C04.2. c n
55.8     16.8     7.9     6.6     n     完形     翼状剣片?     面端が尖る。	.8 7.9 6.6 // 完形 翼状剝片? 両端が尖る 譲が4 面見	.9     6.6     ル 完形 翼状剝片? 頂端が失る 痕が4 面見	-6 // 完形 翼状剝片? 両端が尖る 痕が4 面見	完形 翼状剝片? 痕が4面見	翼状剝片? 両端が尖る 痕が4面見	片? 南端が尖る 痕が4面見	両端が尖る。 痕が4面見	。底面先端部に主要剝離面からの剝離 られる。	全域	先端付近	刃部は外彎 打面側は直 線状	4	1	中市	С03•3•сп
47.4 17.7 7.9 5.3	7.9 5.3 <i>»</i> 基部を僅か 翼状剝片? 先端は鋭く に欠失	-9 5.3 <i>》</i> 基部を僅か 翼状剝片? 先端は鋭く に欠失	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基部を僅か 翼状剝片? 先端は鋭く に欠失	部を僅か 翼状剝片? 先端は鋭く 欠失	翼状剝片? 先端は鋭く	~	尖らない。基部は薄く幅広。	全域	姆未干	刃部・打面 側共に外彎	3	1	四角形	C 02•4•b n
53.6 17.8 8.5 6.9 // 先端破損 翼状剝片? 基部は尖る。	8   8.5   6.9	.5 6.9 // 先端破損 翼状剝片? 基部は尖る	.9 // 先端破損   翼状剝片?   基部は尖る	先端破損 翼状剝片? 基部は尖る	翼状剝片? 基部は尖る	片?   基部は尖る	10	主要剝離面刃部側は蝶番剝離する。	全域	つな	刃部・打面 側共に外彎	Н	-		C01•4• c n
42.5 18.0 7.8 5.2 <i>n</i> 基部破損	4     基部破損     生部破損     先端は尖らず       7.8     5.2     ル     A 知答権の     製状剝片?     整境あり。       次失失	**     基部破損     先端は尖らず	基部破損     集部破損       3     別部を僅か 翼状剝片?       2     に欠失	基部破損 刃部を僅か 翼状剝片? 発端は尖らず に欠失	翼状剝片? 先端は尖らず離疾あり。	翼状剝片? 先端は尖らず離疾あり。	決らずり。	幅広。主要剝離面打面側基部に小剝	金域	ない	刃部は直線状 打面側は外彎	2	-	小	C03.1.cn
34.0 17.0 10.5 4.4 // 基部破損 翼状剝片? 先端は尖らない	10.5 4.4 // 基部破損 翼状剝片? 先端は尖ら	4.4 ル 基部破損 翼状剝片? 先端は尖ら	.4 // 基部破損 翼状剝片? 先端は尖ら	基部破損(翼状剣片?)先端は尖ら	翼状剝片? 先端は尖ら	片? 先端は尖ら	先端は尖らなり	ない。	全域	<b>%</b>	刃部・打面 側共に外彎	なって	1	三角形	C03•1•bn
34.5 16.4 8.5 3.5 // 基部破損 翼状剝片? 背面側には背	.4     8.5     3.5     ル 基部破損     準端の接     取状剝片?     背面打面側には	-5 3.5 <i>n</i> 先端欠失 薬状剝片? 背面打面側 基部破損	.5	先端欠失 基部破損 翼状剝片? 背面側には	翼状剝片? 背面打面側 打面側には	背面打面側   打面側には	面打面側 面側には	1中央部に底面からの剝離痕あり。底面 :背面からの小剝離痕が見られる。	全域	なし	刃部は外彎	なって	н	三角形	第1トレンチ
48.1     22.4     11.5     9.2     ル 内部僅かに 変状剝片?     主要剝離面下 大条	4 11.5 9.2     ル 内部僅かに 翼状剣片? 主要剝離面 次失	5     9.2     ル 大端破損       内部値かに 翼状剝片?     主要剝離面 次失	・2     ルカ部僅かに 翼状剣片?     主要剝離面 次失	先端破損 为部僅かに 翼状剝片? 主要剝離面 欠失	翼状剝片? 主要剝離面	翼状剝片? 主要剝離面	82 82 82 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81	基部は背面側からの剝離で尖らす。 部に打面が残る。	上半部は腹面側,下半部は背面側,下半部は背面側から施す。	基部	刃部は外彎 打面側紅形	なし	н	三角形	C01-1-a s
40.0 17.6 5.7 3.9 // 打面側下半 不明 部より次失 初期の剝片? 先端は尖らな	.6 5.7 3.9 <i>n</i> 打面側下半 不明 部より欠失 初期の剝片? 先端は尖ら	3.9 <i>n</i> 打面側下半 不明 部より欠失 初期の剝片? 先端は尖ら	-9 // 打面側下半 不明   充端は尖ら   部より欠失 初期の剝片?   先端は尖ら	打面側下半 不明 部より欠失 初期の剝片? 先端は尖ら	不明 初期の剝片? 先端は尖ら	不明 初期の剝片? 先端は尖ら	先端は尖らな	ない。背面に打撃痕あり。	上半部に残る。	上半部	刃部は外彎	-	-	小	C01-3-cs
46.0 34.1 9.0 14.9 // 両端破損 不明 幅広。基部に3	1 9.0 14.9 // 西端破損 不明 幅広。基 に小剣囃	14.9   加端破損 不明 幅広。基   14.9	<ul><li>9 // 西端破損 不明 幅広。基 に小劉肇</li></ul>	南端破損 不明 幅広。基 に小剱際	不明 幅広。 に小剣羅	幅広。 場で いん 多 選 を かん 多 選 を かん 多 選 を かん 多 選 を かん あん かん	幅広。基部1 に小剝離痕3	こ打面を残す。主要剝離面刃部側基部 ちり。	全域	中央	刃部は直線 状	2	-	加	第1トレンチ
46.6 16.2 7.3 5.6 ル 基部破損 不明 先端は尖られ	-2 7.3 5.6 ル 基部破損 不明 先端は尖ら	-3 5.6 ル 基部破損 不明 先端は尖ら	.6 // 基部破損 不明 先端は尖ら	基部破損 不明 先端は尖ら	不明 先端は尖ら	先端は尖ら	先端は尖らな	ない。	全域	なし	刃部は内彎 打面側は外彎	3	1	四角形	C01•1•a n
36.0 17.7 7.5 3.9 // 部破損 不明 先端は尖らな 部破損	7.5     3.9     別 別 別 別 別 別 別     別 別 別 別 別     本 別 別 別     本 別 別 別	.5     3.9     別部及び基     不明     先端は尖ら 部で損	9 ル お破損 不明 先端は尖ら 部破損	双部及び基 部破損 不明 次調整あり	垂 不明 先端は尖ら 次調整あり	先端は尖ら 次調整あり	100	い。刃部全域に主要剝離面からの二	全域	金女	刃部は外彎	2	-	四角形	C03•2•a n
35.2 16.1 17.6 3.4 <i>n</i> 基部破損 入部を一部 不明 先端は尖る。 欠失	基部破損       17.6     3.4     n     N     N     N     N     A	基部破損     基部破損       3.4     ル 刃部を一部     不明     先端は尖る       欠失     人久	基部破損         本部破損           4         ル 万部を一部         不明         先端は尖る           欠失         人名	基部破損 万部を一部 不明 先端は尖る 欠失	部 不明 先端は尖る	不明先端は尖る	1/0	刃部先端及び中央に小剝離痕あり。	全域	なって	刃部・打面 側共に外彎	-	H	三角形	C02.3.an
32.0 14.7 8.4 2.4 <i>n</i> 先端欠失 翼状剣片? 別部に残カ所 基部破損 翼状剣片? 跡的に残る。	.7 8.4 2.4 <i>n</i> 先端欠失 翼状剝片? Bが的に残 基部破損	.4         2.4         ル         先端欠失 基部破損         翼状剝片?         別部に数	-4 / 先端欠失 翼状剝片? 別部に数 基部破損 翼状剝片? 跡的に残	先端欠失 基部破損 翼状剝片? 助的に残	翼状剝片? 別部に数	キ? 対部に数 跡的に残	部に数的に残	ヵ所小剝離痕あり。ネガティブな面は痕 る。	<b>孙</b>	なし	刃部は外彎	2	1	台 形	C02•3• d n

	2 1 2 1 8 1 1 1 1 1 1 1 1 8	8 3 1 2 1 8 1 1 1 1 1 1 8 8
代     な     代     な     代     な     本       語     つ     つ     な     対     な     力	布     な     布     中<	代     な     が     が     が     が     が     が     が       語     つ     つ     つ     つ     つ     つ     つ     つ
片 に未端方向からの剝離痕あり。       部にかり         子端部は薄くなる。刃部先端付近に小剝離痕あり。       全域         片 両端が尖る。庭面の打点は近い。       中央先り         古 先端は尖る。基部は幅広。背面に打撃痕を残す。       全域         主要剝離面側には大きく打面と打点を残す。底面       全域         主要剝離面側には大きく打面と打点を残す。底面       全域         主要剝離面には大きく打面と打点を残す。       全域         主要剝離面には大きく打面と打点を残す。       全域         基部は尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。       全域         基部は尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。       全域         先端は尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。       全域         た端は尖る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕ある。       全域         り。       全域	5。 庭面の打点は近い。  5。 庭面の打点は近い。  5。 基部は幅広。背面に打撃痕を残す。  5ない。基部に僅かに自然面あり。  5ない。基部に僅かに自然面あり。  5ない。基部に僅かに自然面あり。  5ない。基部に僅かに自然面ある。  5ない。基部に強かに自然面ある。  5ない。基部に強かに対点を残す。  5ない。基部に強かい対点を残す。  5ない。 基部は失きくい。 刀部に小剝離痕あ。  5ない。 因部に小剝離痕が見られる。	5。
両端が尖る。底面の打点は近い。 先端は尖る。基部は幅広。背面に打撃痕を残す。 基部は薄くなり幅広。底面の打点は近い。 主要剝離面側には大きく打面と打点を残す。底面 は末端方向からの加撃。 主要剝離面には大きく打面と打点を残す。底面 は末端方向からの加撃。 基部は大きく打面と打点を残す。底面 基部は大きく打面と打点を残す。 基部は大きく打面と打点を残す。 基部は大きくがし、力部に小剝離痕が見られる。 先端は尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。 先端は尖る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あり。	4.8。 底面の打点は近い。 4.8。 基部は幅広。背面に打撃痕を残す。 薄くなり幅広。底面の打点は近い。 集らない。基部に僅かに自然面あり。 発向からの加撃。 推面には大きく打面と打点を残す。底面 推面には大きく打面と打点を残す。底面 2.5ない。刀部に小剝離痕が見られる。 2.5ない。刀部に小剝離痕が見られる。 2.5ない。刀部に小剝離痕が見られる。 2.5ない。刀部に小剝離痕が見られる。	失る。底面の打点は近い。 4.8。基部は幅広。背面に打撃痕を残す。 様くなり幅広。底面の打点は近い。 発うない。基部に僅かに自然面あり。 雑面側には大きく打面と打点を残す。底面 方向からの加撃。 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ よらない。刃部に小剝離痕が見られる。 2.8。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ 第に背面からの小剝離面あり。
先端は尖る。基部は幅広。背面に打撃痕を残す。 基部は薄くなり幅広。底面の打点は近い。 先端は尖らない。基部に僅かに自然面あり。 主要剝離面側には大きく打面と打点を残す。底面 は未端方向からの加撃。 主要剝離面には大きく打面と打点を残す。 底面は上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 肉厚。 基部は尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。 先端は尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。	失る。基部は幅広。背面に打撃痕を残す。 薄くなり幅広。底面の打点は近い。 尖らない。基部に僅かに自然面あり。 離面側には大きく打面と打点を残す。底面 着面には大きく打面と打点を残す。底面 整面には大きく打面と打点を残す。 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ とらない。刃部に小剝離痕が見られる。 尖る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ	<ul> <li>尖る。基部は幅広。背面に打撃痕を残す。</li> <li>葉くなり幅広。底面の打点は近い。</li> <li>尖らない。基部に僅かに自然面あり。</li> <li>離面側には大きく打面と打点を残す。底面方向からの加撃。</li> <li>上半部のみに残る。上半部は下半部に比べとうない。刃部に小剝離痕が見られる。</li> <li>尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。</li> <li>尖る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あり。</li> <li>尖らず幅広。</li> </ul>
薄くなり幅広。底面の打点は近い。 尖らない。基部に僅かに自然面あり。 難面側には大きく打面と打点を残す。底面 方向からの加撃。 維面には大きく打面と打点を残す。 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ とらない。刃部に小剝離痕が見られる。 尖る、基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ	薄くなり幅広。底面の打点は近い。 尖らない。基部に僅かに自然面あり。 離面側には大きく打面と打点を残す。底面 方向からの加撃。 生半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ よらない。刃部に小剝離痕が見られる。 突る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ	薄くなり幅広。底面の打点は近い。 尖らない。基部に僅かに自然面あり。 雑面側には大きく打面と打点を残す。底面 方向からの加撃。 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ とうない。刃部に小剣離痕が見られる。 尖る。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ 郭に背面からの小剣離面あり。
集らない。基部に僅かに自然面あり。 全域 離面側には大きく打面と打点を残す。底面 全域 内向からの加撃。 上半部 離面には大きく打面と打点を残す。 上半部 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 とらない。刃部に小剣離痕が見られる。 全域 尖らない。刃部に小剣離痕が見られる。 全域	集らない。基部に僅かに自然面あり。 全域 離面側には大きく打面と打点を残す。底面 全域 方向からの加撃。 上半部 推面には大きく打面と打点を残す。 上半部 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。 全域 突らない。刃部に小剝離痕が見られる。 全域 部よりたか。 新に背面からの小剝離面あり。	集らない。基部に僅かに自然面あり。 全域 離面側には大きく打面と打点を残す。底面 全域 方向からの加撃。 上半部 上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 とうない。刃部に小剝離痕が見られる。 全域 なる。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ 全域 発う。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ 全域 発う。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ 全域 発えりにか けて背面からの小剝離面あり。 投らず幅広。 た端から基
雑面側には大きく打面と打点を残す。底面 全域 方向からの加撃。	<ul> <li>雑面側には大きく打面と打点を残す。底面 全域 からの加撃。</li> <li>上半部のみに大きく打面と打点を残す。</li> <li>上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 とらない。刃部に小剣離痕が見られる。</li> <li>たる。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ に背面からの小剣離面あり。</li> <li>所まりにかけて</li> </ul>	<ul> <li>雑面側には大きく打面と打点を残す。底面 全域</li></ul>
<ul><li>離面には大きく打面と打点を残す。</li><li>上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 尖らない。刃部に小剝離痕が見られる。</li><li>全域 尖る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ 全域</li></ul>	<ul> <li>業面には大きく打面と打点を残す。</li> <li>上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ全域</li> <li>尖らない。刃部に小剣離痕が見られる。</li> <li>尖る。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ会域</li> <li>部よりにからない。</li> <li>部よりにかけて</li> </ul>	<ul> <li>業面には大きく打面と打点を残す。</li> <li>上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域</li> <li>尖らない。刃部に小剣離痕が見られる。</li> <li>尖る。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ 全域 所よりにかけて</li> <li>尖らず幅広。</li> <li>た端から基 所よりにかけて</li> <li>とがする</li> <li>た端から基 所よりにかけて</li> <li>とうず幅広。</li> </ul>
上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 尖らない。刃部に小剣雕痕が見られる。 尖る。基部は尖らない。刃部に小剣雕痕あ 全域	上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 とうない。刃部に小剝離痕が見られる。 全域 たる。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ 全域 第7に背面からの小剝離面あり。	上半部のみに残る。上半部は下半部に比べ 全域 尖らない。刃部に小剣離痕が見られる。 全域 尖る。基部は尖らない。刃部に小剣雕痕あ 全域 部に背面からの小剣雕面あり。
尖らない。刃部に小剣離痕が見られる。 全域 な とる。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ 全域 な	<ul> <li>よらない。刃部に小剣離痕が見られる。</li> <li>全域 な</li> <li>よる。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ</li> <li>会域 な</li> <li>お端から基 部よりにか</li> <li>な</li> <li>部よりにか</li> <li>な</li> </ul>	尖らない。刃部に小剣離痕が見られる。       全域       な         尖る。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ       全域       な         部よりにか       おいて       けて         投らず幅広。       無いら基       およりにか       な         投らず幅広。       およりにか       な         けて       けて       な
尖る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ 全域 な	決る。基部は尖らない。刃部に小剝離痕あ       全域       なし         飛に背面からの小剝離面あり。       先端から基 部よりにか       なし	尖る。基部は尖らない。刃部に小剣離痕あ       全域       なし         部に背面からの小剣離面あり。       先端から基 門よりにか けて       なし         投らず幅広。       無端から基 門よりにか けて       なし
	面基部に背面からの小剝離面あり。先端から基部とりにかなしおよりにかなしけて	た端から基 部よりにか けて 先端から基 部よりにか けて

~~~		奉		本 本	暦 <b>株</b> 存 産 素		品	
		2	<u> </u>	Z	2 X Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z Z X Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z	2 X Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z X Z Z Z X Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z		
。基部に打面あ	両端が尖らない。	両端が尖ら	基部破損 権長剝片 両端が尖らない	ヌカイト 基部破損 横長剝片 両端が尖ら	サヌカイト 基部破損 横長剝片 両端が尖ら	サヌカイト 基部破損 横長剣片 両端が尖ら	9 6.1 サヌカイト 基部破損 権長剝片 両端が尖ら	-3 8.9 6.1 サヌカイト 基部破損 横長剝片 両端が尖ら
平。刃部先端及び中央部に小剝離	両端が尖る。扁 <sup>3</sup> 痕あり。	両端が尖る。扁渡あり。	2。 2	南端が尖る。 横長剝片 痕あり。	完形 横長剝片 両端が尖る。扁 演あり。	ル 完形 横長剝片 両端が尖る。扁	2.1 // 完形 横長剝片 南端が尖る。扁 腹あり。	.8 5.2 2.1 // 完形 横長剝片 南端が尖る。扁
にいる基部は薄えあり。	先端は鋭く尖らない 先端部に小剝離痕あ		完形 横長剣片 先端は鋭く尖らなれば形形 横長剣片 先端部に小剣囃道	横長剝片	完形 横長剣片	.5 // 完形 横長剣片	2.5 // 完形 横長剣片	.6 6.6 2.5 // 完形 横長剣片
	基部は幅広	4-	横長剝片	4-	先端破損 为部一部欠失 機長剝片	.3 先端破損 横長剝片 刃部一部欠失	.5 2.3 // 允端破損 横長剝片	.0 6.5 2.3 // 允端破損 横長剝片
基部は尖らない。	先端は尖る。基部	+ 先端は尖る。	横長剝片 先端は尖る。	横長剝片 先端は尖る。	完形 横長剝片 先端は尖る。	.2 ル 完形 横長剣片 先端は尖る。	-2 2.2 ル 完形 横長剝片 先端は尖る。	.6 6.2 2.2 ル 完形 横長剣片 先端は尖る。
o	基部に打面を残す	十 基部に打面を残す	横長剝片 基部に打面を残す	十 基部に打面を残す	先端僅かに 欠失 基部破損 権長剝片 基部に打面を残す	先端僅かに ル 欠失 基部破損 機長剝片 基部に打面を残す	・9     1.6     ル 大头     権長制片     基部に打面を残す       基部破損     基部破損	**3     **1.6     **1.6     **2     **2     株長剝片     基部に打面を残す       **2     **3     **2     **3     **3     **4     **3     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4     **4
小形。	先端は尖らない。ハ	   先端は尖らない。	先端は尖らない。	横長剝片 先端は尖らない。	基部破損(横長剝片)先端は尖らない。	ル 基部破損 横長剝片 先端は尖らない。	-5 1.6 ル 基部破損 横長剝片 先端は尖らない。	.8 6.5 1.6 // 基部破損 横長剝片 先端は尖らない。
端方向	主要剝離面基部に未端方向からの剝離面	4-		横長剝片	阿端破損 横長剝片	.2 //	.6 4.2 // 阿端破損 横長剝片	8.6 4.2 // 阿端破損 横長剝片
	基部は尖る。	+ 基部は尖る	基部は尖る	横長剝片 基部は尖る	先端部破損 横長剝片 基部は尖る	ル 先端部破損 横長剝片 基部は尖る	-2 7.3 // 先端部破損 横長剝片 基部は尖る	.5 8.2 7.3 // 先端部破損 横長剝片 基部は尖る
	基部は幅広	-l-		横長剝片	5.2 // 先端部破損 横長剝片	》 先端部破損 横長剝片	5.2 // 先端部破損 横長剝片	7.8 5.2 // 先端部破損 横長剝片
	基部に打面を残す。	十 基部に打面を残す	基部に打面を残す	横長剝片 基部に打面を残す	6.6 // 両端破損 横長剝片 基部に打面を残す	.6 ル 両端破損 横長剝片 基部に打面を残す	- 2 6.6 ル 両端破損 横長剝片 基部に打面を残す	-2 9.2 6.6 ル 両端破損 横長剝片 基部に打面を残す
刃部先端部に小剝離痕あ	先端は尖らず幅広。	ナ 先端は尖らず幅広。	先端は尖らず幅広。	横長剝片 先端は尖らず幅広。	3.5 ル 基部破損 横長剝片 先端は尖らず幅広。	.5 ル 基部破損 横長剝片 先端は尖らず幅広。	3.5 ル 基部破損 横長剝片 先端は尖らず幅広。	7.5 3.5 // 基部破損 横長剝片 先端は尖らず幅広。
	肉厚	4-		横長剝片	13.2 // 両端破損 横長剝片	》   兩端破損   横長剝片	13.2 // 両端破損 横長剝片	12.4 13.2 //
微小な	両端が尖る。刃部に微小な剝離痕あ	十 両端が尖る。	両端が尖る。	横長剝片 両端が尖る。	4.3 // 完形 横長剝片 両端が尖る。	ル 完形 横長剣片 両端が尖る。	4.3 // 完形 横長剝片 両端が尖る。	6.9 4.3 // 完形 横長剝片 両端が尖る。
	先端は尖らず幅広。	十 先端は尖ら	先端は尖ら	横長剝片 先端は尖ら	8.3 ル 基部破損 横長剝片 先端は尖ら	:3 ル 基部破損 横長剝片 先端は尖ら	8.3 ル 基部破損 横長剝片 先端は尖ら	9.6   8.3     基部破損   横長剝片   先端は尖ら
	基部は尖らない。基部に背面側からの剝離面あ	十 基部は尖らな	基部は尖らな	横長剝片 基部は尖らな	10.3 // 先端部欠失 横長剝片 基部は尖らな	ル 先端部次失 横長剝片 基部は尖らな	10.3 // 先端部欠失 横長剝片 基部は尖らな	9 11.4 10.3 // 先端部欠失 横長剝片 基部は尖らな
剝離痕	刃部に複数の微小な剝離痕あ	Нг		横長剝片	5.2 // 両端破損 横長剝片	.2 //	.7 5.2 // 両端破損 横長剝片	.4 9.7 5.2 // 阿端破損 横長剝片

美麗	郑		画	相响	九 厢	新 九 田	‡ #	克	二次調整の範囲	きの範囲	4	E Z	底面		4
海市	业	雪	か <sup>1</sup> <u></u> <u></u>	事事		ţ-			打面側	刃部側	₹ \$	数	数	国	日子
103	40.3	17.7	9.5	5.4	17484	先端破損	横長剝片	基部は幅広	全域	先端	刃部は直線状 打面側は外彎	2	1	四角形	C02•1•d s
104	37.0	16.1	7.6	4.8	ll	先端破損	横長剝片	基部は幅広。	全域	ない	刃部は外彎 打面側は山形	2	-	四角形	C02.3. c n
105	25.4	15.6	6.4	2.2	"	基部破損	横長剝片	先端は尖らない。小形。	全域	なって	刃部は直線状 打面側は山 形	2	1	四角形	C1•1• c s
106	61.8	22.6	10.6	12.6	ll.	刃部を僅か に欠失	横長剝片	先端は尖る。基部は尖らない。主要剝離面基部打 面側に背面側からの剝離面あり。	全域	2000年最	刃部は山形 打面側は外彎	2	2	四角形	C01.2.cs
107	44.1	14.2	8.8	4.3	"	光	横長剝片	先端は尖る。基部は尖らない。	全域	下半部	刃部・打面 側共に外彎	複数	複数	四角形	C1•2•a s
108	46.1	22.2	7.8	7.4	11	両端破損	横長剝片	幅広	全域	なし	刃部は直線状 打面側は外彎	なって	-	三角形	C02.1.d n
109	30.0	18.0	10.0	4.7	ll .	両端破損	横長剝片?	主要剝離は蝶番剝離気味に及ぶ。	全域	なし	刃部は外彎	なって	-	三角形	C1•4•a n
110	31.7	10.8	6.8	2.0	ll .	北	横長剝片?	両端が尖らない。	全域	なし	刃部は山形 打面側は外彎	なって	-	三角形	C02-1-an
111	25.6	14.5	4.9	1.4	ll.	完形	横長剝片	両端が尖る。小形。	全域	、なし	刃部は外彎 打面側は山形	なって	н	三角形	C05.2.d s
112	49.9	19.0	7.6	5.5	ll.	刃部を一部 欠失	横長剝片	両端が尖る。底面は加撃方向の異なる2面よりな る。	金城	中央先端よ り	刃部・打面 側共に外鸞	なって	2	三角形	C03•2•d n
113	51.8	22.5	11.7	10.4	<i>"</i>		横長剝片 切り出し形	両端が尖らない。主要剝離面側下半部に打面を残 す。刃部に微小な剝離痕あり。	全域	先端部を除 く全域	刃部は外彎 打面側は山形	複数	-	四角形	B01• n
114	32.2	16.2	5.9	2.8	11		横長剝片 切り出し形	先端は鋭く尖らない。底面は刃部方向からの剝離。	金城	上半部	刃部は山形 打面側は直 線状	2	7	四角形	C01.1.d s
115	67.7	14.7	10.3	9.4	"	基部破損 先端僅かに 欠失	縦長剝片	先端は尖る。先端部の二次調整は背・腹両面から 施す。	先端・基部	なし	刃部は外彎	1	1	四角形	C04•1•cn
116	48.3	18.8	10.2	8.0	<i>(t</i>	完形	縦長剝片	先端は尖る。基部は幅広。刃部中央及び基部より に主要剝離面からの剝離痕あり。	奉	中央から基 部にかけて	刃部は外彎	ı	1	四角形	C1•4•a n
117	53.4	15.6	5.1	4.6	ll .	先端僅かに 欠失 基部破損	縦長剝片	両端が尖る。	基部	ない	刃部は外彎	1	i	小	C1.2.d s
118	51.2	16.6	11.0	7.5	//	先端破損	不定形剝片	基部は尖る。底面はポジティブな剝離面基部付近 に石核側面が残る。	中央部	全域	刃部は外彎	۲۵ ک	-	四角形	C 02-3- b s
119	31.5	16.2	8.2	3.9	ハリ質安山岩	先端基部破損	横長剝片 切り出し形	先端は幅広。背面中央の打面側に背面からの剝離 痕あり。	先端部を除 く全域	一 一 域	刃部・打面 側共に直線 状	က	۵.	四角形	C01-2-cs

(ナイフ形石器)

<u> </u>	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	四角形 C05·2·an	C03.2. c s	C05•2•b n
ı	三 三 <b>三</b>	四角形	四角形	四角形
底面	鞍	ı		ı
垣		1	1	1
4	売 快	刃部は外彎	刃部は直線状	ı
その範囲	为部側	先端部	1	1
二次調整の範囲	打面側	最 計 工	I	1
į		先端は尖る。基部は幅広。底面は自然面。	を	不明
	* *	統長剝片	縦長剝片 切り出し形	縦長剝片
1	<b>汉</b> 中	光形	光光	基部破損 刃部欠失
Ħ	II(	冶	盟	罒
h	Á	出	يد	يد
	<b>1</b> 8	4.8 黒	4.9 本	5.4 本
	が動	8.6	9.4	8.8
न्नमा	電	16.4	20.2	27.7
铁	対が	39.0 16.4	33.4	22.8
無	₩ Zuc	120	121	122

# 第40表 舟底形石器観察表

			Γ			1	
1 1	H H 画	C1.1.bs	C02.1.cs	C01-1-bs	C05•1•ds	B01•n	C1.1.bs
	the						
#	<b>严</b>		基部端より先端に向う剝離あり。				
l	트 크	中	三角形	中	"	"	"
	制 图	層		量	部除	11	"
	E	₩	一側辺	₩	1	7	, 
	鱼鱼	2	2	2	2	2	4
}  }  }	干飲国	2	1	1	1	1	1
	EK	<del>/</del>				班	7 7
İ	Ĺ	8.4 サヌカイト	"	"	ll	荒稅	8.4 サヌカイト
0) H	重重	8.4	10.1	9.5	4.6	5.0	
	を動	9.5	59.1 16.4 14.5	49.6 18.6 10.4	0.6	9.5	8.6
	雪	16.1	16.4	18.6	15.1	16.1	18.5
法	が聞	57.1	59.1	49.6	46.9	38.0	49.1
美運	番号	1	2	3	4	5	9

# 第41表 尖頭器観察表

								,		
		田十名河	C01.1.bs	C05.2.a s	C03.1.cs	C1.2.as	C1.3.bn	C03.3.a s	C1•1•a s 第2トレンチ	C05.2.cs
	ì	ሐ							欠失。接合資料。	
	#		横長剝片石核転用。先端部欠失。	剝片素材。	先端部及び基部欠失。	先端部及び基部欠失。	舌状のつくり出し。上半部欠失。	形 下半部欠失。	舌部は逆三角形。鋸歯状縁。先端部及び舌部端欠失。接合資料。	木製品
	H	——— ⊟	炭	炭		影	影		炭	
	Ž	F.	繋	<b>4</b> 0	平行四辺形	回角	40	三角	六角	I
	1	——— 糾	60	⊕	Θ	$\Theta$	Θ	Θ	(e)	ı
	15	in'	恒	恒	画	厘	層	更	恒	
	#	ing ing	恒	工厂	屆	址	恒	址	恒	
		*	横長剝片石核	横長剝片	ı	1	1	1	1	横長劉片
	ı. G	£	为						Ήπ	
	į	Ď.	揪	"	1	1	I	"	·_	1
		_,	1 ×	-					↑ 有	
		D E	サヌカイ	//	サヌカイ	11	11	"	1 4 4	"
	州	里里	19.4	4.9	11.8	5.2	2.5	10.5	5.0	20.3
		を重	13.8	9.9	7.6	6.7	4.3	8.5	6.7	6.5
	7411	雪	28.4	14.3	27.7	19.3	23.5	8.62	18.9	27.8
	뇄	れ <sup>!</sup> 戦	63.0	0.99	44.9	31.5	22.6	44.3	44.2	48.5
Ì	東河	四市	7	∞	6	10	11	12	13	14

42表 削器·播器観察表

寒運	瓶			j.				├—	-				1
図帯	点点	■	厚い	重重	石 質	素材	と野を開	6 期整位置 	Ha'	魁	無	田 田 田	足近
П	53.0	22.9	16.2	14.3	サヌカイト	横長剝片石核	杠	湾削	器片	厘		C02-1-	s o ·
2	63.0	36.0	13.2	27.2	"	横長剝片石核	K	趣	器片	更	石錐の可能性もある。	C03-4-a	·a s
3	42.7	43.0	13.4	19.2	"	横長剝片石核	女内	湾 削	器	椢		C 02-2-	s o ·
4	65.8	31.2	7.4	18.5	11	不定形剝片	本	湾削	器片	椢		C1.2.b	s q
2	78.5	54.4	9.3	52.4	11	横長剝片	本	湾削	器面	垣		C04.2. c n	u o ·
9	81.7	41.5	15.3	60.2	11	不定形剝片	外	湾削	器	垣	両面加工の石器か。	C 02-4-b	n d • l
7	44.5	25.4	8.4	9.7	11	横長剝片	恒	線削	器片	垣		C 06-2-	o c n
∞	105.1	50.6	6.4	40.8	"	横長剝片	恒	線削	器片	厘		C01.2.d	u p ·
6	6.99	38.4	7.0	21.1	11	横長剝片	外	湾削	器	椢		C 05•2• d	s p·
10	26.2	29.2	6.1	4.0	"	横長剱片	펱	線播	器呵	椢		C1.2.b n	n q
11	50.2	56.1	7.6	22.4	"	横長剝片	迴	線播	器	垣	折れ面に調整を施す。	C1.2	a n
12	66.1	31.9	7.0	18.1	"	横長剝片	恒	線削	器片	恒		C01.4.a	• a n
13	50.4	22.0	4.9	6.8	"	縱長劉片	恒	線削	器片	椢		C01.3.	s c s
14	49.7	29.8	7.1	10.7	"	縱長劉片	恒	遍	器片	更		C03.2.d	u p ·
15	85.5	46.3	17.7	67.5	"	不定形剝片	直内	線削	器	更		C1.2.b n	p n
91	93.0	69.1	5.8	37.3	"	横長劉片	长	湾削	器	更		C 05-2-	u p ·
17	36.4	29.6	9.6	10.6	"	不定形剝片	E	形円形播	器皿	更	截断面ある石器の素材とも考えられる。	C1.2. c	s o
18	56.7	40.8	5.3	14.8	"	統長劉片	田	形用形盤	器片	更		C04•3•b n	n q •
19	81.1	43.0	8.6	30.9	"	統長剣子	田	田形猫	器片	垣		C 05•2• b	s q ·
20	106.1	75.4	22.7	168.0	"	横長剝片石核	外内	海河	器	回	石斧の可能性もある。	C01.4.c	s o
21	73.6	35.1	10.7	22.3	"	横長剝片	K	湾削	器片	更	石錐の可能性もある。	C1-4-b	b n
22	55.9	24.3	11.7	12.3	"	翼状剝片					(使用痕ある剝片)	C1.2. c	ဖ ပ
23	58.6	21.4	11.4	12.6	"	横長剝片					ルナイン形石器である。	第2トレンチ	+ / /
24	46.1	18.7	4.7	4.1	"	翼状剝片		_			//	C01-2-b	· p s
25	39.5		5.6	4.3	"	横長剝片			-		"	C01-4-d	u p•
26	55.7	40.3	8.8	16.9	"	横長剝片			_		"	C1.3. c	s ɔ

(削器・播器)

‡ -1	E E E E	C01.1.as	C02.2.cn	C05.2.ds
H H	ħ			
#		(使用痕ある剝片)	m	
**	組			桓
H	田田			址
盖分种雕	調金工厂			器順
	人部で添			直線
‡ #	*	横長剝片	横長剝片	横長剝片
	T E	サヌカイト	"	11
0 : 11:	# # #	2.9	6.7	28.4
	が見	5.8	8.0	10.1
	雪	22.0	22.1	42.6
洪	が見	36.0	44.1	8.19
美国	A 居 □	22	28	29

楔状石器計測表 第43表

C02•2•an C01.2.cs 横長剝片石核 C02•4•a n C06.2.d n C01.2.cn C02·1·cn C02.2.as 片 C04·2·bs 片 C1·3·bn C1.3.bn 十 地) B01•n H 横長剝片石核 不定形剣片 北 ¥ 丞 丞 礟 聚 岷 展 岷 岷 ₩ 颧 顜 澿 靝 二次調整ある剝片計測表 サヌカイ ~ ~ = = ~ ~ ~ = ~ 户 22.5 19.9 16.8 30.6 14.8 2.3 2.1 3.4 3.2 6.7 13.3 12.8 11.0 9.6 8.1 を動 뺔 34.6 38.8 26.0 27.0 酃 36. 32. 16. 13. 22. 20. 20. 51.9 妝 51.1 41.6 62.0 7 43.3 က 巡 第44表 42. 32. 83. 29. 29. 28. 漢 図 番 വ 2 က 4 9 10 Π

低

40€ C04.4.as C03•1•d n C06.2.cn C01.3. cn C04.2.b n C01.3.as C01.2.bs C01-4-an C03.1.bs C04·3·an C04.4.bn C01.3.cn C01.2.bs C05-2-an C02.3.as C01-4-ds C04.3.an C02-3-as C02.4.cs C4-4. c n C1.2.bs C1.3.dn C1-4.cs C1.1.a s C05.2.d 型 +1  $\Xi$  $\checkmark$ R ~ = = = ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ = ~ = ~ X 石 9 10.9 4.5 10.4 5.212.6 161.0 24.8 重重 4.8 4.5 4.5 3.2 8.9 |3.1|3.2 5.6 5.8 4.9 19.1 3.7 26. 140. 29. 10.0 19.6 5.0 6.1 7.2 8.8 7.2 7.6 9.0 4.8 6.0 8.2 5.5 8.2 6.8 4.8 4.7 5.6 5.8 3.8 5. 12. 9. 15. 30. 雪 17.7 30.9 26.9 30.1 21.021.2 97.9 21.5 32.8 22.8 48.9 72.6 22.1 靊 24. 33. 52.26. 26. 38. 28. 32. 19. 72. 30. 23. 50 37.9 27.1 41.6 8.06 39.0 2 9 0 42.1 24.8 27.8 33.5 33.9 37.0 32.4 17.4 40.3 34.5 70 19. 30. 20. 25. 21. 38 22. 27 36. 飒 40. 59. 漢図籍 影図号 10 12 13 14 15 16 2 2 9  $\infty$ 6 11 17 18 19 21 23 24 25 က 4 20 22 26

14   14   14   15   15   15   15   15	無	4	뀨	,,,,		明		剝離	娯	4		49		剣	離痕	朝	13 14
14   14   15   15   15   15   15   15	<u>"m</u>		単れ	中	が野	1			雷	ĸ		S.		翼状剝片	横長剝片	番	
		翼状剝片石核	79				727	23.4		I	分厚い	背面	山形に調整	П	I	椢	
	-	ll l	8.69	43.	15.		ll ll			<b>第</b>	分厚い		山形に調整	1	I	ı	C02.4.bn
7.05   56.5   58.1   47.1   7.0   28.4   57.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5   97.5		"		38.	20	57.5	"			₩-	分厚い	ı	山形に調整	1	I	面調整	C1.2.
1978   1974   1978   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   197		"		26.		47.1	"		57.6	1		背面上端	山形に調整	1	ı	ı	C02.2.d s
19   19   19   19   19   19   19   19		11	43.6		13.	22.0	"				分厚い		山形に調整	2	I	I	C03•3• c n
(1952年 1974   48.2   79.4   48.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.2   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4   79.4		"		43.	16.	37.7	"		9.	ところどころに	分厚い		山形に調整	2	1	1	C1.1.d n
19   19   19   19   19   19   19   19		"		30	12.	23.0	"		2			$\sim$		1	I	ı	C02.3.bs
## (4.2) 17.9 (3.5 a) 10.2 (3.5 a) 1.0 (3.4 (高商店)		"	9.69				"	انــ نــ ا	4	作業面寄りの下端に 近い背面	分厚い	1	山形に調整	2	(1)	l	C02.2.an
#(長利) [15] [2.3] [2.3] [2.3] [16] [2.4] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8] [4.8]		"	72.1		17.		ll		53.4	底面右側		I	山形に調整	1	ı	ı	C01.3.ds
(1) (2.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5   22.5		長剝片	59.	33.	20.		"				分厚い			1	က	1	C01.2.cn
(1945年 1947年 1945年 1947年 1945年 1944年 1941年 1944年 1945年 1944年		"		32.	13.		"		31.6	ı		1	綾	ı	2	ſ	C01.2.bs
(8.6)         (8.1)         (17.0)         (8.2)         (8.2)         (8.6)         (17.0)         (8.2)         (8.2)         (17.0)         (8.2)         (17.0)         (8.2)         (17.0)         (8.2)         (17.0)         (8.2)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)         (17.0)		"		35.	20		"	29.3 22.2	33.3 68.9	2一部	分厚い	やや下端寄! 玄面の間に-	数	l	rc		C1.3.bs
1.     1.   1.   1.   1.   1.   1.		"		36.		17.0	"	22.7	50.0	1		-	劉 離,	I	1	ı	C05.2.bn
1		"		31.	16.		"		35.9		分厚い	_	灩	1	က	1	i .
1		"	54.5	36		30.0	"		33.3		分厚い		灩	I	4	ı	C04.2.cn
() () () () () () () () () () () () () (		"		39	14		"		47.5	下端に一部		背面左上端部	灩	I	2	1	C01.2.bn
n         47.7         38.3         13.8         10.3         19.4         38.0         上端化一部 有面有下端         分厚い         背面左上端         数離<         一         2         2         上端化一部 18.4         51.7         背面右下端         分厚い         背面左上端         類離         一         2         背面右下端           n         70.3         42.2         22.6         117.0         n         43.0         51.7         背面在上端化一部         分厚い         背面左上端         9         23.0         43.7         背面在上端化一部         分厚い         有面         4         2         43.7         背面在上端化一部         分厚い         有面         4         2         43.7         下端化一部         分厚い         有面         4         2         43.7         下端化一部         分厚い         有面         4         2         43.7         上端化一部         分厚い         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4		"		28.	12.		"	14.9	7		分厚い	-	,	ı	2	1	C03.2.cn
》         101.6         62.2         22.6         117.0         》         49.0         51.7         背面左上端化一部         分厚 い         背面左上端         新離面         一         2         背面左上端化一部         分厚 い         背面左上端         新離面         上         2         背面左上端化一部         分厚 い         新雕面         上         一         3         上         一         3         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上		"	47.7	38.	13		"	19.4	38.0		分厚い		灩	1	2	1	C03.2.bn
別         70.3         42.3         20.6         別         23.0         43.7 背面左上端に一部         分厚い         一         後         上         一         3         一           別         55.2         29.4         14.5         17.6         別         20.7         36.7         上端に一部         分厚い         背面左側         機         上         一         3         一           別         53.5         30.1         18.4         22.1         別         20.7         25.1         上端に一部         分厚い         一         機         上         一         4         一         4         一         4         4         31.3         16.7         20.3         上端に一部         分厚い         当面左半分         機         上         一         4         一         4         4         一         4         4         1         3         2         2         2         4         4         1         4         4         3         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4 <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>62</td> <td>22.6</td> <td>117.0</td> <td>"</td> <td>49.0 18.4</td> <td><math>\sim</math></td> <td>細</td> <td>分厚い</td> <td></td> <td>雛</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>桓</td> <td>C1.2.</td>		"		62	22.6	117.0	"	49.0 18.4	$\sim$	細	分厚い		雛	1	2	桓	C1.2.
》         55.2         29.4         14.5         17.6         》         20.7         上端化一部         分厚い         背面左側         數 離 面         一         2           》         53.5         30.1         18.4         22.1         》         20.7         25.1         上端化一部         分厚い         一         核         上         4         4           》         48.4         31.3         16.7         20.3         》         17.0         26.1         上端化一部         分厚い         計面化調整         一         4         一         4         一         4         上         一         4         上         一         4         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上         上 <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>42.</td> <td>22.</td> <td>50.6</td> <td>"</td> <td><math>\frac{23.0}{20.8}</math></td> <td>7</td> <td>똚</td> <td>分厚い</td> <td>-</td> <td></td> <td>1</td> <td>က</td> <td>1</td> <td>C04.2.a n</td>		"		42.	22.	50.6	"	$\frac{23.0}{20.8}$	7	똚	分厚い	-		1	က	1	C04.2.a n
(2.7 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 上端に一部 分厚い 一 稜 上 一 4 一 4 一 4 一 48.4 31.3 16.7 20.3		"		29	14.	17.6	"	20.7		—部	分厚い		灩	1	2	1	C03.2.a s
(a)		"		93	18		"	20.7 16.0		—報	分厚い	1		1	4	1	C03.1.ds
(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		"			16.		"	17.0	26.1	1	分厚い	I <sub>÷</sub>	山形に調整	1	က	1	C04.2.bs
(2) (2) (2) (2) (2) (3) (2) (3) (3) (3) (4) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		"		59.	25.	59.1	"	32.2	54.7	—一部	分厚い		灩	1	П	1.	C05.2.an
10.0   10.0   10.0   10.1   10.1   10.1   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.2   10.		"	49.3	55.3		27.9		26.4	32.2	-	分厚い	1	灩	1	1,	1.	C05.2.bn
	1	11		30	12.	25.1		10.8	37.8 30.0	1		-	羅	_	2	1	C03.2.cn

(権長劉片石核)

4	田田田田	C04.3.bn	B01• n	C1.2.a s
1	1. 學 政	ı	1	1
旗	横長剝片	က	2	П
劉雕	翼状剝片	ı	ı	I
	<u> </u>	羅	겍	괵
<u> </u>	∓	礟	极	鞍
<b>1</b>	国 《 皿	背面下端	l	1
	U L	分厚い	分厚い	分厚い
ŧ	品 K	背面左側に一部	背面左側に一部	下端に一部
羅道	海	51.8 67.1	18.5	56.8
⑧	単れ	24. 18.	$\frac{14.2}{17.1}$	
	Á M	サヌカイト	"	"
	<b>≡</b>	38.3	51.0	82.7
叫	が雪	15.8	24.1	34.5
	圖	36.2	42.3	54.3
拼	ずれる	75.0	44.7	71.2
4	Ĺ	横長剝片石核	" "	"
美河	型中	27	28	29

Ā.	#	W	m):							į	4		_		$\mid$	H	
K N N	Ą	7	<b>T</b>	和	申	万	<b>時</b> 左 度	太 無	7 短 器 数	4	¥	里u		矛			七 幸 七
細叩	真な	圖	が動		∯ ∯		X Z X		₹ <u>च</u>	田部	打面部	数	数				<del>1</del>
1	(23.2) 24.8	55.0	7.2	16.2	10.4	サヌカイト	下端部破損	主要剝離面の打点は山形に調整された頂点にある。	粗く3面施す。	外灣	三	က	-	回角	一	128° C	C02•2•as
2	(26.8)	57.8	5.6	19.5	6.4	"	西端破損, 刃部 を一部欠失。	復元すると約8cmの大形。背面打面側に 主要剝離面からの剝離痕あり。	粗く施した後。部 分的に再度調整を 施す。	<b>本</b>	三	1	H	<b>4</b> 0	一一一	126° C	C02-4-cs
က	(20.0)	54.5	8.0	11.5	8.8	u u	- 別	上端は尖る。底面は自然面。	商か。	外灣	三	1	П	回角	一	128° C	C1.1.cs
4	(12.5)	61.8	5.6	19.5	6.4	n	完形	背面打面側には,多数のネガティブな剣 離面あり。底面下半部は折れ面を利用か。	中央部に主要剝離 面からの加撃による小剝離あり。	日	直線状	1	П	平行四辺形		125° C	C03.2.ds
5	(17.4) $19.4$	48.2	7.9	15.4	7.0	. "	下端部破損 上端は尖らない	背面打面側下半部に主要剝離面からの剝 離痕あり。底面は下部方向からの加撃。	丁寧な調整が上半 部に見られる。	直線状	三	2		四角形(	(?)	132° C	C04•1•ds
9	(14.6)	38.4	7.0	12.6	3.8	"	下端部破損	上端は尖らない。	細かい調整は主要 剝離面剝離後に施っ されたものか。	外灣	直線状	П	H	平行四辺形		131° C	C04.2.ds
7	(15.4) $17.0$	32.4	4.0	17.3	2.4	<i>((</i>	可端破損	底面は下部に僅かに残る。	全体に丁寧に施す。	直線状	日	-		(三角形)		.66	C1.3. c s
∞	19.3	41.4	7.4	ı	4.9	ll l	下端部破損	主要剝離面の打点は除去されている。	上半部は自然面。下 部に主要剝離面から の二次調整あり。	直線状	口形	-	Н	四角	一一一一	113° C	C1•1•b s
6	(17.6) $18.4$	41.8	8.4	15.6	8.1	"	下端部破損 刃部一部欠失	上端に自然面残る。		外灣	三	П	н	回	一	138° C	C02.2.a s
10	(20.3)	53.9	6.8	23.3	7.2	"	刃部を僅かに欠 失。	底面は上半部にのみ残る。	金体に丁寧に施す。	外灣	三形	-	2	三三年	一	121° C	C01.1.cs
11	20.4	48.1	7.2	ı	7.4	ll	下端部破損。	上端は尖る。	全体に施す。	<b>外</b>	直線状	<b>—</b>	2	平行四辺形	<u>米</u>	<u> </u>	C 04.4. d n
12	(23.3) 25.4	68.2	16.6	25.2	27.6	" "	下端部破損。	上端は尖る。肉厚で大形。背面打面側に 主要剝離面からの剝離痕あり。	上端部は幅広で大きい剣雕。下部付近で一時消滅。	<b>本</b>	正 形	က	П	<b>一</b> 回	一	125° C	C02.1.bs
13	(25.4) $27.1$	63.2	9.5	12.1	15.5	"	刃部を一部欠 先。	上端は尖る。下端は薄く幅広。		外灣	山形	4	-	四	第   12	122° C	C04.2. c s
14	(16.9) $19.0$	57.3	8.6	12.0	8.2	"	刃部を一部欠 失。	両端が尖らない。主要剝離面の打点は山 形に調整された頂点にある。	大きく2面。	直線状	二 形	က	Н	田	第	128° C	C02-2-bn
15	(14.5) 24.9	56.9	5.6	11.5	8.4	ll	下端部破損	主要剝離面の打点は山形に調整された頂 点にある。	大きく2面。	直線状	五	2	н	平行四辺形	ļ	119° C	C03.1.cn
16	(20.0)	48.5	7.0	17.0	8.2	11	完形?	上端が幅広。	粗く施す。	直線状	正 鬼	က	-	平行四辺形		127° C	C02-1-cn
17	19.9	44.2	5.6	ı	5.2	"	上端破損	下端部に自然面を残す。主要剝離面の打 点は折損によって除去される。	下部に残る。	文章	直線状	က	-	平行四辺形		126° C	C01-1-c s
													1			$\ $	

				,							,
1 5	田田田田	C1•2• c n	C01.2.d s	C1.1.a s	C1•1•d s	B 1 • d s	C03-4-d n	C02.3.a s	C02.3. c n	C02-1-cn	C05-2-d s
多離	角度	128° (	129° (	134° (	104° (	109° I	97° (	102° (	106° (	93,	122 (
	—— 国	炭	发	彩	光	炭	影	<b>》</b>	<b>》</b>	<b>影</b>	<b>影</b>
		便	年	毎	平行四辺形	餌	無	便	無		無
<u> </u>	<b>E</b>	图	图	囙		国	囙	111	囯	<b>√</b> □	图
底面	数	-	-	2	なって	なった	H	な フ	なって	۲ ک	
里 u	数	က	4	က	-	-	-	-	-	2	2
*	国部	炭	光	炭	一一	一	直線状	光	**************************************		光
ŀ	部打	- <del>T</del>	<u>∓</u>	丁 蒙	蒙	愛	恒	<u>∓</u>	(株) 		原順
为	区	直線状	直線状	* *	长	*	本	直線状	*	**	**
H H	打阻調整	全体に施す。	全体に細かく施す。	全体に粗く施す。	大きく2面施す。両端の細かい調整は主要剝離面剝離後か。	全体に丁寧に施す。	全体に施す。	全体に施す。	上端部は組かく。 中央部は大きい。	全体に粗く施す。	全体に粗く施す。
	形	背面打面側下部に複数の小剝離痕あり。	背面打面側に複数の小剝離痕が見られ 全体に細かる。	幅広。	背面は大きなネグ面が1面で底面は見られない。	背面は大きなネガ面が1面。	上端は尖る。底面は細く僅かに残る。	上端は尖る。背面は大きなネガ面。1面 で底面は見られない。	上端は尖る。背面は大きなネガ面1面の み。	背面打面側上半部に複数の剝離面あり。	両端が尖らない。背面下端部には末端方 向からの剝離面あり。
. ↓	<b>次</b> 任 艮	両端破損。	両端破損。刃部 を僅かに欠失。	両端破損	両端を僅かに欠 失。	両端破損。 刃部 の一部欠失。	下端部破損。 刃部の一部欠失。	下端部破損。	下端部破損。	刃部側上端部及び下端部破損。	刃部を一部欠 失。
Ħ	EK .	<del>4</del>									班
Н	Ė.	サヌカ	"	"	"	11	ll .	"	"	"	筑
0) 1 <del> </del> E	新 新	7.9	4.2	10.8	6.3	8.2	4.0	5.3	3.4	8.2	7.5
3 10	U B	18.0	13.0	20.0	1	18.7	I	I	ı	ı	11.5
mimil	を変している。	7.3	6.5	7.8	6.8	6.8	5.8	7.6	4.0	7.6	8.3
	中	40.1	33.2	42.7	47.1	52.0	44.7	43.8	41.5	56.4	47.9
郑	が	(18.6)	(12.0)	(23.8)	(19.8)	(18.7) 22.6	(19.8)	(19.5)	18.8	(21.6)	(14.1)
美麗	<b>Y</b> 型	18 (	) 61	30 (	21 (	22	23 (	24 (	25	) 5e	27 (
ńμ	N√∏				أحبسا						

第47表 横長剝片計測表

4	型 呼	u p•?	s q •1	s 2 • 5	u p•1	s q •1	s p • 2	S																			
=	H H	C06-2-d	C02-1-b	C 04 • 2 •	C 02-1-	C03•1•b	C04.2.d	B1• d																			
劉離	角度	128°	108°	124°	129°	114°	114°	105°																			
	<u></u>	サヌカイト	シッツ 質田 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		"	ll ll	ll ll	"																			
H	画	13.0	1.3	3.0	5.0	2.7	5.1	14.2																			
	が	9.2	4.8	7.8	9.2	5.8	8.8	10.3																			
	雷	48.1	22.2	31.5	36.3	29.2	25.5	47.4																			
郱	が『戦	35.9	14.3	13.4	19.0	18.7	26.3	30.2																			
実	海 - 哈	22	82	59	30	31	32	33																			
4	日日紀正	C1.1.cn	C04.1.dn	C02-4-cn	C02-2-bn	C01-1-as	C04-4-d n	C02.3.a s	C04-2-d n	C06-2-cn	C02.2.an	C03.1.cn	C03•3•d n	C1-4-d s	C06-2-cn	C01.2.an	C01.2.a s	C01-4-cn	C04.4.bn	C01-4-a n	C02-1-ds	C04.1.dn	C1.1.as	C02.1.cn	C02-4-bn	C02.1.d n	C03-2-cs
劉羅	角度	137	126°	126°	124°	136°	128°	127°	127°	132°	134°	125°	123°	130°	131°	118°	115	127°	120°	128°	131°	127°	116°	108°	143°	134°	123°
l	Ġ Œ	サヌカイト	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
# mj	明	4.5	11.2	3.7	5.6	6.7	13.2	15.8	18.7	5.2	6.9	8.3	18.1	10.5	7.5	15.6	25.6	7.6	12.6	41.6	22.1	6.2	1.1	5.5	7.6	14.3	9.3
山畔	かり	7.6	12.1	5.7	7.3	5.9	8.7	10.5	9.4	5.5	9.7	9.3	9.4	9.4	8.4	9.3	13.0	8.7	9.3	14.9	11.9	8.5	3.5	5.1	5.8	10.2	9.3
	響	39.7	47.0	30.7	36.2	43.9	59.8	59.1	68.4	53.1	47.8	63.0	61.3	80.0	44.6	58.4	54.3	45.4	64.1	0.79	58.4	40.5	34.3	49.8	45.2	42.8	56.3
郱	戦	19.8	28.3	24.6	18.4	23.8	29.3	28.9	29.1	21.5	22.1	25.6	36.8	20.4	23.6	34.5	33.4	22.9	38.7	42.2	32.4	20.7	11.3	22.0	24.8	30.4	31.1
美	四年	Н	2	3	4	2	9	7	∞	6	10	11	12	13	14	15	91	17	18	19	20	21	22	23	24	22	56

第48表 縦長剝片石核観察表

	Œ	s C	a n	п	s o	s p	S	s q	s p		s p		a s	s c	c n		c s	d n	ø	s o
١.	H H 関	C01-1-c	C 04.4.	C1.3.d	C 03•3•	C 04.2.d	C1.3.d	C03-1-b	C 02-1-	C01.2	C01-1-	B01.s	C01-1-	C 04 • 3 •	C 02-4-	B01.n	C 03.2.	C04.1.d	C1.1.c	C02-1-c
Ť	ħ																			
	<b>=</b>													大形の縦長剝片素材。	大形の縦長剝片素材。		不定形の剝片素材。		横長剝片石核転用。	縦長剝片石核素材。
1	風化反	恒	恒	硘	恒	恒.	迴	恒	恒	硘	恒	恒	硘	恒	1	1	1		恒	恒
画	柏	ĬΞ	ĹΤι	ĹŦı	ഥ	ĹΤΙ	ഥ	調整面	作業面	ĹŦŧ	ı	調整面	調整面	ポッ国	ポップ国	自然面	調整面	分割面	ı	.
间	左	ĹŦı	দ	দ	ഥ	ഥ	ഥ	ഥ	l 1	ഥ	分割面	作 分割 面	調整面	調整面		整然	調整面	作業面	I	_
H	亜	I I	国	回回	回回	回回	垣	垣	国里	垣	回回	国国	垣	垣	回回	垣	垣	画	垣	
1	₹	分割	分割	分割	分割	分割	調整	調整	調整	調整	分割	一 開 整	調整	調整	分割	響響	分割	分割	分割	
恒	型		11.6	15.4	11.8	16.4	15.6	13.4	11.1	14.6	15.0	19.9	9.0	11.3	35.0	14.0	16.2	11.0	16.3	
作業	が『	13.3	44.1	15.6	42.3	31.1	35.3	34.0 1	27.6	28.8	25.3 1	30.6	47.0	45.9	32.8	29.0	19.3	32.9	38.0 1	-
#	上 三 三 米	1	1	-	П	2	1	П	2	1	1	2	П	1	1	1	1	2	1	1
4i 7i	影	共	茶	茶	茶	长	共	茶	*	*	共	*	*	北	土	彩	彩	*		共
7.	¥	12	12	12	12	12	## ##	世	计件	一件	五	世	世	_	l l	田田	识	世	1	12
ä	4 J	サヌカイト 板	" 板	" 板	" 板	" 板	// // // // // // // // // // // // //	// // // // // // // // // // // // //	// 角	" 角	// // // // // // // // // // // // //	// 角	// // // // // // // // // // // // //	// (	// 海	// // // // // // // // // // // // //	# #	// 角	"	" 板
11	重重	_	35.3	27.9	43.9	120.0	14.3	12.5	19.4	20.6	27.8	53.2	50.9	61.4	68.1	31.0	20.5	24.3	114.0	574.0
	を冒	43.4	39.9	23.1	55.3	8.79	21.4	13.3	20.6	21.4	20.6	35.8	21.0	40.0	17.7	36.5	15.4	25.2	32.8	30.2
	響	13.1	16.8	16.9	12.2	23.8	16.2	24.9	19.0	17.2	24.4	22.6	25.8	20.5	47.9	16.5	35.7	19.3	33.2	116.9
郑	が 単	36.0	46.3	42.0	54.5	52.2	36.2	39.3	46.6	52.9	49.5	46.7	71.1	82.0	75.2	55.0	42.6	48.0	106.9	144.1
美圖	Δ Μ Γ——	1	2	3	4	2	9	7	∞	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

第49表 縦長剝片観察表

長き。         権益         手重         41         財 目 日         本         本         42         43         43         44         44         43         84         44         44         44         45         45         47         11.9         12.6         47         47         12.6         47         47         11.9         12.6         47         47         45.9         20.8         7.4         6.2         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77         77<	美運	郑		叫叫	1		ļ .	石核側面残存		繼	更	1	1		
4.8         1.1         1.2         6.9         4.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         6.0         7.0         6.0         7.0         6.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0 <th>⊠# □</th> <th>が冒</th> <th>唱</th> <th>れ<sup>E</sup> 団</th> <th>重重</th> <th></th> <th></th> <th>中</th> <th></th> <th></th> <th>翻</th> <th>東 石 英</th> <th><b>E</b></th> <th># H H ——</th> <th></th>	⊠# □	が冒	唱	れ <sup>E</sup> 団	重重			中			翻	東 石 英	<b>E</b>	# H H ——	
45         31.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0         4.0 <td>1</td> <td>43.8</td> <td>24.7</td> <td>11.9</td> <td>12.6</td> <td>サヌカイ</td> <td>餌</td> <td>ı</td> <td>ı</td> <td>0</td> <td></td> <td>硘</td> <td></td> <td>C 01.3.</td> <td></td>	1	43.8	24.7	11.9	12.6	サヌカイ	餌	ı	ı	0		硘		C 01.3.	
32. 3. 8. 9. 1. 8. 7. 8. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9. 9.	2	45.9	20.8			"	11	ı	1	0	1	"		C 02-3-	c n
8.1         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2         3.2 <td>3</td> <td></td> <td>15.7</td> <td></td> <td>4.5</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>ı</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>ı</td> <td>n</td> <td></td> <td>C 05.2.</td> <td>ပ</td>	3		15.7		4.5	"	"	ı	1	1	ı	n		C 05.2.	ပ
38.1         3.4         3.6         4.7         4.2         7.0         4.2         9.0         4.2         9.0         4.2         9.0         4.2         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0         9.0 </td <td>4</td> <td>52.3</td> <td>33.8</td> <td>9.1</td> <td></td> <td>u"</td> <td>11</td> <td>ı</td> <td> </td> <td>0</td> <td>1</td> <td>"</td> <td></td> <td>C 04•1•</td> <td></td>	4	52.3	33.8	9.1		u"	11	ı		0	1	"		C 04•1•	
38.1         13.1         10.6         8.1         n.	5	34.1	24.2	5.7		u u	11	ı	I	0	1	"		C1.2.a	l
6.81 8.2 6.0         6.5 6.0         6.7 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 6.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0         7.0 7.0	9	38.1	21.9		8.1	"	"	ı	1	0	1	"		C 02 • 1 •	1 65
49.1         56.2         9.6         13.3         1.0         4.0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0	7	38.8	26.0	9		"	11	-	1	0	1	"		C 02 • 1 •	-
6.84         18.7         18.7         18.8         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9         18.9 <t< td=""><td>∞</td><td>49.2</td><td>35.2</td><td>9.6</td><td>13.3</td><td>"</td><td></td><td>ı</td><td>1</td><td>0</td><td>ı</td><td>"</td><td></td><td>C 03•1•</td><td></td></t<>	∞	49.2	35.2	9.6	13.3	"		ı	1	0	ı	"		C 03•1•	
6.1.2         1.1.3         8.1.4         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         8.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7         9.1.7 <t< td=""><td>6</td><td>63.4</td><td>18.7</td><td>12.1</td><td>12.7</td><td>"</td><td>無</td><td>ı</td><td>1</td><td>1</td><td> </td><td>11</td><td></td><td>C 04.2.</td><td>n q</td></t<>	6	63.4	18.7	12.1	12.7	"	無	ı	1	1		11		C 04.2.	n q
48.9         18.5         6.4         8.7         8.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7         9.7<	10	51.2	16.1	11.9	8.1	"	" "	ı		0	ı	"		C 04 • 4 •	ત્ર
13.1         16.2         7.9         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0         7.0<	11		18.5	7.1	9.9	"	"	1	I	0	1	"		C01-1-	ں ا
43.9         14.2         7.6         5.2         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n <t< td=""><td>12</td><td>57.0</td><td>16.2</td><td>7.9</td><td>7.0</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>-</td><td>"</td><td></td><td>C1-4-d</td><td></td></t<>	12	57.0	16.2	7.9	7.0			1	1	0	-	"		C1-4-d	
41.9         6.6         7.8         5.3         %         %         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         —         — <th< td=""><td>13</td><td>48.9</td><td>14.2</td><td>7.6</td><td></td><td>"</td><td>"</td><td>1</td><td>ı</td><td>0</td><td>i</td><td>11</td><td></td><td>C02-1-</td><td>a n</td></th<>	13	48.9	14.2	7.6		"	"	1	ı	0	i	11		C02-1-	a n
46.2         17.5         6.8         5.3         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n <t< td=""><td>14</td><td>41.9</td><td>16.5</td><td>7.8</td><td></td><td>"</td><td>"</td><td>1</td><td>ı</td><td>1</td><td>. 1</td><td>"</td><td></td><td>C1.2.d</td><td></td></t<>	14	41.9	16.5	7.8		"	"	1	ı	1	. 1	"		C1.2.d	
71.1         24.8         9.4         16.5         n         三角形         一         n         当面に自然面。         C02-3-4           95.7         27.9         18.1         18.1         n         1         1         n         1         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n	15	46.2	17.5	9		"	11	ı	1	0	ı	"		C1.2.a	ı n
95.7         27.9         9.1         18.1         1         1         1         1         1         4         1         1         4         4         4         4         4         1         4         4         4         1         4         4         4         4         8         1         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         <	16	71.1	24.8	9.4	16.5	"	無		自然面	0	1	"		C 02 • 3 •	ا ہ
50.6         18.4         8.1         9.0         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n         n <t< td=""><td>17</td><td>95.7</td><td>27.9</td><td></td><td>18.1</td><td>"</td><td>"</td><td>1</td><td>1</td><td>ı</td><td>1</td><td></td><td>背面に自然面。</td><td>C 04 • 2 •</td><td></td></t<>	17	95.7	27.9		18.1	"	"	1	1	ı	1		背面に自然面。	C 04 • 2 •	
50.5         16.8         9.7         10.5         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         m         <	18	50.6	18.4	8.1	9.0	"		1	ı	0	ı	"		C01•3•	n d
51.2         23.9         8.6         11.9         n         n         a         n         a         n         a         n         a         l         n         dunction         a         cors. a           59.8         19.3         11.4         18.6         n         n         n         a         a         a         a         cors. a	19	50.5	16.8	9.7	10.5	"	"	ľ	調整	0	1	"		C 05•2•	
59.8         19.3         11.4         18.6         n         日 角 形         F         F         D         自然面         n         有側面に一部自然面。         C05-2-a         C05-2-a           47.0         25.5         10.5         12.8         n         五 角 形         計量面 調整面 調整面 調整面         ○         有         高         C06-2-a         C06-2-a           58.0         9.1         8.2         4.9         n         四 角 形         F         F         0         -         n         計面に自然面。         C06-2-a         C06-2-a           22.6         25.8         5.4         2.4         n)質如治         一         D         中         加         計面に自然面。         C06-2-a         C06-2-a           26.2         18.4         4.8         1.8         1.8         日         D         日         D         日         D         日         D         D         日         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D         D <td>20</td> <td>51.2</td> <td>23.9</td> <td>9.8</td> <td>11.9</td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> <td>調整</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>"</td> <td></td> <td>C1.3. c</td> <td></td>	20	51.2	23.9	9.8	11.9	"	"		調整	0	1	"		C1.3. c	
47.0       25.5       10.5       12.8       n       五角形       調整面       調整面       調整面       調整面       調整面       調整面       38.2       4.9       n       四角形       下       n       n       jenciesta       28.2       n       四角形       下       n       n       jenciesta	21	59.8	19.3	11.4		"	倒	ഥ	ᅜ		自然面	"		C 05•2•	B
58.0       9.1       8.2       4.9       n       四角形       F       F       n       n       背面に自然面。       C05-2・a       C05-2・a         74.8       61.2       18.7       92.3       n       n       F       F       P       n       p       p       p       C04-3・a         22.6       25.8       5.4       2.4       n)質安山岩       方       所       所       n       p       p       p       c04-3・a       c04-3・a </td <td>22</td> <td>47.0</td> <td>25.5</td> <td>10.5</td> <td>12.8</td> <td>"</td> <td>角形</td> <td>垣</td> <td>調整面</td> <td>0</td> <td>单</td> <td>恒</td> <td></td> <td>C 06•2•</td> <td>u p</td>	22	47.0	25.5	10.5	12.8	"	角形	垣	調整面	0	单	恒		C 06•2•	u p
74.8       61.2       18.7       92.3       1       F       F       F       F       N       F       F       N       F       F       N       F       F       N       F       F       N       F       N       F       F       N       F       N       F       N       F       N       F       N       F       N       F       N       F       N       F       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N       N	23	58.0	9.1		4.9	"	無	ĹŢij	ഥ	0		"		C 05-2-	l a
22.6       25.8       5.4       2.4       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8       1.8 <t< td=""><td>24</td><td>74.8</td><td>61.2</td><td>18.7</td><td>92.3</td><td>"</td><td>"</td><td>ഥ</td><td>ഥ</td><td>0</td><td>ı</td><td>11</td><td>背面に自然面。</td><td>C 04 • 3 •</td><td>ಡ</td></t<>	24	74.8	61.2	18.7	92.3	"	"	ഥ	ഥ	0	ı	11	背面に自然面。	C 04 • 3 •	ಡ
26.2   18.4   4.8   1.8	25	22.6	25.8	5.4	4.	ハリ質安山岩	三角	自然面	1		自然面			C 02-1-	
	56	26.2	18.4	4.8	1.8	"		自然面	1	0		1		C01.2.	a n

(装制型)

717	日 日 点	C01.4.cs
#	ħ	
#2		
# 4/ 臣	馬10万	ı
打面	調整	自然面
主要剝離	面打点	0
面残存	左	I
石核側	右	自然面
Н		角形
Ä	<u> </u>	11] 판
7.	D D	ハリ質安山岩
相同	重	2.7
<b>□</b> ■	む■	7.8
mimil	<b>■</b>	20.0
洪	東は	22.9
無運	△帯 □	27

19   19   19   19   19   19   19   19	7	H 足 足 記	C1.1.bs	B01.s	C04-4-bn	52トレンチ	C1.3.ds	C05.2.d n	C01.2. c n	C04.2.cn	C04.2.bs	C01.2.d n	C04.2.cs	C01-1-bs	C02•1•a n	B1• s	C03.2.b n	C1.3.d n	B1.dn	C02.2.dn	C01.2.cn	C01-1-ds	C04.2.ds	C02.2.bs	
10   10   10   10   10   10   10   10	Ĥ	h	0	B	3	こんど残	作業面転 あり。	0	回 配 配	0	0		<u> </u>		_			O	B	S	_	O .			
10   10   10   10   10   10   10   10	14	<b>=</b>	自然面	自然面	1			1	—————————————————————————————————————	調整面 (右側面)	自然面					皿		調整面 (左側面)	1	1	- 作業を 性を を を を を を を を を を を を を を を を を を	: 1			
17   18   18   18   19   19   19   19   19			自然面	分割面 (左側面)	自然面除去 (上面)	自然面	1	ı	分割面	1	自然面		自然面除去 (右側面)		自然面		然面	1	自然面	自然面除去 (左側面)	1	自然面	調整面 (上面)	自然面	
編         本         作業         所職         打面 調整           編         事金         本         原本         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有         有	愈	画	自然面除去(上面) 分割面+調整(正面)	<u></u> ※ 面,	+調整(	分割面自然面	自然面 分割面	+調整(下 +調整(正	分割面 自然面除去(上面)	分割面 自然面	自然面 分割面		分割面+調整(下面) 分割面+調整(上面)		分割面 分割面+調整(上面)	分割面分割面	分割面			分割面+調整(上面,後面) 自然面+分割面	<u>面+調整(</u> 面	+調整(上面, +調整(下方)	分割面 粉整 (後面)	調整 (上面) 自然面除去 (上面)	(法) 個国、
軸         信息         石         質         自然面         素材         所業         到職額         打面           11.6         20.9         10.9 小/實安山岩         有         小礫の         1         11.8         6.0         1           10.0         10.9         10.9         小/賣安山岩         有         小礫の         1         11.8         6.0         1           11.6.4         12.3         10.8         10.9         1         4         4         2         1         4         4         2         1         4         4         1         4         4         2         1         4         4         1         4         4         1         4         4         1         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4 <td< td=""><td>HE HE</td><td>田田</td><td>(正風)</td><td></td><td></td><td>-</td><td>•</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>左側面)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td>!</td></td<>	HE HE	田田	(正風)			-	•						左側面)										-		!
幅         重         面         本材         作業         別職           11.6         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a         a<	上	打 国												н		<u> </u>				1					
11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6   11.6		響		4.	5.		5.	3.		9.		7	4.	ن	4	3.	3.	11.		6.	7	4			
車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車         車	劉	☆■	11.8		16.1		14.3		9.9					12.8	18.8	7.6	26.9	20.8	31.1	21.0	7.2	12.7		9.3	
幅         厚き         重量         石 質 自然面           11.6         10.9         ハリ質女山岩 有           13.9         20.9         10.9         ハリ質女山岩 有           10.0         10.9         ハリ質女山岩 有           12.9         4.2         ル         有           14.4         14.2         ル         有           15.5         32.0         7.2         ル         有           16.0         11.9         2.7         ル         有           16.1         11.4         ル         有         有           16.0         11.4         ル         有         有           11.5         12.2         ル         有         1           12.1         13.4         14.1         ル         有           12.1         14.3         3.8         ル         有           10.9         14.1         ル         有 <t< td=""><td><u>#</u></td><td></td><td>0 1</td><td>1</td><td>-T</td><td>1</td><td>? 1</td><td><b>能</b> 1</td><td>1</td><td>1</td><td>-T</td><td>1</td><td>TH</td><td>#</td><td>1</td><td>H</td><td>1</td><td><u>‡</u></td><td>1</td><td>1</td><td>##! </td><td>7H</td><td>H</td><td>##</td><td></td></t<>	<u>#</u>		0 1	1	-T	1	? 1	<b>能</b> 1	1	1	-T	1	TH	#	1	H	1	<u>‡</u>	1	1	##! 	7H	H	##	
11.6   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5			小礫・井	1原																				.,	
11.6   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.8   10.7   10.9   10.7   10.9   10.7   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5   10.5	口 然 丽	三	柜	乍	柜	柜	柜	恒	桓	恒	佈	申	桓	価	価	乍	価	柜	橅	乍	極	柜	無	極	
11:6:5   14:4   14:2   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:5   15:			ハリ質安山岩	"	"	11	11	11	"	<i>"</i>	11	"	"	"	<i>"</i>	11	"	"	"	"	"	"	"	"	
11.6   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0   11.0	1	# %	6	10.8	4	5.6	7.2	9.1	2.7	11.4	17.3	12.2	20.0	2.3	3.8	5.3	3.7	7.3	5.1	8.2	14.1	5.1	14.1	7.5	
		皿				13.			11.	32.	29.	- 1	_						14	24.		29	30	1 1	
1 - 그씨 열망없었고않았었고[고]고]고[감성왕[양왕[왕[왕[왕[왕[왕[왕[왕]하]하]하]하]하]하]하]하]하]하]하]하]	珙					9 9		- 1 1				- 1	1 1	-	1 1					1	1 1	1 1			
Name	演図														$\dashv$						-			$\perp$	

(注) 側面 後面 後面 下面 <sup>3</sup> の項( )内は加撃方向 下面 <sup>3</sup>

法量 上段は作業面 下段は石核

1	田工程		C03.2.cs	C04.2.as	C01-1-as	C04.4.a s	C03•4•an	C04.4.as	C04.2.as	C03.3.cs	C05.2.as	C01.2.cn	C04.2.a n	C01.3.bs	C01.3.bs	C01.3. c n	C01•3•bn	C02-4-cn	C02-1-bs	C 04.2. b n	C02.4.dn	C03•1•bn	C03.3.a s	F業面 石核
	重								作業面転移の可能 性あり。	勝器の可能性あ √0。														法量 上段は作業面 下段は石核
ł	<u> </u>	4	目然国	自然面	1	自然面	I	自然面	自然面除去 (左側面右側 面)	ı	自然面+調整(後面)	1	1	調整(正面)	1	調整 (正面,右側面)	自然面+調整(右側面)	調整 (左側面)	自然面	自然面	自然面	自然面	自然面	
	後 国	1	目然回	作業面	自然面	自然面	1	自然面	自然面一部 除去(下面)	自然面	折損面	自然面除去 (石側面)	調整面(右側面)	分割面	分割面	自然面+調整 (上面,下面)	分割面	分割面	1	I	-	自然面	-	1撃方向
右側面	左側面	分割面+調整(下面)	自然面	自然面+分割面(上面) 分割面+調整(上面)	分割面分割面	分割面分割面	調整(おもに正面からだが不定) 分割面	分割面+調整(上面,下面) 分割面+調整(下面)	分割面+調整(下面,後面) 分割面	分割面 自然面	分割面 分割面+新しい剝離?(下面)	分割面+調整(上面) 自然面除去(正面)	自然面除去(上面) 分割面	調整(上面,下面) 分割面+調整(下面)	調整(上面)+自然面除去(下方)分割面	調整(おもに上面だが正面と下面も) 分割面	分割面+調整(下面) 分割面+調整(下面)	調整(上面,下面) 分割面	自然面 分割面	自然面自然面	自然面折損面	<u>分割面?折面とも</u> 自然面	自然面自然面一部除去(上面)	(注) 側面 後面 後面 <sup>3</sup> の項 ( ) 内は加撃方向 下面 <sup>3</sup> 下面
H	打回調整		分割面	分割面	(更更)	(右側面)	正更	正里	正更	(正面,右側面)	折損面	折損面	(左側面)	(正面)	分割面	(正面)	(左側面,正面)	分割面	分割面(正面)	分割面	分割面	(右側面)	分割面(正面)	
}	型国	١,	1	-	П	-	,	-	П	2	1	П	1	П	П		ج ج	1	2	1	П	2 ?	2 ?	
湞	冒		4.9	7.0	5.7	5.7	4.0	3.3	5.4	5.5	5.6	3.6	3.2	4.1	5.0	4.7	7.1	7.6	9.1	8.4	7.0	5.0	6.6	
彩雕	が	<b>日</b> (	19.9	24.0	15.8	13.2	7.2	6.5	13.6	19.3	15.9	7.3	12.3	23.7	12.0	15.2	19.7	21.4	9.6	6.7	8.8	17.9	11.3	
作業		ϯ,	1	2		-	н	-	2	2 5	1	П	П		н	П	П	1	ĭ	П	1	1	1	
	素 材 		¥	世	茶	"	"	"	"	"	"	型	茶	"	繖	型	世	¥	퐮	茶	茶	鎌	关	
	終 国 		極	~								年	放		<b>一</b>	角	角	长板	角			角	板	
4	<u></u> Ⅲ		一	価	価	一位	一作	——	恒	柜	極	柜	極	· #	- 神	有	自	#	一	車	価	单	有	
	<b>中</b>	1 1 1	ハリ質安山岩	"	"	"	11	11	"	ll .	11	"	"	サヌカイト	ハリ質安山岩	サヌカイト	ハリ質安山岩	サヌカイト	ハリ質安山岩	11	11	"	11	
I Y		bú t	8.7	6.6	2.1	4.3	4.4	5.7	11.9	6.5	8.9	13.5	5.8	3.8	3.4	13.4	12.6	11.1	7.6	14.9	14.8	22.6	14.5	
	か野		23.7	19.1				21.2	11.2	25.5	31.2	27.2	22.0	19.8	16.6	32.0	31.1	15.1	13.1	19.1	12.6	30.7	13.5	
104	中	1	1 1	15.4			1 1			5.3		-					]	- 1 1	- 1	1 1	3 27.4	1 1 1	17.2   34.3	
执	戦	21.0	21.9	25.3	18.8	19.2	23.4	26.8	18.5	23.5	16.9	32.5	19.6	24.3	19.0	27.2	22.1	22.(	15.(	19.7	13.8	31.6	12.1 30.1	
実通	図客		53	24	25	56	27	78	59	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	

—112 —

		114		4		7			7	1			3
番号	戦	響	厚さ	軍軍	<b>中</b>	A L	់	面の打点	Ħ H	<b>赋</b>	編		田十岩点
-	6.7	5.0	1.6	0.1	ハリ質安山岩	40	光	重	ı			0	C02-1-cs
2	13.0	7.5	2.2	0.2	"	11]	角形	争	ı			0	C01.2.as
33	8.9	3.8	1.5	0.1	"	111	角形	有	1			0	C02.1.ds
4	10.4	5.7	2.3	0.1	"	111	角形	有	ı			0	C02.1.cs
5	22.8	9.7	4.5	0.6	"	<b>4</b> 0	光	有	ı			無	第2トレンチ
9	15.0	5.1	1.9	0.1	m	<b>1</b> 0	为	一种	1			0	C01.2.cs
7	9.9	5.4	1.5	0.1	"	<b>√</b> □	郑	有	ı			0	C02.1.bs
∞	21.5	8.9	4.1	9.0	"	<b>1</b> 0	邪	有	有	,		0	C03.1.cs
6	11.7	13.8	3.2	0.5	"	111	角形	有	自			紙	第2トレンチ
10	9.6	5.8	1.7	0.1	"	<b>4</b> 0	H	形有	有	,		O	C1.2.ds
11	10.8	4.8	1.9	0.1	"	111	角形	<i>而</i>	柜			0	C03.1.cn
12	12.8	4.3	2.0	0.1	"	111	角	加	柜			S	C1.1.a s
13	13.3	7.8	1.8	0.2	"	111	角	施	柜			0	C03.2.bn
14	16.0	6.3	3.6	0.2	"	111	角	~~	旦			S	C04.2.cn
15	16.5	5.7	2.8	0.1	"	<b>√</b> □	影	施	单			無	第1トレンチ
91	17.7	9.4	2.5	0.3	"	<b>4</b> 0	沿	加	柜			S	C01.2.a s
17	14.6	8.2	3.4	0.2	"	11]	角	<b>他</b>	申			B	B1.ds
18	16.2	13.9	5.4	0.8	"	111	角	<b>一</b>	柜			3	C01.1.cs
19	13.4	4.1	2.5	0.1	"	111	角	仲	柜			O	C01.3.a n
20	26.6	12.4	5.2	1.1	"	111	角形	施				В	В01•п
21	11.3	5.0	1.8	0.1	"	<b>4</b> 0	炭	1	価			O	C01.2.cn
22	18.2	2.8	2.6	0.1	"	<b>1</b> 0	<b>》</b>	1	価			S	C01.2.a s
23	8.5	5.0	1.2	0.1	"	<b>4</b> 0	別		極			無	第2トレンチ
24	11.8	5.9	2.0	0.1	"	111	角形		柜			無	第2トレンチ
25	12.0	5.5	1.5	0.1	"	10	炭	1	柜	-		0	C02-3-cn
56	11.0	7.0	2.2	0.1	"	11]	角	1	佢			O	C03•1•bs

(都石刃)

	十 祐 贞	第2トレンチ	C01.3.an	C02-2-ds	C01-4-bs	C01-1-bs	C02-4-cn	C01-1-a s	C02-1-cs	C01.2.ds	C02·1·bs	C04.4.a n	C1.2.d s	C1.1.c n	C1.4.a n	C1.2.bs	C02.1.an	C03.2.bn	C1.1.a s	C02.1.bs	C01-4-a s	C1.3.dn	C02.2.a n	C02•2•a n	C1.4.a n	C01-1-bn	C01-1-cn
-	丑	第2	CO	ပိ	CO	00	0°	00	00	CO	CO	CO	CI	<u>C</u>	CI	CI	C 0.	C 0.	C1	C07	[0 ]	$\frac{1}{C}$	C 02	C 02	C1:	C01	C01
	郱																										
	揖 備 備																										
	护	柜	柜	ı	1	ı	1	1	鱼	ı	ı	有	1	1	1	单	单	有	無	单	重	柜	倕	便	柜	卓	柜
- 本	面の打点	-	1	更	重	有	申	車	_	有	有	有	申	有	卓	申	有		1	有	有	有	I	1	1	ı	
	椢	炭	炭	彩	彩	炭	炭	炭	影	影	影	彩	彩	彩	彩	彩	別	彩	彩	彩	彩	影	彩	影	影	彩	彩
	L	鱼		便	更	角	更	便	便	無	角	便		餌	便	甸	便		便	隺	便						無
-	奉	11  =\LT	<b>√</b> □	111	11]	11]	11]	11]	111	111	[11]	111	10	111	111	[11]	111	<b>1</b> 11	11]	[11]	111	10	40	40	40	<b>√</b> □	11]
ŀ	h 顧	ハリ質安山岩	11	サヌカイ	11	"	"	11	<i>"</i>	"	<i>"</i>	11	"	"	"	"	"	"	"	"	"	11	"	11	"	"	"
!		0.4	0.5	0.1	0.2	0.1	0.4	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
	がり	3.2	2.9	1.6	2.7	2.3	3.5	1.8	3.7	2.7	3.6	2.5	2.9	2.4	3.2	1.5	2.0	1.9	1.7	2.6	2.5	2.5	2.2	1.8	1.8	3.7	1.9
	團	8.3	9.6	7.0	5.8	9.1	5.3	5.8	6.3	5.4	9.5	8.4	0.9	5.0	8.8	8.5	5.6	5.5	7.8	6.4	7.0	9.3	3.3	5.4	5.2	8.9	6.7
妝	単	18.9	22.5	8.0	12.3	10.4	25.5	14.5	16.2	19.0	15.2	15.8	19.4	23.4	23.6	6.3	10.2	10.6	7.1	12.1	16.7	18.9	11.4	11.1	13.5	15.6	12.2
	図帯	27	28	53	8	31	32	33	34	35	36	37	88	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	20	51	52

(都石刃)

-1 -1	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	C02.3.a s	B1•ds	C03.2.cs	C01-1-a s	C1.2.a n	C02•1•b s
	m 小						
	<b>世</b>			1	1		
Ā	Ħ	角	柜	自	鱼	角	有
主要剝離	面の打点		I	I	I	ı	I
İ	国	3 形	7.	5 角 形	5 角 形	3 形	1 形
#	D D	サヌカイト 台	<i>"</i>	11 11	11 //	<i>"</i>	· //
Ц	` ≝ ≣	0.1	0.3	0.3	0.3	0.4	6.0
	が見	1.8	2.7	3.0	2.9	3.1	2.6
= 01]	聖	7.5	9.7	8.4	9.2	8.5	9.5
郱	単れ	12.1	14.6	13.8	18.8	21.4	25.8
美國	函 和 □	53	54	99	99	22	28

2表 叩き石観察表

無	   #	114						中田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	使用減の位置	肥			
図帯	业	盟	۶۲ اسا	111	石質	汎	光德	ががずっ	は、一様、一様、一様、一様、一様、一様、一様、一様、一様、一様、一様、一様、一様、	目目	層	垂	出土地点
-		-	į ;		-		4	급 북		<b>a</b>			
-	41.1				X   E   E   E   E   E   E   E   E   E	<b>D</b>	棒状	ı	0	1	三角	<b>光</b>	C03.2.d n
2	43.8	3 24.8	13.4	22	"	×	"	ı	0	0	蒸	<b>光</b>	C04.4.cs
က	68.5	31.9	25.6	91	"	×	"	0	0	-	四角月	2	C03•3•an
4	34.5	5 20.6	14.1	6	"	×	"	ı	ı	0	井田	~	C02-1-cs
2	55.7	, 28.4	20.4	46	"	×	"	ı	0	ı	四角形	<b>一</b>	C1.1. c s
9	137.5	38.1	39.0	320	"	0	"	1	0		"		C05.2.an
2	72.8	31.6	5 20.4	55	船。	0	"	0	0		三角升	<b>炭</b>	C04.3.cs
∞	44.2	35.2	17.4	35	"	×	1	ı	0	1	四角升	<b>光</b>	C1.2.an
6	63.3	41.9	28.4	06	"	×	棒状		0	ı	"	上部側面に使用痕か。	C01-2-an
10	161.9	52.3	48.8	480	"	0	"	_	0	1	三角用	~	C1-1-a s
=	71.8	28.4	14.0	20	綠色片岩	0	"	0	0	ı	11		C02.4.dn
12	75.0	18.2	19.1	42	"	0	"	_	0	1	半楕円刑	次	1
13	49.4	16.8	7.4	8	"	×	"	-	0	1	# #	<b>水</b>	C02-2-a n
14	22.0	14.4	7.8	4	"	×	"	I	1	,	"	13℃接合,破片。	C02-2-d s
15	118.5	37.5	32.2	280	輝石安山岩	×	"	1	0	1	四角形	<b>水</b>	C03.2.cn
16	105.2	31.7	15.2	93	"	0	"	ı		0	"		C02.2.a n
17	59.8		21.3	50	ホフ	0	"	1	1		楕 円 刑	<b>※</b>	C01-1-a n
18	70.3	30.9	10.5	26	結晶片岩	×	"	1	0	1	川角川	光	第2トレンチ
19	9.08	39.0	39.6	220	路	×	"	ı	-	0	"		C03.2.ds
20	88.3	26.2	27.2	93	女践	0	11	1	0	1	四角形	- 2	C02-2-bn
21	105.4	46.0	20.1	125	角閃安山岩	0	11	ı	1	0	出出	<b>水</b>	C01-1-a s
22	71.0	37.5	33.1	134	因 綠 岩	0	"	ı	1	1	精 田 飛	<b>水</b>	C1-1-d s
23	49.4	47.9	25.6	09	石英斑岩	×	"	-	0	1	三角形	<b>水</b>	B1•ds
24	76.2	43.0	18.4	103	綠泥片岩	×	棒状		0	-	楕 円 飛	<b>※</b>	C03•1•d s
25	97.5	102.0	23.5	235	安 正 器	0	盤状	里	鯵		中	第	第2トレンチ

	五七岩点	C02.2.ds	C01.2.cs	C01.2.bs	C01.2.dn	C05.1.dn	C03.1.bn	C04.1.dn	C04.3.bn	C1-4-b n	C01.1.dn	C04.2.dn	C01.2.bs	C02.3.ds	C04.3.ds	C01.4.ds	C03.1.ds	C1.2.cs	第2トレンチ	C01.1.cn	C04.2.cn	C04.2.dn	C06.2.a n	C1.3.cs	C01-4-cn	B01•s	7
		0	3	O	O	O	O	O	O	O	O	O	S	S	O	S	O	S	無	O	O	O	Ó	0	Ō	A	
	析																									H T	
		-																									
1	豐						両逆刺端部欠失。	先端部欠失。	先端部欠失。		片逆刺部が長い。		先端部欠失。		鳅形鏃。	製形鏃.	片逆刺部欠失。	先端部欠失。	先端部欠失。	先端部欠失。					片長脚。	片長脚。	
1	風化度	恒	恒	1	画	回	恒 —	高先	- 先		—       		- 先		高級刑	- 一千	- 片	- 先	- 先站	高先	恒	_		恒	-   片	高片	:
, i	題	<u>-</u>	計	<b>計</b>	<u></u>	<u></u>	<u>}</u>	<del> </del>	囙	<del> </del>	囙	囙	囙	囙	囙	· 三	り	囙	囙	国	乜	<u>;</u>	計	 	된 <u>'</u>	回	1
Ä	類	A	A	В	C	С	В	A	В	В	С	A	田		В	A	<u>되</u>	A	표	A	C	B	A	ر د	 B	B	,
1	4 質 分	サヌカイト	<i>"</i>	11	11	//	<i>n</i>	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	
H Di		4.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.7	0.4	1.6	9.0	0.3	1.2	1.3	0.7	1.0	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	9.0	0.5	0.5	8.0	0.3	1.6	
	が冒	2.9	2.2	2.4	2.1	2.8	3.0	2.5	4.2	3.7	2.5	4.2	4.3	3.6	4.2	2.5	2.4	4.0	3.0	3.0	2.9	2.2	2.8	4.5	2.0	3.9	
	豐	12.3	11.0	11.7	13.1	11.3	15.4	13.3	21.7	15.6	12.3	22.0	20.6	17.8	15.9	15.5	15.0	13.9	13.5	12.9	13.5	16.5	14.5	14.1	14.6	23.1	0
拉	戦	14.1	13.0	11.9	11.2	12.2	18.3	14.4	18.2	16.2	12.8	21.3	28.0	17.4	15.0	16.3	20.2	10.1	17.2	14.1	15.3	17.2	16.1	14.6	16.2	26.0	0
	図帯	н	2	3	4	2	9	_	∞	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	00

(石 鏃)

;	田十岩点	第2トレンチ	C1-4·c n	C1.1.d s	第2トレンチ	C01-1-an	C02-1-an	C02.2.cs	C1-3-a n	第1トレンチ	C01.3.an	C03.2.bn	C02-3-a s	C05.2.a s	C04.2.bs	第2トレンチ	C03.1.bs	C1.3.ds	C05.2.an	C02.1.cn	C03•4•bn	C02.2.cn	第2トレンチ	C04.2.a s	C01-4-a s	C04.2.bs	C01.2.cs
1	The state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the s																										
	単	先端部欠失。				片逆刺部欠失。				先端部欠失。	先端部欠失。			先端部欠失。		先端部欠失。	スパナ状。	先端部欠失。スパナ状。	片長脚。	先端部欠失。	片逆刺部欠失。	片逆刺部欠失。	先端部欠失。	先端部欠失。		先端部欠失。	
1	風化度	恒	恒	ı	恒	硘	硘	ı	佪	恒	ı	ı	個	硘	硘	恒	硘	1	ı	1	ı	恒	1	画	恒	-	-
	中	囙	#	囙	囙	囙	回	計	計	本	E	囙	曰	囙	囙	囙	田	汩	囙	计	<b>#</b>	싑	址	א	طًا ا	*	囙
	力	В	ပ	Д	Ą	А	А	ਜੁ	ম	ম	ম	ы	ম	ы	EI .	E	E	Ħ	ম	ഥ	দ	ĹΉ	দ	ম	ᅜ	J	ഥ
	Ć M	サヌカイト	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
H, Dj	重	0.4	2.6	1.1	0.4	0.2	0.4	0.9	8.0	1.4	0.7	0.7	0.5	0.5	0.7	0.5	6.0	1.6	1.0	3.8	8.0	3.1	1.1	1.3	0.5	1.0	0.9
	れ <sup>目</sup> <u></u>	2.0	4.6	3.8	2.4	2.3	2.6	4.1	3.7	4.4	3.1	3.7	2.7	3.3	4.2	3.2	3.9	4.6	3.8	7.2	2.6	5.7	3.5	3.9	3.1	4.2	2.9
	豐	12.4	24.1	21.0	13.2	10.6	12.3	16.1	16.4	17.5	17.2	15.1	14.9	13.9	13.6	12.4	16.0	18.5	14.3	21.4	14.5	17.1	15.8	16.4	12.8	14.4	17.8
知	が『	16.9	25.9	18.4	13.5	15.0	16.7	18.8	19.5	19.6	23.3	21.5	17.6	17.4	19.8	15.1	29.4	26.5	27.8	26.7	22.4	26.8	21.8	21.4	16.8	18.9	18.8
美	本 図 加	27	28	59	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	20	51	52

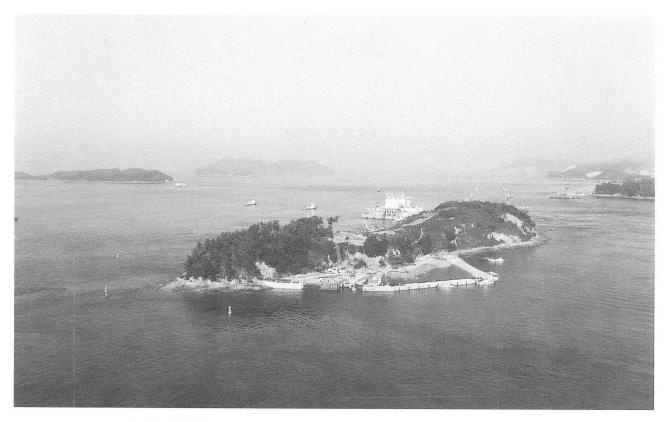
(石 鏃)

74 44 20 V
■ 4 貸 分類 基部 風化度 □ 8
0.6 サヌカイト F 四 -
0.8 // F 田 一
0.5 // F 四 一
1.6 // F 平 -
- 田 王 田 —
3.8 // 下 田 画
4.1 " G 凹 高 片長脚。
5 // F 平 高 先端部はG類?
1.4 // // // // // // // // // // // // //
1.3 " H H — —
1.7 // H 四 一 片逆刺部欠失。
1.1 // H 四 —
1.4 // G 四 高
2 // I 一 画
e 日 I " 8.0
- 日 I " 9.
5.0 " J Lh —
5 " J Lt -
3.0 // 未製品 平 —
袋
5  ケーリ

4表 矢柄研磨器

			Τ.	Т	
:	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	C01.2.cn	C02.2.cs	C02-4-d n	C 03.2. d n
À	ħ.		7		
ŧ	<b>世</b>		が類似。		が類似。
			1.0~1.1 77と色調・石質が類似。		3 75と色調・石質が類似。
	幅 (cm)	1.0~1.2	1.0~1.1	6.0	0.5~0.8
難	屋	半 田 炭	11	"	"
	数	-	4	വ	5
	占 眞	砂品	緑泥片岩	"	"
明	重重	25.3 🕏	46.3 総	8.5	13.5
	重な量	15.7	13.8 4	9.2	12.1
	帽屋	36.8 1	29.0	20.1	23.0 1
洪	が『	39.4	79.2	43.3	47.7
悪		74	.2	9,	2.2

## 図 版 編



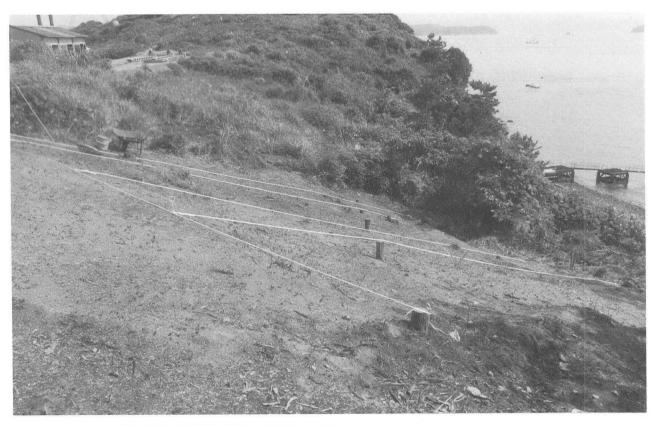
(1) 羽佐島遠景



(2) 調査区遠景(伐採前)



(1) 伐採作業風景



(2) グリッド設定 (第1・2トレンチ)



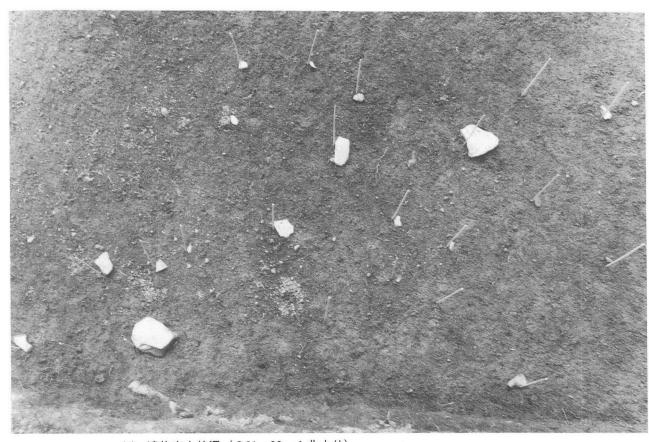
(1) 発掘作業風景 (C01, 02-1, 2グリッド)



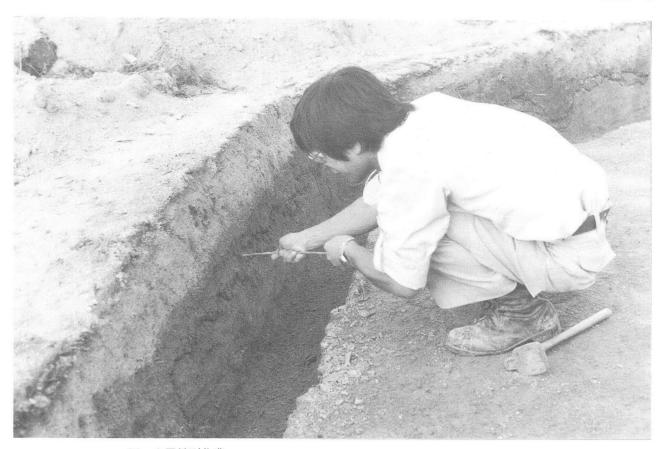
(2) 発掘作業風景 (С05, 06-2グリッド)



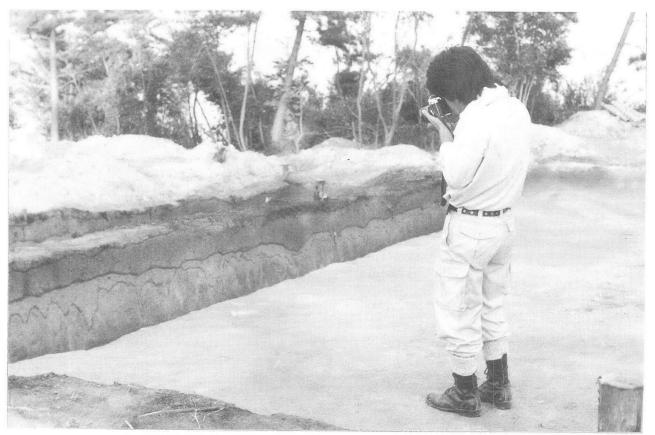
(1) 遺物出土状況 (С01, 02-1, 2東より)



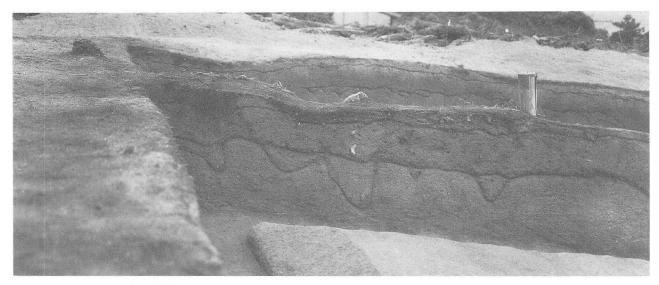
(2) 遺物出土状況 (С01, 02-1 北より)



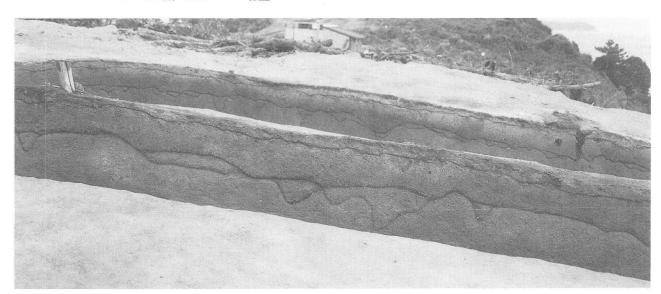
(1) 土層線引作業



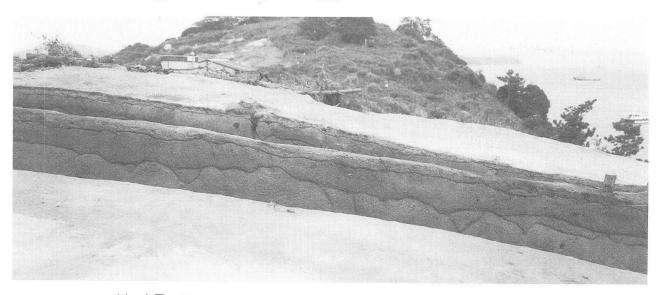
(2) 写真撮影作業



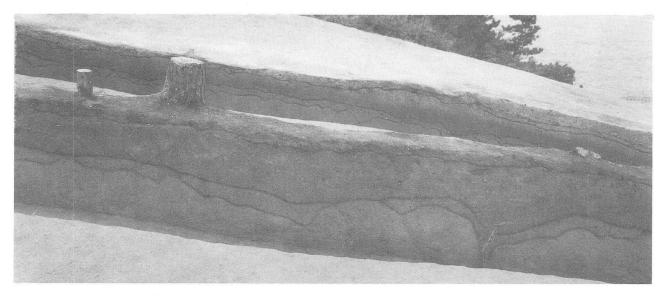
(1) 土層, B01·n 北壁



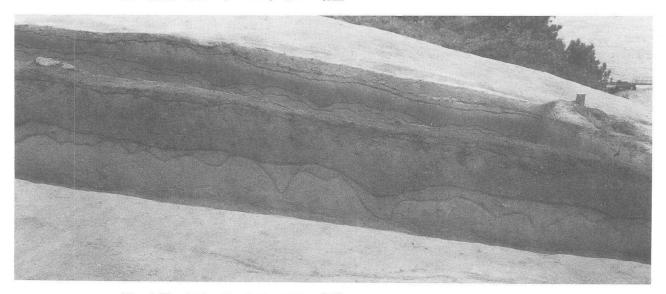
(2) 土層, C01-1·an, bn 北壁



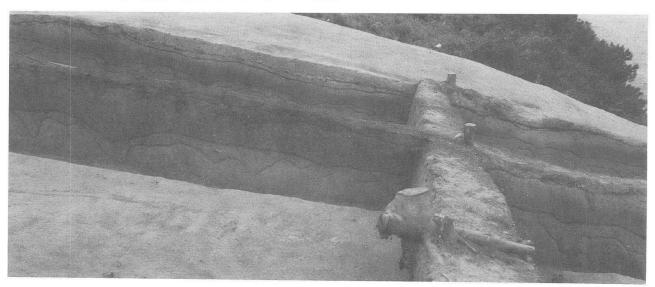
(3) 土層, C01-1·cn, dn 北壁



(1) 土層, C01-2·an, bn 北壁

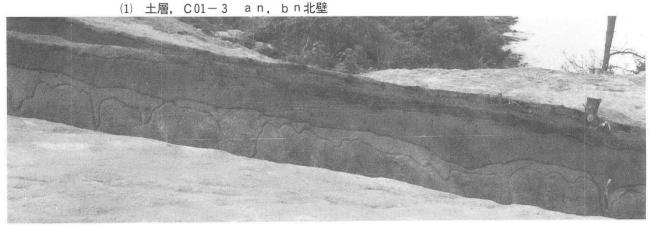


(2) 土層, C01-2·bn, cn 北壁

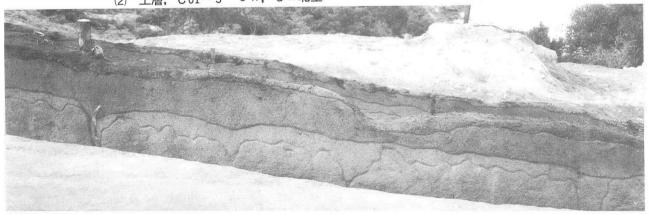


(3) 土層, C01-2・d n 北壁

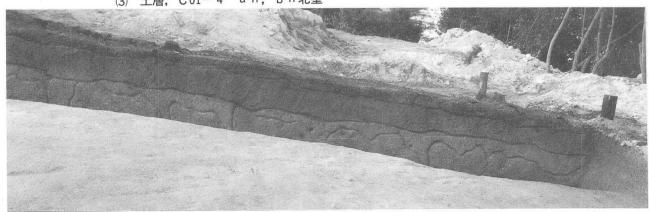




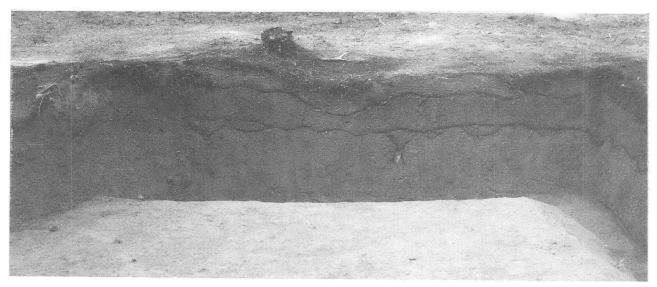
(2) 土層, C 01-3 cn, dn 北壁



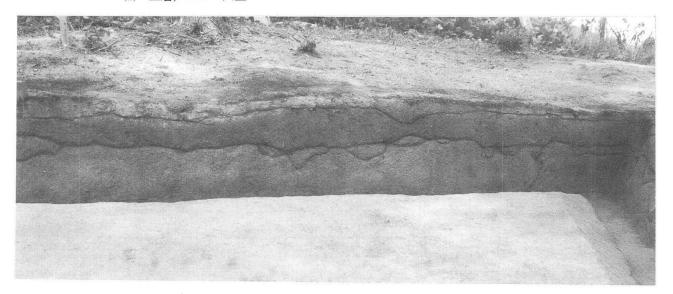
(3) 土層, C01-4 an, bn 北壁



(4) 土層, C01-4 cn, dn 北壁



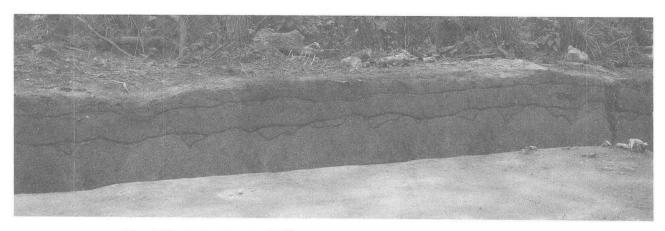
(1) 土層, B 1 西壁



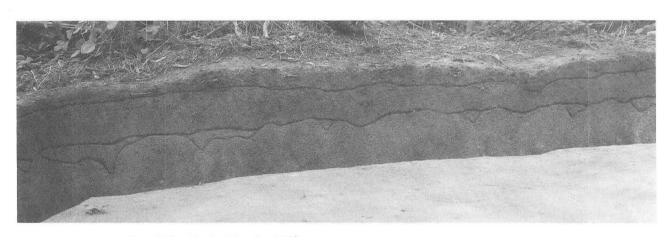
(2) 土層, C01~02-1 西壁



(3) 土層, C01~02-1 西壁



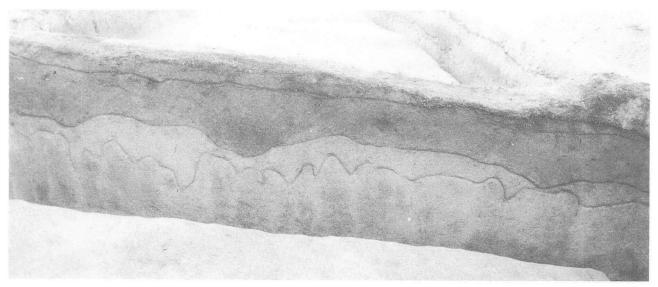
(1) 土層, C 03~04-2 西壁



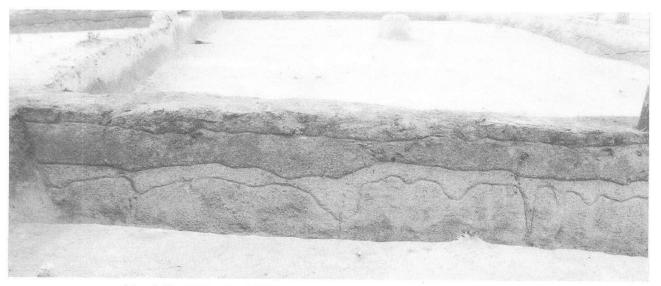
(2) 土層, C03~04-2 西壁



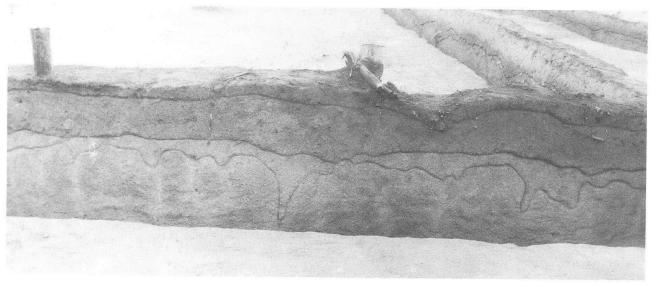
(3) 土層, C05-2 西壁



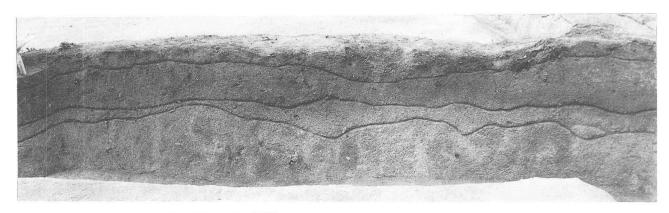
(1) 土層, C 1-3 西壁



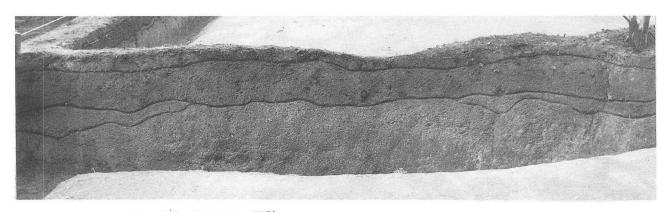
(2) 土層, C01-3 西壁



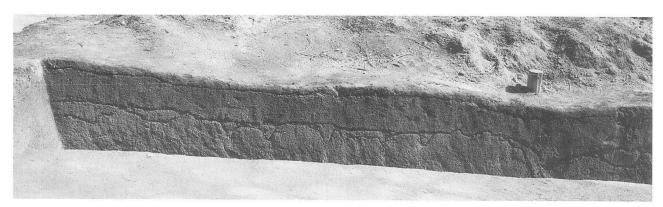
(3) 土層, C 02-3 西壁



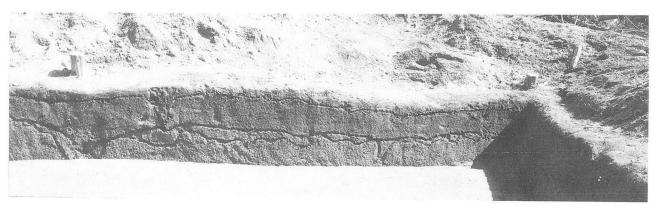
(1) 土層, C03-3 西壁



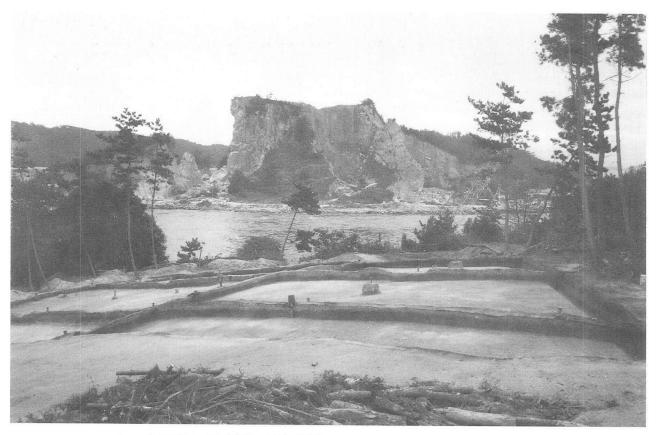
(2) 土層 C04-3 西壁



(3) 土層, C 05-2 東壁



(4) 土層 C06-2 東壁



(1) 完掘グリッド (遠方, 与島西方)



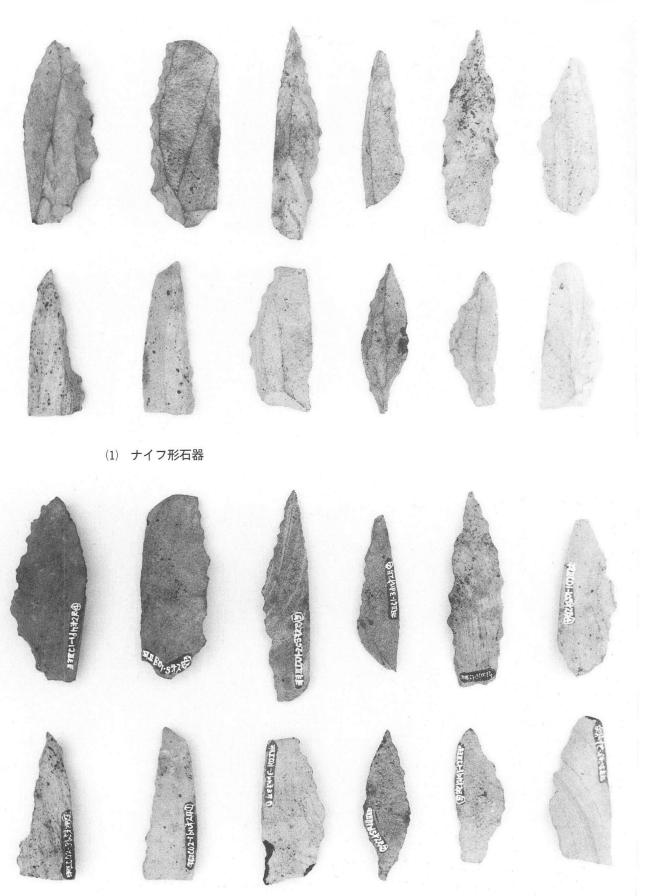
(2) 完掘グリッド遠景



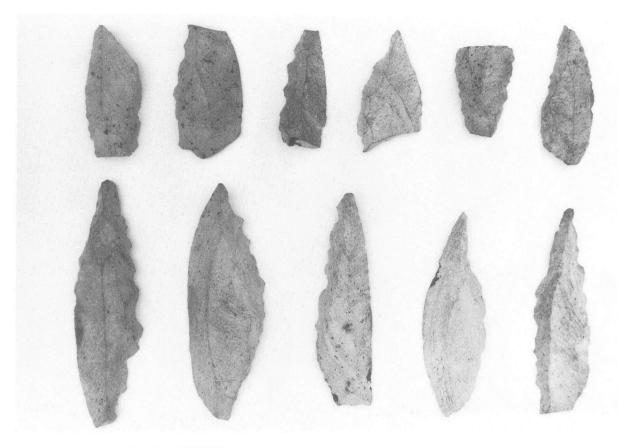
(1) ナイフ形石器



(2) 同 上(裏面)



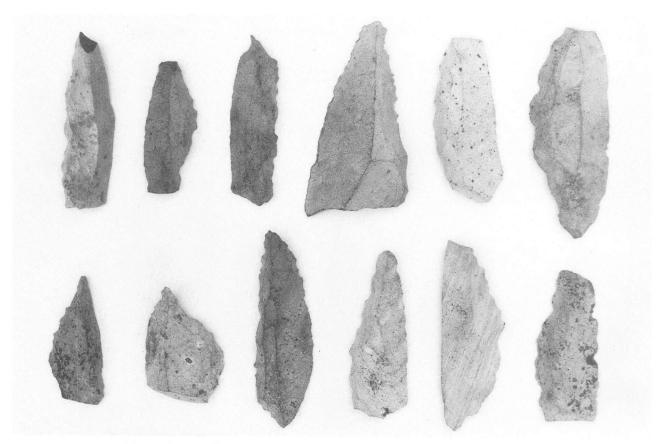
(2) 同 上(裏面)



(1) ナイフ形石器



(2) 同 上(裏面)

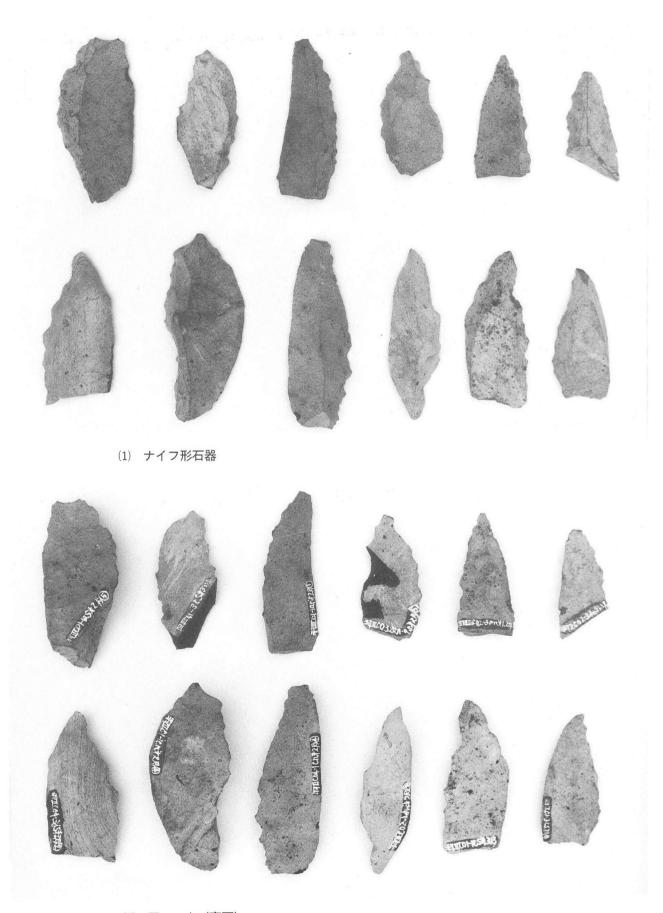


(1) ナイフ形石器



(2) 同 上 (裏面)

-



(2) 同 上(裏面)